

# 取扱説明書

# 音声応答転送装置 IVR-2430

この度は、「音声応答転送装置 IVR-2430」をお買い上 げいただき誠にありがとうございます。 ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容 を理解してからお使いください。お読みになったあとも、 本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

株式会社タカコム

## もくじ

安全	とにお使いいただくために	2
ご何	使用の前に	4
1.	回線と構内交換機(PBX)	5
商品	ム概要	
1.	機能概要	
2.	動作モードについて	10
3.		12
4. 5		کا ۱۸
5. 6	動作て一下と転送力式	۲4 ا 15
0. 7	成品の構成 転送の流れとメッセージ	10 16
8.	お使いになるまでの手順	
<b>第1</b> i	章 装置編	29
各部	8の名前とはたらき	30
本翌	5置の初期設定	33
1.	年月日時刻をあわせる	
2.	装置情報の登録	
登録	マテータの読み書き	36
1.	メモリーカードでの読み書き	
2.	登録データの確認	37
З.	LAN 接続での読み書き	37
メッ	<sup>,</sup> セージの録音/再生	38
1.	録音の前に	
2.	メッセージの録音	40
З.	メッセージの再生	41
動作	⊧モードの確認/変更	42
1.	マニュアル動作の設定	42
2.	タイマースケジュールの確認	42
З.	バージョンの確認	43
4.	ファン動作チェック	43
応答	たセットする	44
1.	応答モードの切り替え	44
2.	応答のセット	45
3.	外部からの応答セット	
集計	ナテータについて	47
1.	テータの集計方法	
2.	集計データの出力	
3. =n.m	□ 臨時集計テータのクリア	
設置		50
1.	後面端子部の名前とはたらき	
2.	谷機恭との接続のしかた	
3.	0 凹線フ1 ノホートの増設のしかた	53

第2章 データ編	55
データを登録する前に	56
1.データ入力ソフトをセットアップする	56
2. データ登録作業の手順	59
データ入力ソフトを起動・終了する	60
1. 起動・終了のしかた	60
2. 装置情報登録について	61
3. パスワード設定について	62
4. カード初期化について	63
新しくデータを作成する	64
1. 本体初期設定	64
2. 転送先登録	75
3. 動作モードの登録	80
	80
3-2 ツリー転达モート 2.2 ダイレクト転送エード	106
3-3 メイレクト転送モート 3-4 無条件転送モード	116
4 お待たせモードの登録	118
5. 応答専用モードの登録	128
6. 年間タイマーの登録	136
登録内容を書き込み/保存する	. 154
1. メモリーカードに書き込む	154
2.本体装置に書き込む (LAN)	156
3. パソコンに保存する	157
登録内容を編集する	. 158
1.メモリーカードから読み込んで編集する…	158
2. 本体装置から読み込んで編集する(LAN)	159
3.ファイルから読み込んで編集する	160
登録内容を印刷する	. 162
1. 印刷画面の設定	162
2.印刷の例	163
メッセージカードを編集する	. 166
1.メッセージを読み込む	167
2. メッセージを書き込む	170
本体装置をモニターする(LAN)	. 174
1. 動作モニター画面	175
2. 件数モニター画面	178
看信応答データの集計/確認	. 182
1. 集計ファイルの保存先	183
2. メモリーカードから集計する	184
<ol> <li>本体装直から集計する(LAN)</li></ol>	100
4. 朱訂ナ一ダを傩秘りる	189
サウトシャンにたて立に	000
改 厚 と お 考 え に な る 則 に	203
王な仕禄	. 204

保証とアフターサービス......裏表紙

## 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 本書中のマークの説明

▲警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内 容を示しています。
<b>▲</b> 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物 的損害の発生が想定される内容を示しています。
500 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能 停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
<b>ク</b> ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内 容を示しています。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

▲警告	5	ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。 感電や故障の原因となります。
		電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。 電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
		電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。 また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。 ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	$\bigcirc$	A C 100 V商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は 絶対に行わないでください。 火災や感電・故障の原因となります。
	(	雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。 落雷による感電の原因となります。
	$\bigcirc$	本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金 属類を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。 万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店 に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	$\bigcirc$	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電 源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販 売店に点検を依頼してください。 異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
		本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。 火災や感電の原因となります。 改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
	$\bigcirc$	床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しな いようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火 災の原因となります。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください



アースは確実に取り付けてください。本装置は接地端子のついた3ピンの電源コードを使用して います。安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。 故障や漏電があった場合、感電の原因となります。

保守員以外はキャビネトの分解、修理、改造などをしないでください。内部にさわると感電するお くれがあります。



アース線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつながないでください。 火災や感電の原因となります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災や感電の原因となります。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。



注意

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。 本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。



ŌÇ,

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となります。



湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・ 有毒ガスの発生する場所には置かないでください。 火災や感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上 に重い物を置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

### 故障の原因になることがあるため必ずお守りください

ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。 STOP お願い 変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってか らふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。 落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。 テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、 違法無線を受けるところには置かないでください。 誤動作の原因となります。 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。 正常に動作しないことがあります。 温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置 の寿命が短くなるおそれがあります。 本装置の上に本やダンボール等、通気孔を寒ぐものを置かないでください。また、本装置を2 台以上重ねて置かないでください。 熱が内部にこもり、故障の原因となります。

## ご使用の前に

## ■ 取扱説明書の構成について

本システムの取扱説明書は、「商品概要」および「装置編」「データ編」で構成しています。

- ●「商品概要」は、システムの機能 · 動作などの概要について記載しています。
- ●「装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。

●「データ編」は、データ入力ソフトをインストールしたパソコンでの機能・動作の設定登録のしかたや年間タイマーの登録方法などが記載されています。

## ■ セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡く ださい。当社営業所につきましては、当社ホームページ(http://www.takacom.co.jp)の「営業拠点」をご覧ください。

品名	個数	備考
本体	1	
電源コード	1	
フラッシュメモリーカード KFC-60M	1	登録・集計用メモリーカード
フラッシュメモリーカード JFC-60M	1	メッセージ用メモリーカード
CD	1	IVR-2430 データ入力ソフト
マイク	1	
テープレコーダ接続コード	1	
操作部力バーキー	2	
カードライトアダプタ CWA-100	1	
USB ケーブル	1	
バインダ	2	コード結束用
電源プラグ変換アダプタ	1	
取扱説明書	1	本書

※製品に同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。

## ■ 対応バージョンについて

本取扱説明書は、システムの各プログラムが次のバージョンに対応しています。

- ・メインプログラム : Ver.1.0\*
- ・ラインプログラム : Ver.1.1\*
- ・録音・再生プログラム : Ver.1.0\*
- ・データ入力ソフト (CD): Ver.1.1\*

メインプログラム、ラインプログラム、録音・再生プログラムのバージョンの確認のしかたは、「装置編 - 動作モードの確認/変更 -3. バージョンの確認」(43 ページ)を参照してください。データ入力ソフトのバージョンはアプリケーションの 【トップ画面】に表示されます。60 ページを参照してください。

ご使用にあたってのお願い

- 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社 営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。
- この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご利用いただくことはできません。 This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

#### - 本装置をご利用になる前に —

本装置により、転送動作、お待たせ動作などを行うには、最初に、次のことについて回線や機器の確認を行い、運用計 画を立ててください。

① 収容回線を確認します。

下記の「1.回線と構内交換機(PBX) 1-1回線について」に適合していることを確認してください。

② 構内交換機(PBX)を確認します。
 下記の「1.回線と構内交換機(PBX) 1-2 構内交換機(PBX)について」に適合していることを確認してください。
 ③ 転送・お待たせ動作などのサービス内容を計画します。
 「商品概要 2.動作モードについて、3.転送先と転送方式、4.回線接続方式と転送方式、5.動作モードと転送方式」

の内容を参考にして計画してください。 ④ 転送・お待たせ動作などの運用スケジュールを計画します。

スケジュールなどの作成は、お手持ちのパソコンにデータ入力ソフトをインストールして行います。Windows 対応 のパソコンをご用意ください。Windows 8.1/7(SP1)/Vista(SP2) に対応しています。

⑤ システムに障害があったときには システムに停電などの障害があると、電話着信に支障をきたす場合があります。別売りの「回線切替装置」を接続すると、 障害が発生したときは、自動で回線を切り替えることができます。

## 1.回線と構内交換機 (PBX)

#### 1-1 回線について

- アナログ一般公衆回線に対応します。(共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
- INS ネット 64 の場合には、ターミナルアダプタを介して、アナログポートに接続します。本装置を利用して、ボイスワー プ転送(INS ボイスワープおよびフレックスホンによる転送)でのご利用はできません。
- ボイスワープ転送を行うには、NTT とボイスワープ契約(有料)をする必要があります。なお、代表回線でのご契約は、 個別設定を選択してください。

詳しくは、NTT 窓口へお問合せください。

● ソフトバンクテレコムの「おとくライン」サービスをご利用の場合は、ソフトバンクテレコムの電話テクニカルセンター へ下記の設定変更の依頼をしてください。

- 依頼内容 -

『応答リバースディレイ時間』を 200ms から 80ms へ変更してください。

設定変更の依頼方法など、詳しくは下記の当社ホームページのサポート情報をご確認ください。

【当社ホームページ】 http://www.takacom.co.jp/ 《サポート情報》 「IVR-2430 ソフトバンクテレコム「おとくライン」着信応答時に切断する現象について」

- STOP お願い

- NTT ボイスワープ契約の場合、代表回線で利用できる回線数は最大 10 回線までとなります。
- ●ボイスワープをご利用の場合、システムに停電などの 障害があったときは、各回線ごとに、その回線から 「1420」をダイヤルして、「転送の停止」操作をして ください。
- ターミナルアダプタの機種によっては、正常に動作し ない場合があります。
- ●本装置 L1.L2 (LINE) 側には極性があります。本装置の待機状態で、「L1」が(+)、「L2」が(-)になるように接続してください。接続については「装置編-設置工事」(50ページ)を参照してください。
- LCR 機能付の装置が接続されていると、ボイスワー プ転送ができません。LCR 機能が作動しないように セットしてください。

### 1-2 構内交換機 (PBX) について

●一般の構内交換機(PBX)の場合 本装置による内線への交換機能はなく、ベル信号を送出して、内線へ着信させます。外線への転送は、ボイスワープにより転送します。

#### ● PB ダイヤルインの構内交換機(PBX)の場合

PB 信号(プッシュ信号)によるダイヤルイン動作で、指定した内線番号へ着信させます。外線への転送は、ボイスワー プにより転送します。

● モデムダイヤルインの構内交換機(PBX)の場合 モデム信号によるダイヤルイン動作で、指定した内線番号へ着信させます。外線への転送は、ボイスワープにより転送 します。

#### ●構内交換機(PBX)の内線接続の場合

フッキング転送機能により、指定した内線番号へ着信させます。構内交換機(PBX)のフッキング転送機能が、2回目のフッキングで、回線がお客様との接続に戻る機能であることが条件です。

## - 👩 ワンポイント -

- 構内交換機(PBX)の機種によっては、回線を着信 専用に設定しないと、発信側と着信側が衝突して、通 話ができないことがあります。
- ●構内交換機(PBX)側へ接続する端子 T1,T2(TEL) 側には極性があります。接続した構内交換機(PBX)

に極性が必要なときは、構内交換機(PBX)側で状態を確認してください。本装置は待機の状態で、「T1」が(+)、「T2」が(-)になっています。接続については「装置編-設置工事」(50ページ)を参照してください。

ご使用の前に

## メモ

## 商品概要

## 1. 機能概要

1-1 システム概要

■ システム概要図



#### ■ 本装置の機能

本装置には、次の7つの動作モードがあります。それぞれ のモードをマニュアルで選択して運用する方法と、年間タ イマーで自動切替して運用する方法があります。

動作モード	運用形態
選択転送モード	
ツリー転送モード	] 応答・転送(IVR)動作
ダイレクト転送モード	
無条件転送モード	
お待たせモード	お待たせ動作
応答専用モード	応答専用動作
待機モード	応答解除

#### ● 応答・転送(IVR)モード

構内交換機(PBX)の外線側または内線側に接続して、 お客様からの電話着信があると、音声で自動応答して、 お客様からの選択番号(プッシュ信号)により希望する 部門に転送します。また、NTTのボイスワープサービ スを利用して、外部の受付センターなどに転送すること ができます。

応答・転送動作には、次の4種類の動作モードがあります。

① 選択転送モード

- ② ツリー転送モード
- ③ ダイレクト転送モード
- ④無条件転送モード

#### ● お待たせモード

お客様からの電話着信にすぐに応対できないときに、お 待たせ案内メッセージで応答しながら、電話機を呼び出 し続けます。

#### ● 応答専用モード

お客様からの電話着信に、案内メッセージで自動応答し ます。

#### ● 待機モード

本装置の応答解除時に電話着信があったとき、設定した電話機を呼び出します。

それぞれの動作モードの概要については、「商品概要 -2. 動 作モードについて」(10 ページ)をご参照ください。

#### ■ メッセージ録音・再生の機能

お客様からの電話着信時に案内する、挨拶用、転送用、お 待たせ用などの各種メッセージを録音・再生します。 録音・再生は本装置で行います。

#### ■年間タイマー動作の機能

年間タイマーで、日付・時間帯などを指定して各動作モー ドを自動的に切り替えて運用することができます。例えば、 営業時間中は社内の各部署に電話を転送し、時間外は、外 部の受付センターにボイスワープで転送するなどの切り替 えが自動で行えます。

タイマー動作のプログラム登録は、制御用パソコンで行い ます。

#### ■ 制御用パソコンの機能

お手持ちのパソコンに、付属のデータ入力ソフトをインス トールすることにより、各種動作モードの動作方式や回線 データの登録、転送先の登録などができます。

パソコンで作成したデータは、カードライトアダプタ CWA-100(添付品)を使用して、登録・集計用メモリーカー ド(KFC-60M)で本装置に登録します。

#### ● データ登録

本体初期設定、転送先電話番号、応答・転送(IVR)動 作設定、お待たせ動作設定、応答専用動作設定、年間タ イマー設定などの各データ登録を行います。

#### ● 登録データ読み書き

作成したデータを登録・集計用メモリーカードに書き込 んだり、本装置のデータを登録・集計用メモリーカード から読み込んだりします。

#### ● 集計データ読み込み

本装置の着信件数などの集計データを、登録・集計用メ モリーカードから読み込みます。読み込んだデータは Excel ファイルに変換され、確認することができます。

● 印刷

登録したデータの内容を印刷することができます。

#### ● メッセージカードの編集

本装置で録音した各種メッセージを、メッセージ用メモ リーカード(JFC-60M)から読み込んで再生したり、ハー ドディスクにバックアップ保存し、別のカードに一括コ ピーすることができます。また、外部で録音したメッセー ジをメッセージ用メモリーカードに書き込むことができ ます。

#### ■LAN 接続時の機能

本装置と制御用パソコンをLAN に接続することができます。LAN 接続した場合、次の機能が使用できます。

#### ● 登録データ読み書き

制御用パソコンで作成した各種登録データを、LAN 経 由で本装置に書き込んだり、本装置のデータを制御用パ ソコンに読み込んだりすることができます。

#### ● 集計データ読み込み

本装置にある着信や転送の集計データを、LAN 経由で 制御用パソコンに読み込むことができます。データの読 み込み方法には、手動と自動の2種類があります。

#### ● 動作モニター

本装置の動作状況を制御用パソコンの画面でモニターす ることができます。

#### ● 応答モードのセット/解除

制御用パソコンから本装置の応答モードをセットした り、解除したりできます。

#### ● マニュアル動作モードの変更

制御用パソコンから本装置のマニュアル動作モードを変 更することができます。

#### ● タイマーモードのセット/解除

制御用パソコンから本装置のタイマーモードをセットし たり、解除したりできます。

## - 🛃 ワンポイントー

- LAN 接続時の制御用パソコンでの各操作は、本体装置が「応答セット」中もできます。ただし、本体装置が操作中はできません。
- 複数の制御用パソコンを LAN 接続した場合、2 台以 上を同時に接続して操作することはできません。

商品概要

## 2.動作モードについて

## 2-1 応答・転送 (IVR) モード

応答・転送(IVR)モードには、次の4種類の動作モード があります。

#### ■ 選択転送モード

- ●お客様からの電話着信に案内メッセージで応答して、仕事の内容や問い合わせ内容などから、希望する部署へ転送します。
- ●例えば、一般の会社で、総務部門・営業部門・技術部門・ 資材部門など仕事の内容によって、また銀行などでは、 残高照会・振込入金照会・ローンなどお問い合わせ内容 によって、転送先を選ぶことができます。
- お客様は、1回の選択番号(プッシュ信号)をダイヤル するだけで、希望する部署を呼び出すことができます。
- 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第2、第3の転送先を呼び出すこともできます。(追っかけ転送)



#### ■ ツリー転送モード

- ●最大3段階に分けて、直接、担当者へ転送します。
- 例えば、一般の会社で、営業部1課の伊藤さんに転送する場合、案内1メッセージで営業部を、案内2メッセージで営業1課を、案内3メッセージで伊藤さんを呼び出します。また、案内1メッセージと案内3メッセージで、例えば、「営業部1課」または「営業部の伊藤さん」のように、2段階に分けて呼び出すこともできます。
- ●お客様は、2回または3回の選択番号(プッシュ信号) をダイヤルする必要がありますが、転送先を細かく指定 することができます。
- 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第2、第3の転送先を呼び出すこともできます。(追っかけ転送)



#### ■ ダイレクト転送モード

●お客様からの電話着信に案内メッセージで応答して、呼び出したい相手の内線番号などを直接ダイヤルしてもらうことにより、希望する担当者や部署などを呼び出すことができます。



#### ■ 無条件転送モード

● NTT ボイスワープの無条件転送サービスを使用して転送します。

## 2-2 お待たせモード

- ●お客様からの電話着信が集中してすぐに応対できないときに、お待たせ第1メッセージで応答して、応対ができるまでお待たせすることができます。
- ●お待たせ中はお客様に保留音でお待ちいただくと共に、 着信側にはアラーム音でお待たせ着信があることを知ら せます。また、お待たせ時間が長い場合は、お待たせ第 2メッセージを案内することもできます。
- ●お待たせ中の担当者呼び出しは、直接電話を呼び出したり、ダイヤルイン方式で転送するなどが指定でき、呼出先が話し中や電話に出ないときに、第2、第3の呼出先を呼び出すこともできます。(追っかけ呼び出し)





- 2-3 応答専用モード
- 業務終了後や休日などの電話着信に対して、応答専用案 内メッセージで自動応答することができます。



### 2-4 待機モード

- ●本装置をダイヤルイン転送で運用しているときに、待機中(応答セットされていないとき)に電話着信があった場合の呼出先を指定します。
- 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第2、第3の呼 出先を呼び出すこともできます。(追っかけ呼び出し)

## 3. 転送先と転送方式

#### 3-1 転送先

- 転送先は、構内交換機(PBX)の内線への転送と、NTT ボイスワープを使用した外線への転送ができます。
- ●転送先登録数は最大100ヶ所で、転送先ごとに転送方 式を指定して登録します。転送先は「転送先一覧」に登 録され、すべての動作モードで共通に使用します。
- ●各動作モードでの転送先登録は、「転送先一覧」の中から選択して登録します。第1転送先、第2転送先、第3転送先に異なった転送方式の転送先を登録することもできます。

#### 3-2 転送方式

転送方式には、「ボイスワープ転送」「フッキング転送」「ダ イヤルイン転送」「ベルのみ(一般/ナンバーディスプレイ)」 の4種類があります。

#### ■ ボイスワープ転送

NTT のボイスワープを使用して、外線への転送を行います。 「無条件転送」と「応答後転送」の2種類の転送ができます。 ボイスワープのセットおよび解除は、登録に従って本装置 が自動で行います。

#### ● 無条件転送

かかってきた電話を、本装置で応答させずに、あらかじ め登録してある転送先へ直接転送します。 本装置の動作モード「無条件転送モード」で使用できま す。

#### ● 応答後転送

かかってきた電話を、本装置で応答して、電話をかけて きた人からの選択番号(プッシュ信号)により、あらか じめ登録してある転送先へ転送します。 本装置の動作モード「選択転送モード」「ツリー転送モー ド」「お待たせモード」で使用できます。

#### ■ フッキング転送

構内交換機(PBX)のフッキング転送機能を使用して、転送します。 本装置の動作モード「選択転送モード」「ツリー転送モード」 「ダイレクト転送モード」で使用できます。

#### ■ ダイヤルイン転送

構内交換機(PBX)のダイヤルイン機能を使用して、転送 します。

ナンバーディスプレイ契約しているときは、番号情報など も転送先へ送信します。

本装置の動作モード「待機モード」「選択転送モード」「ツ リー転送モード」「ダイレクト転送モード」「お待たせモー ド」「応答専用モード」で使用できます。

#### ■ ベルのみ(一般/ナンバーディスプレイ)

本装置の T1,T2(TEL) 側に接続された回線に、ベル信号を 送出します。

ナンバーディスプレイ契約しているときは、番号情報など も転送先へ送信します。

本装置の動作モード「待機モード」「選択転送モード」「ツ リー転送モード」「お待たせモード」「応答専用モード」で 使用できます。

## - 👩 ワンポイント

● 110 番や 104 番の 3 桁の番号、フリーダイヤル、ナ ビダイヤル、フリーホン、ダイヤル Q<sup>2</sup>、伝言ダイヤ ル、# ダイヤル、国際電話の番号(0070・0077・ 0088 などで始まる番号)などは、ボイスワープ転送 の転送先として登録できません。

#### STOP お願い -

- ●転送方式をフッキング転送でご利用になる場合は、構 内交換機(PBX)のフッキング転送機能が、2回目 のフッキングで、回線がお客様との接続に戻る機能で あることを確認してください。この機能がないと本装 置が正常に動作しない場合があります。
- INS ネット 64 の場合は、本装置を使用してボイスワー プ転送(INS ボイスワープおよびフレックスホンによ る転送)でのご利用はできません。
- 収容回線が「マイライン」サービスをご利用の場合、 選択された電話会社によってはボイスワープを利用し て外線への転送ができない場合があります。詳しく は、販売店または最寄りの当社営業所へお問合せくだ さい。

## 4. 接続種別と転送方式

◎ 本装置は、電話回線への接続方法によって使用できる転送方式に制限があります。ご利用いただく電話システムに応じて、 運用方法をご検討ください。

## 4-1 構内交換機 (PBX) の外線接続



#### ■ 接続種別と使用できる転送方式 ○ : 使用可 × : 使用不可

接続	種別	転送方式					
L1,L2(LINE)側	T1,T2(TEL)側	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)		
	一般	0	×	×	0		
または	PB ダイヤルイン	0	×	0	×		
ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	0	×	×	0		
	モデムダイヤルイン	0	×	0	×		

## 4-2 構内交換機 (PBX) の内線接続



#### ■ 接続種別と使用できる転送方式

○:使用

○:使用可 ×:使用不可

接続	種別	転送方式				
L1,L2(LINE)側	T1,T2(TEL)側	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	
船	一般	×	0	×	0	
または ナンバーディスプレイ	PB ダイヤルイン	×	×	0	×	
	ナンバーディスプレイ	×	0	×	0	
	モデムダイヤルイン	×	×	0	×	

## 5.動作モードと転送方式

◎ 本装置は、運用される動作モードによって、使用できる転送方式に制限があります。ご利用にあたっては下記の表を参 照していただき、充分に注意してください。

毛 //		転送方式					
IJ11F <sup>-</sup>	t-r	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)		
待	機	×	×	0	0		
応答・転送(IVR) 動作	選択転送	0	〇 (注)	〇 (注)	0		
	ツリー転送	0	〇 (注)	(注)	0		
	ダイレクト転送	×	〇 (注)	(注)	×		
	無条件転送	0	×	×	×		
お待	たせ	$\bigtriangleup$	×	0	0		
応答	専用	×	×	0	0		

○:使用可

×:使用不可

△:条件付で使用可(第1呼出先には登録できません。)

(注):ダイヤルイン転送、フッキング転送のいずれかの方式を、本体初 期設定で選択します。



●本装置のL1.L2(LINE)側の接続種別は、一般回線またはナンバーディスプレイ回線の混在ができます。ただし、本装置のT1.T2(TEL)側の接続種別は、全回線共通で1種類のみです。従って、接続種別の組み合わせによっては、お客様の電話番号情報が取得できない場合があります。(下表網掛けの場合)

いずれの場合も、応答・転送などの動作には影響ありませんが、網掛け以外の組み合わせでのご利用をお勧めします。

L1,L2(LINE)側 接続種別	T1,T2(TEL)側 接続種別	お客様の電話番号情報の扱い
	一般	電話番号情報はありません。
向几	PB ダイヤルイン	電話番号情報はありません。
—— ""这	ナンバーディスプレイ	「非通知」扱いとなります。
	モデムダイヤルイン	「非通知」扱いとなります。
	一般	電話番号情報は無視されます。
+ンバ ディフプレイ	PB ダイヤルイン	電話番号情報は無視されます。
) //-) 1 × / //1	ナンバーディスプレイ	電話番号情報を取得します。
	モデムダイヤルイン	電話番号情報を取得します。

## 6. 機器の構成

#### ■ 機器構成図



#### ● 音声応答転送装置 IVR-2430

別売りの6回線ラインボードを追加して、最大24回線 まで増設できます。

#### ● 制御用パソコン

添付のデータ入力ソフトをインストールしたパソコン で、各種転送モードの動作方式や回線データの設定、転 送先の登録などを行います。

#### ● カードライトアダプタ CWA-100

各種の登録データや案内メッセージなどを、メモリー カードを使用して、制御用パソコンで読み書きするとき に使用します。

#### ● メモリーカード(メッセージ/登録・集計用)

制御用パソコンと本装置で、登録データや案内メッセー ジを読み書きするときに使用するメモリーカードです。 メッセージ用(JFC-60M)と、登録・集計用(KFC-60M) の2種類があります。

#### LAN

制御用パソコンと本装置をLAN 接続することにより、 登録データをLAN 経由で読み書きすることができます。 また、制御用パソコンのディスプレイで本装置の着信状 況などのモニターができます。

#### ● アラーム

別売りの回線切替装置に接続することにより、本装置が停 電などの障害発生時に、電話回線を障害時用の予備回線に 切り替えることができます。また、ブザーやランプなどを 接続してアラーム状態を知らせることができます。

#### ● 外部制御入力

本装置の操作ボタン以外に、市販の外部スイッチなどで 応答をセットしたり解除することができます。

#### ● 時刻修正

「IN」側に、時刻修正用の外部時計を接続します。外部時 計からの信号により、本装置の内部時計が修正されます。 「OUT」側からは、1時間ごとに外部へ修正信号を出力し ます。本装置を複数台使用しているときには、その装置の 時刻修正「IN」端子に接続して、時刻修正ができます。

#### ● プリンタ(別売品)

本装置が着信・転送したデータの集計や、登録データの 内容などを、制御用パソコンで印刷するときに使用しま す。

### — 👩 ワンポイント-

● 各構成機器の接続方法などについては、「設置工事 -2. 各機器との接続のしかた」(51 ページ)を参照し てください。

## 7. 転送の流れとメッセージ

## 7-1 メッセージの種類

本装置で使用する案内メッセージと使用する動作モード、およびメッセージ例などの一覧は、次のとおりです。 動作モード欄の「〇」印が使用できるメッセージです。

Vut Si	X +	動作モード						VWH	
メッセーン 種別	メッセーシ 名	選択転送	ダイレク ト転送	ツリー 転送	お待たせ	応答専用	ch 番号	メッセ ージ数	メッセージ例
	挨拶	0	0	0	×	0	1	1	はい、○○会社でございます。いつもお世話にな ります。
	総合案内	0	0	0	×	×	2	1	恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、 今からご案内する内容に従い、ブッシュ信号でダ イヤルをお願いします。
共通	選択繰返	0	0	0	×	×	3	1	内容の確認ができませんでした。もう一度、ご案 内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお 願いします。
	終了案内	0	0	0	×	0	4	1	お電話ありがとうございました。
	保留音	0	0	0	0	×	5	1	(オルゴール保留音など、自由に録音できます。)
選択転送	選択転送 案内 1 ~ 20	0	×	×	×	×	6~25	20	総務は「1」を、経理は「2」を、営業は「3」を、 その他不明な時は「4」をどうぞ。
ダイレクト 転送	ダイレクト 転送案内	×	0	×	×	×	26	1	ご希望の相手先内線番号を、プッシュ信号でダイ ヤルをお願いします。
	ツリー案内 1	×	×	0	×	×	27,118	2	総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」 を、・・・・ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。
ッリー 転送	ツリー案内2	×	×	0	×	×	28 ~ 36 119 ~ 127	18	営業部の担当部署を選択してください。営業1課 は「1」を、営業2課は「2」を、・・・・ 部署が不明 な時は「9」をどうぞ。
	ツリー案内3	×	×	0	×	×	37 ~ 117 128 ~ 208	162	営業1課の担当者を選択してください。伊藤は[1] を、鈴木は「2」を、・・・・担当者が不明な時は「9」 をどうぞ。
	不応答案内	0	0	0	×	×	209	1	電話が大変混雑しております。
	話中案内	0	0	0	×	×	210	1	担当者が話し中です。
	転送 繰返案内	0	0	0	×	×	211	1	恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、 もう一度、今からご案内する内容に従い、プッシュ 信号でダイヤルをお願いします。
	未確定 終了案内	0	0	0	×	×	212	1	内容の確認ができませんでした。内容を確認の上、 もう一度お電話いただきますようお願いします。
	不出 終了案内	0	0	0	×	×	213	1	恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。 しばらくしてから、おかけ直しくださいますよう お願いします。
	転送中案内	0	0	0	×	×	214	1	もうしばらく、お待ちください。
呼出案内	呼出案内 1 ~ 11	0	0	0	×	×	215 ~ 225	11	係におつなぎしております。しばらくお待ちくだ さい。
着信案内	着信案内 1 ~ 11	0	0	0	×	×	226 ~ 236	11	外線からの電話です。
	お待たせ第 1	×	×	×	0	×	237	1	はい、○○会社でございます。ただいま、電話が 込み合っております。このまましばらくお待ちく ださい。
お待たせ	お待たせ第2	×	×	×	0	×	238	1	申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちくだ さい。
	選択呼出	×	×	×	0	×	239	1	はい、〇〇テレホンサービスです。ご案内の情報 で詳しいことをお聞きになりたい場合は、担当者 におつなぎします。ブッシュ信号で ・・・・。
応答専用	応答専用 案内 1 ~ 10	×	×	×	×	0	240 ~ 249	10	申し訳ございませんが、本日の営業は終了いたし ました。弊社の営業時間は ・・・・。

7-2 選択転送の流れ











### 7-4 ダイレクト転送の流れ





7-5 お待たせ動作の流れ





7-6 応答専用動作の流れ



7-7 待機時転送の流れ



## 8. お使いになるまでの手順

◎本装置は、お手持ちのパソコンで作成した、転送やお待たせなどのスケジュールに基づいて、既存の構内交換機(PBX) を制御する装置です。本装置で応答動作させるには、あらかじめ次の操作が必要です。



#### ■LAN 接続でお使いの場合

本装置と制御用パソコンを、LAN 接続でお使いの場合は、パソコンで作成したスケジュールデータなどは、直接、本装置 に書き込むことができます。





## 各部の名前とはたらき





	名前	機 能 (はたらき)					
1	音量ボリューム	スピーカの音量を調節するボリュームです。					
2	テープジャック	CD ラジカセなどから録音するとき接続する、モノラルのミニジャックです。					
3	マイクジャック	マイクから録音するとき接続する、モノラルのミニジャックです。					
(4)	スピーカ	案内メッセージなどの再生を拡声します。					
(5)	操作部カバー	操作ボタン、メモリーカード挿入口などをカバーします。					
6	操作部カバー鍵穴	本装置の操作部カバーを開閉するときに使用します。					
	応答ボタン/ランプ	着信応答のセットおよび解除をするときに押します。 応答ランプは、応答セットの状態を表示します。					
	タイマーボタン/ランプ	タイマー動作のセットおよび解除をするときに押します。 タイマーランプは、タイマーセットの状態を表示します。					
	登録ボタン	本装置の初期登録、データの読み書き、マニュアルモードの設定などをすると きに押します。					
	録音ボタン	案内メッセージなどを録音するときに押します。					
7	再生ボタン	案内メッセージなどを再生するときに押します。					
	集計ボタン	着信件数などの集計データを出力するときなどに押します。					
	▽(ダウン)ボタン	メニュー選択や数値選択を降順方向へ進めるときに押します。					
	△(アップ)ボタン	メニュー選択や数値選択を昇順方向へ進めるときに押します。					
	セットボタン	メニューや数値を確定するときに押します。					
	終了ボタン	録音・再生や登録を終了するときなどに押します。					
8	ディスプレイ	本装置の動作状態などを表示します。					
9	回線モニターランプ	回線の接続や使用状態を表示します。					
10	ボイスワープランプ	ボイスワープの設定や使用状態を表示します。					
(1)	メッセージ用 メモリーカードランプ	メッセージの録音・再生中や応答セット中など、メモリーカードの使用状態を 表示します。					
(12)	メッセージ用 メモリーカード挿入口	メッセージ用メモリーカードを挿入します。					
(13)	登録・集計用 メモリーカードランプ	登録データの読み書きや集計データの出力中など、メモリーカードの使用状態 を表示します。					
(14)	登録・集計用 メモリーカード挿入口	登録・集計用メモリーカードを挿入します。					

#### – ディスプレイ表示 ––––––

本取扱説明書のディスプレイ表示の例で、網掛け部分は 点滅表示であることを示します。

## — ボタン操作は ————

本装置は、約2分間、何もボタン操作をしないと、自動 的にその操作を解除します。 このときは、最初から操作をやり直してください。

#### 各部の名前とはたらき

#### ■ 電源について

- 電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。
- ●本装置には、電源スイッチはありません。 電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

#### ■ 電源を入れると ・・・

最初に電源を入れると、ディスプレイは、次のように表示 します。以下の方法に従って操作し、待機画面にしてくだ さい。

#### 電源投入



#### ■ メモリーカード

メモリーカードは2種類あり、案内メッセージや登録・集 計のデータなどを記録します。

#### 種類

- ・メッセージ用メモリーカード [JFC-60M]
   案内、転送、お待たせなどのメッセージを録音します。
   録音時間は 60 分です。
- ・登録・集計用メモリーカード [**KFC-60M**] 本体初期登録、転送先、転送モード、プログラムタイ マーなどのデータおよび、着信件数、転送件数などの データを記録します。

#### ●出し入れ

メモリーカード挿入口から、印刷面を上にして、しっ かり奥まで差し込みます。

正常に挿入されると、しばらくの間、ディスプレイに 【カード イニシャル チュウ】と表示されます。

取り出すときは、両端を手でつまんで引き出します。





#### の ワンポイント -

- メッセージ用メモリーカードが入っていないときや、 入れかたが悪いときは、応答のセットや、録音・再生 ができません。
- メモリーカードを本機から抜いても登録内容や案内 メッセージなどは消去されません。(電池は必要あり ません)

## 1.年月日時刻をあわせる

◎ 現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従って、転送・お待たせなどの動作が行われます。

#### ■ 登録のしかた

※登録例は、「2007年3月12日10時25分」の例です。

#### 待機中、または、応答セット中 ■ 時刻を正確に合わせるには 1. ショキ セッテイ 1 に、(登録)を押す 手順3の「分」の登録で、現在時刻の1分後を選び、ちょうど、 0秒になったとき、セットを押す。 \*【1.ショキ セッテイ】の画面になります。 (セット)を押す 1-1. 5 25 4 250 2 \*【1-1.ゲンザイニチジ】の画面になります。 セットを押す 207年1月1日 0:00 3 \*「年月日・時刻」の登録画面になります。 年月日の登録 ( △ )または( ▽ )を押して、 「年」を選び、セットを押す 207年 3月12日 0:00 同様に、「月→日」の順に登録 します。 \*「日」の登録が終わると、時刻の登録に移ります。 ■ 時刻の登録 '07年 3月12日 0:00 (△)または ▽ を押して、 「時」を選び、**セット**を押す 同様に、「分」の登録をします。 \* 「分」の登録が終わると、【1-1. ゲンザイ ニチジ】の画面になります。 (終了)を、必要回数押して待機 STOP お願い '07年 3月12日 10:25 4 画面または応答中画面に戻す ●約10日以上停電などで電源が切れていると、「年月 日・時刻」は消去され、「2007年1月1日 00:00」 \* 1回押すごとに、前画面に戻ります。 \* 待機画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示し、 に戻ります。 秒単位で計時をします。 通電後、手順1から登録をやり直してください。

# ●年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。 年 : 2007 年~ 2099 年

- 月 : 1月~12月
- 日 : 1日~31日(年月に対応した最大日)

本装置の初期設定

■ 年月日・時刻を修正するには

手順1からやり直す。

- 時 : 00 時~23 時の 24 時間制
- 分 : 00分~59分
- ●お買い上げ時は、「2007 年 1 月 1 日 00:00」で点 滅しています。
- ●「分」の登録をせずに、終了を押すと、今、入力したものは登録されず、登録前の年月日・時刻に戻ります。このときは、最初から登録をやり直してください。

#### 2. 装置情報の登録 ◎ 本装置の装置番号と、制御用パソコンと LAN で接続して使用する場合の LAN 接続の登録を行います。 ■装置番号の登録 ■ IP アドレスの登録 待機中、または、応答セット中 待機中、または、応答セット中 1. ショキ セッテイ 1 に、登録を押す 1 に、(登録)を押す \*【1.ショキ セッテイ】の画面になります。 \*【1.ショキ セッテイ】の画面になります。 (**セット**)を押す (**セット**)を押す 1-1. ゲンザイ ニチジ 2 2 \*【1-1.ゲンザイニチジ】の画面になります。



1. ショキ セッテイ



● 装置番号は、本装置を複数台使用する場合に、看信デー タなどを集計するとき、装置を区別するために必要で す。
#### 本装置の初期設定





# 登録データの読み書き

# 1. メモリーカードでの読み書き

◎ 制御用パソコンで作成した転送スケジュールなどのデータを、メモリーカードを使用して本装置に読み込みます。また、 スケジュールなどの変更を制御用パソコンで行うために、本装置のデータをメモリーカードに書き込みます。

## 1-1 カードのデータを本装置に読み込む

# 1-2 本装置のデータをカードに書き込む

集計) へ挿入します。

登録・集計用メモリーカードをメモリーカード挿入口(登録・

登録・集計用メモリーカードをメモリーカード挿入口(登録・ 集計)へ挿入します。





**リンポイント** 

きません。

タの読み書きはできません。

●登録データの読み書きは、カード経由、LAN 経由とも、 応答セット中でもできます。ただし、本装置で登録や 録音・再生などの操作中は、LAN 経由での登録デー

●【LAN ツウシン チュウ】の点滅表示中は、本装置の操作はで

37

# メッセージの録音/再生

◎ 本装置は、応答・転送に必要なメッセージや保留音などを、専用のメモリーカードに録音します。

## 1. 録音の前に

### ■ 録音方法の種類

録音方法には、次の3種類があります。 ①マイクからの録音 ②CD ラジカセなどからのダビング録音 ③マイクとCD ラジカセなどとのミキシング録音

### ■ 外部機器の接続

マイクなどの外部機器は、下図の様に接続します。



<ul> <li>メッセージは、合計で最大 60 分まで録音できます。         <ol> <li>チャンネルあたりの録音時間は最大 8 分まで自由に             録音できます。</li> </ol> </li> <li>マイクとラジカセなどを接続すると、両方の音をミキ         <ol> <li>シング録音できます。</li> <li>マイクから録音のときは、ラジカセなどの接続は             必要ありません。またラジカセなどからダビング             録音のときは、マイクの接続は必要ありません。</li> </ol> </li> <li>メッセージ用メモリカードが入っていないと録音はで         <ol> <li>さません。</li> <li>マイクは添付のマイクをご使用ください。             <li>マイク、テープジャックの規格は「主な仕様」(204)</li> </li></ol> </li> </ul>	●5チャンネルの"保留音"は、制御用パソコンにイン ストールした「データ入力ソフト」にサンプルの音源 がセットされています。この音源をご利用になる場合 は、メッセージ用メモリーカードに音源を書き込んで 使用してください。音源の書き込み方法は、「メッセー ジカードを編集する-2.メッセージを書き込む-メッ セージを個別に書き込む」(172ページ)を参照して ください。

ページ)を参照してください。

### ■ チャンネル番号とメッセージ種類

本装置でのメッセージの録音は、チャンネル番号を指定して行います。

< 録音 を押したときの表示例>

----ch /コリ 25:36 録音可能な残り時間を、[分:秒] で表示します。

ヽ (▲)または(▼)で、チャンネル番号を指定します。

● チャンネル番号とメッセージの種類は、次表のとおりです。この表を参考にして、必要なメッセージを録音してください。

ch 番号	メッセージ 種別	メッセージ 名	メッセ ージ数	メッセージ例	
1		挨拶	1	はい、○○会社でございます。いつもお世話になります。	
2		総合案内	1	恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、今からご案内する内容に従い、プッシュ 信号でダイヤルをお願いします。	
3	<ul><li>共通メッセージ</li><li>(動作モード共通)</li></ul>	選択繰返	1	内容の確認ができませんでした。もう一度、ご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイ ヤルをお願いします。	
4		終了案内	1	お電話ありがとうございました。	
5		保留音	1	オルゴール保留音など、自由に録音できます。	
6~25	選択転送	選択転送案内 (パターン 1 ~ 20)	20	総務は「1」を、経理は「2」を、営業は「3」を、その他不明な時は「4」をどうぞ。	
26	ダイレクト転送	ダイレクト転送 案内	1	ご希望の相手先内線番号を、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。	
27, 118		ツリー案内 1 (パターン 1, 2)	2	総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」を、・・・・ 部署が不明な時は「9」を どうぞ。	
28 ~ 36 119 ~ 127	ツリー転送	ツリー案内2 (パターン1,2)	18	営業部の担当部署を選択してください。営業 1 課は「1」を、営業 2 課は「2」を、・・・・ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。	
37 ~ 117 128 ~ 208		ツリー案内 3 (パターン 1, 2)	162	営業 1 課の担当者を選択してください。伊藤は「1」を、鈴木は「2」を、・・・・ 担当者が 不明な時は「9」をどうぞ。	
209		不応答案内	1	電話が大変混雑しております。	
210		話中案内	1	担当者が話し中です。	
211		転送繰返案内	1	恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度、今からご案内する内容に従 い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。	
212	転送案内	未確定終了案内	1	内容の確認ができませんでした。内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願 いします。	
213	(動作モード共通)	不出終了案内	1	恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しください ますようお願いします。	
214	-	転送中案内	1	もうしばらく、お待ちください。	
215~225		呼出案内 1 ~ 11	11	係におつなぎしております。しばらくお待ちください。	
226~236		着信案内 1 ~ 11	11	外線からの電話です。	
237		お待たせ第 1	1	はい、○○会社でございます。ただいま、電話が込み合っております。このまましばらく お待ちください。	
238	お待たせ	お待たせ第2	1	申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。	
239		選択呼出	1	はい、○○テレホンサービスです。ご案内の情報で詳しいことをお聞きになりたい場合は、 担当者におつなぎします。プッシュ信号で ・・・・。	
240~249	応答専用	応答専用案内 1 ~ 10	10	申し訳ございませんが、本日の営業は終了いたしました。弊社の営業時間は・・・・。	

🛃 ワンポイント 👘

● ツリー案内1では、選択信号として「0」が利用できます。(0:メッセージ繰り返し)

● ツリー案内2,3では、選択信号として「0」や「00」が利用できます。(0:メッセージ繰り返し、00:ひとつ前の案内へ)



40

.....

0:02

### ■ ラジカセなどから録音するとき

- あらかじめラジカセなどへ、メッセージを録音してお きます。
- 2. 手順1から順次操作し、手順3のとき、ラジカセなど を再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節しま す。
- 3. ラジカセなどを再生し、メッセージの冒頭で、録音を 開始させます。



カから、同時にモニターができます。

3. メッセージの再生

セットを押す

3

1	待機中、または、応答セット中 に、 <b>再生</b> を押す
	<ul> <li>* チャンネル番号の入力画面になります。</li> <li>* 最初に(再生)を押したときは、前回再生操作を行ったチャンネル番号を表示します。</li> </ul>
2	▲または▼を押して、 * 10ch サイセイ 0:25 再生するチャンネル番号を選ぶ
	<ul> <li>* 10 チャンネル(選択転送案内パターン 5)の例</li> <li>* 録音されたチャンネルが順番に表示されます。</li> <li>* 本装置に読み込まれているデータの設定で、使用するチャンネル番号には、先頭に「*」が表示されます。</li> </ul>



- \* 再生音は、前面のボリュームで音量が調節できます。
- \* 再生が終了すると、再生チャンネル番号の入力画面に戻ります。
- \* 続けて再生するときは、チャンネル番号を選んで、手順3を 繰り返します。

**4** (終了)を、必要回数押して待機 (10:25) 画面または応答中画面に戻す

\* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

# 動作モードの確認/変更

# 1. マニュアル動作の設定

◎本装置の動作モードを、マニュアルで切り替えて使用する場合は、次の方法で「マニュアル動作」の設定を行います。



2. タイマースケジュールの確認

の確認ができます。

◎ 本装置の動作モードを、年間タイマーで自動切り替えし

て使用する場合に、次の方法で「タイマースケジュール|



● ファン動作チェックの結果が、【ファン ドウサ NG】と表 示された場合は、ファンの動作に異常があります。点 検が必要となりますので、販売店または最寄りの当社

営業所にご連絡ください。

# 応答にセットする

◎ 応答にセットすると、設定された動作モードに従って電話着信に自動応答します。

- ◎ 応答モードには、「マニュアルモード」と「タイマーモード」があります。
  - ・マニュアルモード:本装置のボタン操作で動作モードを選択・設定して応答セットします。
  - ・タイマーモード : 応答セットすると、制御用パソコンで作成した年間タイマーの内容に従って、動作モードが自動的 に切り替って動作します。

# 1. 応答モードの切り替え

■マニュアルモードからタイマーモードへの切り替え



## 応答ランプ/タイマーランプ表示 –

応答ランプおよびタイマーランプは、本装置の状態に よって次のように表示します。

・応答ランプ		
応答セット中	タイマーモードで、 応答待機時間中	応答解除中
点灯	点滅	消灯
・タイマーランプ		
タイマーセットで、 応答セット中	タイマーセットで、 応答解除中	タイマー解除中
点灯	点滅	消灯
	<ul> <li>・応答ランプ</li> <li>応答セット中</li> <li>点灯</li> <li>・タイマーランプ</li> <li>タイマーセットで、</li> <li>応答セット中</li> <li>点灯</li> </ul>	<ul> <li>・応答ランプ</li> <li>         応答セット中 点灯         タイマーモードで、 広答待機時間中         点減         </li> <li>・タイマーランプ</li> <li>タイマーセットで、 ふ名イマーセットで、 応答セット中</li> <li>タイマーセットで、 広答解除中</li> <li>             点減</li> </ul>

# **クフンポイント**

- ●本装置に読み込まれている登録データの、年間タイマー有効期間を過ぎている場合、「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、約3秒間、【スケジュール ガ ムコウデス】と表示され、タイマーモードにセットできません。
- ●マニュアルモードで応答セット中にタイマーを押したとき、タイマーモードで必要なメッセージの録音がない場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、約2秒間、「ロケンガ ガ アリマセン】と表示します。続いて録音されていないメッセージのチャンネル番号が、【xxch ロウオン ナシ】のように、順番に表示されます。必要なメッセージの録音を行ってください。



● タイマーモードで応答セット中に タイマーを押したとき、マニュアルモードで必要なメッセージの録音がない場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、約2秒間、【ロカオン ガ アリマセン】と表示します。続いて録音されていないメッセージのチャンネル番号が、【xxch ロカナナ〉】のように、順番に表示されます。必要なメッセージの録音を行ってください。

■ タイマーモードからマニュアルモードへの切り替え



\* タイマーモードがセットされている場合は、タイマーランプ が点滅します。

#### ■ 応答中の動作モードの確認/変更

本装置がマニュアルモードで応答中に、動作モードの確認 や変更ができます。 詳しくは、「装置編 - 動作モードの確認/変更 -1. マニュア ル動作の設定|(42ページ)を参照してください。

# **リフンポイント**

- **応答** を押したとき、必要なメッセージの録音がない 場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、約2秒間、【ロ クオン ガ アリマヤン】と表示します。続いて録音されていな いメッセージのチャンネル番号が、【xxch ロクオン ナシ】 のように、順番に表示されます。必要なメッセージの 録音を行ってください。
- 応答 を押したとき、メッセージ用メモリーカードが 挿入されていないと、「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、 約3秒間、【カード ガ アリマセン】と表示し、応答のセット ができません。
- ●応答セット中は、メッセージカードランプが点灯して います。このときに、メッセージ用メモリーカードを 取り出さないでください。メモリーカードが破損する 場合があります。

## 3. 外部からの応答セット

◎ 本装置後面の外部制御端子へ接続したスイッチ(ロック 式)から応答のセット/解除ができます。



### ■応答にセットするには

外部スイッチを「ON」にします。

●あらかじめセットしてある動作モードで応答にセットさ

#### ■ 応答を解除するには

外部スイッチを「OFF」にします。 ● 応答が解除になります。



- 外部スイッチで応答にセットしたあと、本装置の操作 で、(**応答**)→(**セット**)を押して、応答を解除できます。 再度、外部スイッチで応答にセットするには、外部ス イッチを、一度、「OFF | にしてから「ON | にします。
- ●本装置で応答にセットしたあと、外部スイッチで応答 を解除するには、外部スイッチを、一度、「ON」に してから「OFF」にします。

## STOP お願い -

● 外部スイッチまでのケーブルは約 100 mまで延長で きますが、電力線と平行して配線したり、屋外を架線 で配線しないでください。

## ■ ランプ表示について

### ● 回線モニターランプ

回線の状態によって次のように表示します。

± -	
衣 示	四
[緑] 点灯	回線が接続されていて待機中(正極)
[赤] 点灯	回線が接続されていて待機中(負極)
消灯	「回線未使用」に設定されている
[緑] / [赤] 交互に点灯	「回線使用」に設定されていて、回線が接続 されていない
[橙] 早い点滅 _ <b>             </b>	ベル信号着信中(ベル信号と同期します)
[緑] または [赤] 早い点滅	本装置が応答動作中
[緑] または [赤] 遅い点滅	ダイヤル中・呼び出し中・通話中などの、 回線使用中
[橙] 長い消灯で、短く点灯 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	本装置内部データ設定中
[橙] 長い点灯で、短く消灯	ボイスワーブ設定中



・負極:L1(-)、L2(+)
 ※回線にベル着信がないとき(待機中)
 に[緑] 点灯(正極)になるように接続してください。

## ● 登録・集計用メモリーカードランプ

表示	状態
消灯	カード待機中
点灯	カードアクセス中
点滅	カードなしエラー表示中、カード異常

### ●メッセージ用メモリーカードランプ

表示	状態
消灯	カード待機中
点灯	応答モード中、回線閉塞中、カードアクセス中
点滅	カードなしエラー表示中、カード異常

#### ● ボイスワープランプ

表示	状 態
消灯	ボイスワープ「使用しない」/「使用する」の停止中
点灯	ボイスワープ開始中
点滅	ボイスワープ設定中

# 集計データについて

- ◎ 本装置の、着信件数・転送件数・応答件数などのデータを集計して出力することができます。
- ◎ データは、「回線別集計(全回線集計含む)」「回線グループ別集計」「転送先別集計」「選択転送先別集計」「ツリー転送 先別集計」「ツリー案内メッセージ別集計」の6種類に分けて集計されます。
- ◎集計方法は、定時集計(時集計、日集計、週集計、月集計)と臨時集計があります。
- ◎ 集計データは、手動で登録・集計用メモリーカードに出力して制御用パソコンで読み込み、表示する方法と、LAN 接続 して制御用パソコンから手動または自動で本装置のデータを収集し、表示する方法があります。
- ◎ 集計データの表示や印刷は、本装置ではできません。制御用パソコンで行ってください。
- ◎ 集計データの内容など、詳細については「データ編 着信応答データの集計/確認 -4. 集計データを確認する」(189 ページ)を参照してください。

# 1. データの集計方法

## 1-1 定時集計

応答セット中、次の種類のデータが該当する日時に自動集 計されます。

種類	内容	集計期間	集計日時
時集計	1 時間の合計	前の 1 時間 (0 ~ 60 分)	毎時0分
日集計	1日の合計	前日 (0 ~ 24 時)	毎日、 午前0時
週集計	1週間の合計	先週 (月曜日~日曜日)	毎週、月曜日 午前0時
月集計	1ヶ月の合計	先月 (1 日~月末)	毎月1日、 午前0時

#### ■ 集計データの選択

各集計データは、IVR-2430 データ入力ソフトの本体初期 設定「集計設定」で、種類ごとに「集計する/しない」が 選択できます。工場出荷時は、時集計は「集計しない」、日 集計・週集計・月集計は「集計する」に設定されています。 詳しくは「データ編 - 新しくデータを作成する -1.本体初期 設定 -1-3 集計設定」(72 ページ)を参照してください。

### ■ 集計データの上書き

定時集計のデータは、本装置に最大 360 ファイルまで保存 されます。「集計設定」で「データの上書きする」に設定さ れているときは、ファイル数が満杯になると、古いファイ ルから順番に上書きされます。

- 保存できるファイル数
  - ・時集計のみ:約15日分
  - ・日集計のみ:約1年分
  - ・週集計のみ:約7年分
  - ・月集計のみ:約30年分



●「データの上書きしない」に設定されているときは、 ファイル数が残り30以下になると、【シュウケイ ノコリ \*\*7 rイル】(\*\*は残りファイル数)と警告表示します。さらに、ファイル数が360になると、【シュウケイガ イッパイテ ゙ス】と表示し、「ピッ・ピッ・ピッ・ピッ」と鳴ります。 集計データの出力操作を行って、本装置内の集計デー タを消去してください。

## 1-2 臨時集計

着信件数・転送件数・応答件数などのデータを臨時出力す ることができます。臨時出力されるデータは、前回の出力 から今回の出力までの累計を集計します。



●集計データは1時間ごとに本装置内にバックアップ保存されます。停電があると、前回のバックアップから停電発生までの集計データは消去されます。

## - STOP お願い -

●運用の途中で、「年月日時刻」、「回線グループ」、「転送先」などを変更する場合は、事前に集計データの出力を行って、データを消去してください。 そのまま運用すると、正確なデータ集計ができない場合があります。

# 2. 集計データの出力

集計データは、本装置のボタン操作で「登録・集計用メモリーカード」に出力します。本装置では集計データの表示や印刷 はできません。



- ●「定時集計データの出力のしかた」の手順2、または「臨 時集計データの出力のしかた」の手順3でセットを押 したとき・・・・
- ・すべての集計が「集計しない」に設定されていると 「「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、約3秒間、【シュウケイ ガ アリマセン】と表示します。
- ・集計データを出力するとメモリーカード内の集計ファ イルが 400 を超える場合、「「ピッ・ピッ ・・・・」と鳴っ て、約 3 秒間、【アキエリア ガ アリマセン】と表示します。メ モリーカード内のデータを制御用パソコンで集計して 消去してください。
- ・メモリーカード内に別の装置で集計したファイルがある場合、「「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、約3秒間、【ソウチバンゴウフヤチ】と表示します。前回この装置で出力したメモリーカードを使用するか、メモリーカード内のデータを制御用パソコンで集計して消去してください。

- 👩 ワンポイント

- 定時集計データ、臨時集計データ共に、集計データの 出力操作を行うと、本装置内の集計データは消去され ます。
- ●本装置と制御用パソコンをLAN接続でご使用の場合 は、登録・集計用メモリーカードを使用しないで直接 集計データを制御用パソコンに読み込むことができま す。詳しくは、「データ編 - 着信応答データの集計/ 確認 -3.本体装置から集計する(LAN)」(185ページ) を参照してください。
- データの表示・印刷は、制御用パソコンで行います。 カードライトアダプタ CWA-100 を使用して、メモリーカードの集計データを制御用パソコンに読み込んでください。読み込みのしかたは、「データ編 - 着信応答データの集計/確認 -2.メモリーカードから集計する」(184 ページ)を参照してください。

# 3. 臨時集計データのクリア

◎ 収容回線の変更や会社組織の変更などで、本装置内の臨時集計データを、いったんクリアしたい場合は、次の方法で行います。

1	待機中、または、応答セット中 1. シュウケイ シュツリョク に、 (集計)を押す *【1. シュウケイ シュツリョク】の画面になります。
2	
3	セットを押す 07/3/12 9:45 ~
	<ul> <li>* 前回、臨時集計データの出力または臨時集計データのクリア を行った日時を表示します。そこからのデータをクリアしま す。</li> <li>* お買い上げ後、最初の日時表示は【//: ~】となります。</li> </ul>
4	セットを押す シハ・ラク オマチクタ・サイ
	* データのクリアが始まります。 * すべてクリアされると、「ビー」と鳴って、【3.リンジ シュウケイクリア】 の画面になります。
5	(終了)を、必要回数押して待機 画面に戻す (207年 3月12日 10:25)
	* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

# 1. 後面端子部の名前とはたらき



名 前		機能(はたらき)	仕様/接続条件
1	回線接続端子(L1,L2)	アナログ一般公衆回線、または構内交換機(PBX)の内線 回線を接続する端子です。	<ul> <li>・極性をあわせて接続してください。極性が違うと、</li> <li>正常に動作しない場合があります。</li> </ul>
2	回線接続端子(T1,T2)	構内交換機(PBX)の回線側、または直接電話機に接続す る端子です。	<ul> <li>・極性をあわせて接続してください。極性が違うと、</li> <li>正常に動作しない場合があります。</li> </ul>
3	ファン	本装置内部の放熱用ファンです。	
4	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続し、AC 電源を供給するためのコネク タです。	・添付の AC コードで、AC100V に接続してください。
5	接地端子	安全のための接地端子です。必ず接地してください。	
6	接地端子(PBX G)	構内交換機(PBX)やビジネスホンなどに接続するとき、 その筐体へ接続する端子です。	
1	時刻修正端子(IN)	本装置の内部時計を、外部から修正するための端子です。	<ul> <li>・無電圧メーク接点で入力してください。</li> <li>(端子間をリレー接点などでショートします。)</li> <li>・接点容量:DC10V,10mA以上</li> <li>・信号時間:0.2秒以上</li> </ul>
8	時刻修正端子(OUT)	本装置を複数台使用したときなどに、他の機器の内部時 計を修正するための端子です。	<ul> <li>・無電圧メーク/ブレイク接点で出力します。</li> <li>・接点容量:DC30V,500mA以下</li> <li>・信号時間:約 0.3 秒間出力</li> </ul>
9	外部制御端子	外部のスイッチなどから、本装置を応答にセットしたり 解除するための端子です。	<ul> <li>・無電圧メーク接点で入力してください。</li> <li>(端子間をリレー接点などでショートします。)</li> <li>・接点容量:DC10V,10mA以上</li> <li>・信号時間:0.2 秒以上</li> </ul>
10	アラーム端子	本装置がアラーム状態になったときに、アラーム信号を 出力します。	<ul> <li>・無電圧メーク/ブレイク接点で出力します。</li> <li>・接点容量:DC30V,500mA以下</li> <li>・アラーム解除まで出力します。</li> </ul>
11	LAN 接続端子	本装置を LAN 接続で使用するときに、LAN ケーブルを 接続する端子です。	・通信プロトコル:TCP/IP ・インターフェース:10BASE-T/100BASE-TX
(12)	コード止め具	回線や他の機器に接続した配線を固定します。	
13	増設用ラインボード スロット	回線収容数が7回線以上の場合、別売りの6回線ライン ボードを収容します。	<ul> <li>・3枚のラインボードが増設でき、最大24回線まで 収容できます。</li> </ul>

2. 各機器との接続のしかた



●本装置をラック(市販品)に取り付ける場合は、本装置のメンテナンス作業時間短縮などのため、ご利用になるラックに対応した棚板(市販品)と併用することを推奨します。

**リンポイント** 



- AC100V 電源は、添付の電源コードで接地端子付の 3 ピンコンセントを使用してください。 変換アダプタで 2 ピンコンセントに接続する場合は、 必ず接地端子で接地してください。
- ●本装置の上に本やダンボールなど、通気孔をふさぐものをおかないでください。また、本装置を2台以上積み重ねて使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 外部制御端子および時刻修正端子(IN)に接続するケーブルは約100mまで延長できますが、電力線と平行して配線したり、屋外を架線で配線しないでください。

設置工事

### ■他の機器を接続する場合の注意事項

#### ● 回線との接続

L1,L2 (LINE) 側の「L1/L2」および T1,T2 (TEL) 側の「T1/T2」には、極性があります。極性を間違えて 接続すると、正常に動作しない場合があります。

L1,L2 (LINE) 側の「L1」は(+)「L2」は(-)、また、 T1,T2 (TEL) 側の「T1」は(+)「T2」は(-)にな るように接続してください。

※回線にベル着信がないとき(待機中)に、回線モニ ターランプが [緑] 点灯(正極)になるように接続 してください。

● 接地端子(PBX G)の接続

接地端子(PBX G)は、必ず構内交換機(PBX)の接 地端子と接続してください。また、構内交換機(PBX) が接地されていることを確認してください。接続しない と正常に動作しない場合があります。

#### ● LAN(制御用パソコン)の接続

本装置と制御用パソコンをLAN 接続して使用する場合 に接続します。LAN の仕様は次のとおりです。

・プロトコル : TCP/IP

・インターフェース:10BASE-T/100BASE-TX

IP アドレスなどの登録については、本装置側は「装置編 - 本装置の初期設定 - 2. 装置情報の登録」(34 ページ)を、 制御用パソコン側は「データ編 - データ入力ソフトを起 動・終了する -2. 装置情報登録について」(61 ページ) を参照してください。

#### ● アラーム出力の接続

本装置に停電などの障害があると、アラーム端子に信号 を出力します。出力信号は、接続する端子によってメー ク/ブレークが選択できます。



アラーム出力は、次のようなときに出力されます。

- 本装置に電源が供給されていないとき。
- ・登録データがないとき。【トウロク データ ナシ】と表示します。
- ・本装置の温度上昇異常のとき。【オント゛イジョウ ハッセイ】と 表示します。

#### ● 外部制御入力の接続

本装置の応答ボタンに代わって、応答のセットおよび解除をすることができます。詳しくは「装置編 - 応答にセットする -3. 外部からの応答セット」(45ページ)を参照してください。

スイッチはロック式を使用してください。

#### ● 時刻修正端子の接続

#### ◆ 時刻修正 IN 端子

修正用時計から修正信号を受け取ると、本装置の内蔵 時計を0秒修正します。

修正は、次の2つの方法があります。

◇± 30 秒で修正する

- 1日1回程度、修正信号が来る修正用時計に接続し てください。
- ・本装置の時計が0秒から29秒のときは0秒に、
   30秒から59秒のときは、1分進めて0秒に戻します。
  - 例:13時12分12秒→13時12分0秒

13時12分39秒→13時13分0秒

#### ◇± 10 秒で修正する

30 秒ごとにパルスが来る時計に接続してください。

・本装置の時計が0秒から10秒のときは0秒に、
 50秒から59秒のときは1分進めて0秒に戻します。

例:13時12分8秒→13時12分0秒

13時12分55秒→13時13分0秒

#### ♦ 時刻修正 OUT 端子

時刻修正 OUT 端子から、1 時間に 1 回、無電圧接点 で時刻修正信号が出力されます。本装置を複数台ご利 用のとき、OUT 端子を他の「IVR-2430」の IN 端子 へ接続します。

#### ● 電源の接続

添付の電源コードで、AC100Vに接続してください。

・本装置には電源スイッチおよび電源ランプがありません。電源が入力されると、ディスプレイに待機画面が表示されます。

#### ● 接地端子の接続

回線保護や安全のため、必ず接続してください。

・絶対にガス管には接続しないでください。火災などの 原因となります。

#### ● 配線コードなどの固定

本装置を移動したりしたときに、接続が外れることを防 止するため、接続した線やコードは、コード留め具で固 定してください。

## 3.6回線ラインボードの増設のしかた

◎回線を7回線以上収容する場合には、次の方法で6回線ラインボード(別売り)を増設してください。 本装置には、6回線単位で最大24回線(増設ボード3枚)まで収容できます。

- 1 本装置後面のラインボード隠し板を外します。
   右端のネジ1本を外し、左側のガイド穴から抜き取ります。
  ラインボード隠し板
  ブインボード隠し板
  ブイド穴から抜き取ります。
  ガイド穴から抜き取ります。
- 2 6回線ラインボードを、レールに合わせて差し込みます。



- 奥のコネクタに確実に差し込んでください。
- 差し込むときは、ボードの部分を指で押してください。
- 3 添付のラインボードパネルを取り付けます。
  - ガイド穴にパネルの左端を差込み、右端のネジ1本を締め付けます。



《12回線実装時の例》



STOP お願い

- ●6回線ラインボードを増設するときは、必ず、電源プ ラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ●6回線ラインボードを挿入するときは、ボードの部分 を指で押してください。回線接続用のジャックを押さ ないでください。破損の原因となります。
- ●6回線ラインボードを増設した場合は、最初の電源投入時に、LINE プログラムのバージョンアップを行う場合があります。この場合は、バージョンアップが完了するまでしばらくお待ちください。

# メモ



# データを登録する前に

◎ 既存の構内交換機(PBX)などを制御する転送スケジュールや本体装置の初期設定などは、お手持ちのパソコンで行い ます。ご使用になるパソコンの動作環境や、データ登録作業の手順などを理解した上でデータ登録を行ってください。

# 1. データ入力ソフトをセットアップする

## 1-1 パソコンの動作環境

●お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめ ください。動作環境が違うと、正常にデータ作成ができ ない場合があります。

OS	Windows 8.1/7(SP1)/Vista(SP2)
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	300MB以上の空き容量
ソフトウェア	Microsoft Excel 2013/2010/2007 ※「着信応答データの集計/確認」に使用します。
サウンド	Waveファイル(8KHz,8bit、Mono、µ-law)が 再生できること
ディスプレイ	1024×768以上 High Color(16bit)以上推奨
USB	USB 2.0/1.1
LAN	TCP/IP, 10BASE-T 100BASE-TX
CD-ROMドライブ	インストール用

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

# 1-2 データ入力ソフトをインストールする

## ● インストールの準備

カードライトアダプタ CWA-100 を接続しない状態でインストールします。

(Windows 7 の操作例)

- 1. ほかのソフトをすべて終了します。
- 2. 添付の「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD をパソ コンの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3. 【自動再生】画面が表示されます。 「セットアップの実行」をクリックします。
- ※【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合は「はい」また は「許可」をクリックします。
- 4. インストールプログラムが起動します。



[次へ]をクリックします。以降は画面の指示に従って インストールしてください。 5. インストールの途中で【デバイスドライバのインストール ウィザードの開始】画面が表示されます。



画面の指示に従って [インストール] ボタンをクリッ クし、デバイスドライバをインストールしてください。

Windows TP2UP4	
このタバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
S形: Telecom Co. Lig ユニバーサル シリアルパス 第日形: Telecom Co.LM	3240-9-
Takasan Gulda' 9609710278808     BT8(4)	(004000-1X4N (00-4X4N)
● 住所下を発行たからのドライバー ソフトウェアのみをイン	AP-AUTORNA PROVIDE-ATABVIC

- 6. デバイスドライバのインストール完了後、本ソフトの インストールを完了します。
- 7. 画面の指示に従って、必要であればシステムを再起動します。
- インストールプログラムが自動的に起動しないとき (Windows 7 の操作例)
- タスクバーの[スタート]→[すべてのプログラム]→[ア クセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリッ クします。
- 2. 「名前」欄に、キーボードから「E:¥setup.exe」と入 れて[OK] ボタンをクリックします。インストールプ ログラムが起動します。
- ※「E:」は CD-ROM のドライブ名です。お使いのシステムによって 異なります。

引き続きカードライトアダプタ CWA-100 の接続を行う 場合は、「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD は、ドラ イブに入れたままにしておきます。

- STOP お願い

- インストールまたはアンインストールする際は、必ず、 管理者権限を持ったユーザー (例えば Administrator) が行ってください。
- インストールするフォルダは、必ずフルコントロール (読み書き、削除等)ができるフォルダにしてください。

## 1-3 カードライトアダプタ CWA-100 の接続

- 1. 添付の CD はパソコンに入れたままにしておきます。 ● CD を取り出してしまったら:
  - (1)CD-ROM ドライブに CD を入れます。
  - (2) インストールプログラムが起動したら、[キャンセル] ボタンを クリックします。
- CWA-100 とお手持ちの Windows パソコンを、添付の USB ケーブルで接続します。
  - ※パソコンの USB コネクタの位置はパソコンによって異なります。 パソコンの取扱説明書をご覧ください。



- CWA-100 とパソコンの接続



#### ■ ドライバのインストール

以降の手順はご使用になっているパソコンの OS により異なります。

(Windows 7 の操作例)

1. CWA-100 を接続すると、次の画面が表示され、自動 的に設定が始まります。



2. しばらくして、設定が完了します。

#### ● 以下の画面が表示された場合は

・次の画面が表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し[次へ]をクリックします。



設定が再開します。

 ・次の画面が表示された場合は、「ソフトウエアを自動的 にインストールする(推奨)」を選択し、[次へ]ボタ ンをクリックします。



設定が再開します。

・次の画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。



設定が再開します。

「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD をドライブから 取り出します。

## 1-4 入力ソフトを削除する

- 本ソフトを削除 (アンインストール) するときは、次の手順で行います。
   (Windows 7 の操作例)
- 1. 本ソフトを終了します。
- メニューバーを「スタート」→「コントロールパネル」 の順にクリックします。
- 3. 「プログラムのアンインストール」を開きます。
- 4. 「IVR-2430 データ入力ソフト」を選んで削除します。

# 2. データ登録作業の手順

◎ 添付の「IVR-2430 データ入力ソフト」をインストールした後、次の手順で応答・転送用の各データを登録します。

● 新規にデータを作成する場合は、【トップ画面】で [新規作成] ボタンをクリックします。

● 表示される【編集メニュー】画面から、次の手順で登録します。



手順	ボタン名	登録/確認項目	内容
	本体初期設定	本体設定	本体装置の、接続種別・ダイヤルイン桁数・ボイスワープ 使用・時刻修正などの基本項目を設定します。
1		個別回線設定	回線使用の有無・接続種別・回線種別・集計グループなど の回線情報を、回線ごとに設定します。
		集計設定	応答・転送の件数などの集計に関する条件を設定します。
② 転送先登録			転送先の名前・電話番号・転送種別を登録します。 最大 100 件まで登録できます。
		選択転送	選択転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ設 定を行います。
	応答・転送	ツリー転送	ツリー転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ 設定を行います。
3		ダイレクト転送	ダイレクト転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ設定を行います。
動作モード登録		無条件転送	無条件転送モードを使用するか、使用しないかの設定を行 います。
	お待たせ		お待たせモードの、動作設定・呼出先設定・メッセージ設 定などを行います。
	応答専用		応答専用モードの、動作設定・呼出先設定を行います。
		曜日スケジュール	1日の動作モード切替え時刻などのスケジュールを、日曜日 から土曜日までの7日分設定します。 年間タイマーの基本動作となります。
(4)	年間タイマー	祝日スケジュール	「祝日」の動作モード切替え時刻などのスケジュールを設定 します。
		特定日スケジュール	臨時休業や臨時営業など、特定の年月日に限っての動作モード切替え時刻などのスケジュールを設定します。 スケジュールはA~Vの22種類が設定できます。
	登録カード書込		作成した初期設定やスケジュールのデータを、本体装置に 登録するため、登録・集計用メモリーカードに書き込みます。
5 書込·保存	装置書込		作成した初期設定やスケジュールのデータを、LAN 経由で 本体装置に書き込みます。
	ファイル保存		作成した初期設定やスケジュールのデータを、制御用パソ コンに保存します。

# データ入力ソフトを起動・終了する

◎「IVR-2430 データ入力ソフト」を起動すると、データ入力ソフトが立ち上がり、【トップ画面】になります。

# 1. 起動・終了のしかた

 タスクバーから、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Takacom] → [IVR-2430 データ入力ソフト] を選択して クリックします。 (Windows 7、クラッシック画面の例)

・本ソフトが起動し、【トップ画面】が表示されます。

I.	<u> NR-2430データ入力ソフト</u>	. I
•	がに戻る	2
70	グラムとファイルの検索	2

[ヘルプ] → [バージョン情報] とクリックして、 データ入力ソフトのバージョンを確認できます。	トップ画面 / 表示	タ入力ソフトのバージョンが されます。 -
(■) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●		

- 2. 作業ボタンで、操作する作業を選択してクリックします。
  - ●「登録内容の作成/編集」
    - ・新規にデータを作成するときは、[新規作成] ボタンをクリックし、【編集メニュー】画面を呼び出します。
    - ・データを編集するときは、[登録カード読込]/[装置読込]/[ファイル読込]、いずれかのボタンをクリックし て作成済みのデータを読み込んで、【編集メニュー】画面を呼び出します。
  - ●「メッセージカード編集」

メッセージ用メモリーカードに録音された各種メッセージの、保存・書き込み・再生・消去などを行います。

●「モニタ」

本体装置の着信状況などを LAN 経由でモニタしたり、応答モードを切り替えます。

●「集計」

電話着信件数や応答・転送件数などのデータを集計します。 登録・操作のしかたは、それぞれの説明を参照してください。

3. 「IVR-2430 データ入力ソフト」を終わるときは、[終了] ボタンをクリックします。



## 2. 装置情報登録について

◎ 本体装置の装置番号と装置名、および制御用パソコンと LAN 接続して使用する場合の、本体装置 IP アドレスなどの情報を登録します。本体装置は最大 1000 台まで登録できます。



- ・① 装置情報一覧
   ・登録した装置の装置番号、装置名、IP アドレスを一覧で
- 表示します。 ② 装置番号

本体装置に番号を付けます。 番号は 000 ~ 999 まで付けられます。

③ 装置名

装置の名前を付けます。名前は、半角 20 文字、全角 10 文字まで登録できます。

④IPアドレス

登録した装置を LAN 接続で使用するときに、チェック ボックスをクリックして☑を付け、IP アドレスを登録し ます。

⑤[追加/編集] ボタン

新規に装置情報を登録するとき、装置情報一覧の空欄を クリックすると[追加]ボタンになります。装置情報を 登録したあと、クリックします。

登録内容を変更するときに、装置情報一覧で装置を選択 しクリックすると[編集]ボタンになります。登録内容 を変更したあと、クリックします。

⑥ [削除] ボタン 装置情報一覧で選択した装置を、削除するときにクリックト・ホーム・パックロンクショント・ホーム・パックロンクショント・ホーム





削除するときは [はい] ボタンをクリックします。

- ⑦ [LAN 接続テスト] ボタン
   装置一覧で選択した装置と、LAN 通信の接続テストを
   行うときにクリックします。
- ⑧ 接続テスト結果 接続テストの結果を表示します。
- ⑨ [印刷] ボタン
   登録内容をプリンタに出力するときにクリックします。
- ⑩ [戻る] ボタン 【トップ画面】に戻ります。



## 3. パスワード設定について

◎ データ入力ソフトで行う各操作を、パスワードで制限することができます。 パスワードは、マスター・システム・オペレータの3種類が設定できます。

- 1. 【トップ画面】左上の [PC 設定] をクリックします。
- 2. [パスワード設定]をクリックします。



※【パスワード設定】画面が表示されます。

3. パスワードと使用を許可する項目を設定します。



den de la companya de

トップ画面

【トップ画面】

AKATOM

の【トップ画面】

AKATOM

※ 左の例のパスワード登録のとき・・・・

・システムパスワードでログインしたときの

-

オペレータパスワードでログインしたとき

12-30-4

COLUMN TWO IS NOT

まで設定できます。 ① マスターパスワード

マスターとなるパスワードを設定します。このパスワー ドは、すべての操作項目が使用できます。

- システムパスワード
   システムパスワードを設定します。マスターパスワード
   を設定したときに設定できます。
- システムパスワードで使用を許可する操作項目をチェックします。
- ④ オペレータパスワード
   オペレータパスワードを設定します。マスターパスワードを設定したときに設定できます。
- ⑤ オペレータパスワードで使用を許可する操作項目を チェックします。
- ⑥ [登録] ボタン
  - パスワードを登録するときにクリックします。 マスターパスワードの確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、【トップ画面】に戻り ます。 ⑦ [戻る] ボタン

登録した内容をキャンセルして【トップ画面】に戻りま す。



トップ画面

## 4. カード初期化について

◎本システムで使用するメモリーカードを初期化することができます。 カード初期化には、登録・集計用メモリーカードとメッセージ用メモリーカードの2種類があります。

## ■ 登録・集計用カード初期化

- 1. 登録・集計用メモリーカード(KFC-60M)をカード ライトアダプタ(CWA-100)にセットします。
- 2. 【トップ画面】左上の[カード初期化]をクリックします。
- 3. [登録・集計用カード初期化] をクリックします。



※ 初期化確認の画面が表示されます。

- 4. 登録・集計用カードを初期化するときは、[はい] ボタ ンをクリックします。
  - 初期化を中止するときは、[いいえ] ボタンをクリックします。【トップ画面】に戻ります。
- 5.【カード初期化完了】を表示します。[OK] ボタンをク リックします。



### ■ メッセージ用カード初期化

- 1. メッセージ用メモリーカード (JFC-60M) をカードラ イトアダプタ (CWA-100) にセットします。
- 2. 【トップ画面】左上の[カード初期化]をクリックします。
- 3. [メッセージ用カード初期化]をクリックします。



※ 初期化確認の画面が表示されます。

- 4. メッセージ用カードを初期化するときは、[はい] ボタ ンをクリックします。
  - 初期化を中止するときは、[いいえ] ボタンをクリックします。【トップ画面】に戻ります。
- 5.【カード初期化完了】を表示します。[OK] ボタンをク リックします。





# 新しくデータを作成する

◎ 新しく各種のデータを作成する場合は、【編集メニュー】画面から項目を選んで行います。

●【編集メニュー】画面の呼び出し

【トップ画面】で [新規作成] ボタンをクリックすると、【編集メニュー】画面を表示します。



# 1. 本体初期設定

◎本体装置の各データを設定します。

●【本体初期設定】画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で[本体初期設定]ボタンをクリックすると、【本体初期設定】画面を表示します。



# 1-1 本体設定

## ■ 本体設定画面の呼び出し

【本体初期設定】画面の[本体設定]タブをクリックします。

ル動作モード <b>川(T1,T2)</b> アルイン桁数 イヤルイン桁数	応答専用1 一般 1桁		応答専用 応答専用案内1
<b>川(T1,T2)</b> ?ルイン桁数 イヤルイン桁数	<u>一般</u> 1桁		応答専用案内1
マルイン桁数 イヤルイン桁数	1桁		心否専用案内1
イヤルイン桁数	1 o 10-		
	1UMT		
∛イヤルイン 呼出先1			
∛イヤルイン 呼出先2			
《イヤルイン 呼出先3			
《イヤルイン 呼出時間	30秒		
ブ 転送	使用しない		
ーブ 無音検出	検出しない		
ーブ 無応答時転送先			
グ 転送	使用しない		
Ē 🔤	±30秒		
	<pre>マイレルイン 守出先1 5イヤルイン 呼出先3 5イヤルイン 呼出先3 5イヤルイン 呼出時間 ーブ 振送 ーブ 無音検出 ーブ 無応答時転送先 グ 転送 E</pre>	マイワルイン 守出先1 デイヤルイン 呼出先3 デイヤルイン 呼出先3 デイヤルイン 呼出時間 30秒 ーブ 振送 使用しない ーブ 無容検出 検出しない ーブ 無応答時転送先 グ 転送 使用しない E ±30秒	<ul> <li>マイレイン 守出先1</li> <li>マイレイン 呼出先3</li> <li>ジイヤルイン 呼出時間 30秒</li> <li>ーブ 転送 使用しない</li> <li>ーブ 無応答時転送先</li> <li>グ転送 使用しない</li> <li>E ±30秒</li> </ul>

### ■本体設定の内容

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	マニュアル動作モード	マニュアルモード時の動作モードを設定します。	<ul> <li>・選択転送パターン1~20</li> <li>・ダイレクト転送</li> <li>・ツリー転送パターン1,2</li> <li>・無条件転送1~100</li> <li>・お待たせ</li> <li>・応答専用案内1~10</li> </ul>	応答専用案内 1
2	接続種別(T1,T2)	本装置の T1,T2 (TEL) 側に接続する構内交換機 (PBX)、電話機などの種別を設定します。	・一般 ・ナンバーディスプレイ ・PB ダイヤルイン ・モデムダイヤルイン	一般
3	PB ダイヤルイン桁数	PB ダイヤルイン使用時に構内交換機(PBX)が照 合する番号の桁数を設定します。	1~4桁	1 桁
4	モデムダイヤルイン桁数	モデムダイヤルイン使用時に構内交換機(PBX)が 照合する番号の桁数を設定します。	10~18桁	10桁
	待機時ダイヤルイン 呼出先 1			なし
5	待機時ダイヤルイン 呼出先 2	ダイヤルイン使用時で、本装直が存機中に有信した   ときの呼出先番号を設定します	PB / モテムダイヤルイン桁数で  設定した桁数	なし
	待機時ダイヤルイン 呼出先 3			なし
6	待機時ダイヤルイン 呼出時間	呼出先が2つ以上設定されている場合、1つの呼出 先を呼び出す最大時間を設定します。呼出先が1つ の場合はこの設定にかかわらず呼び出し続けます。	10~240秒	30 秒
7	ボイスワープ 転送	ボイスワープを利用した転送を「使用する/使用し ない」を設定します。「使用する」を設定すると、 本装置が着信に応答するまでのベル回数は5回まで に制限されます。	<ul> <li>・使用しない</li> <li>・使用する</li> </ul>	使用しない
8	ボイスワープ 無音検出	ポイスワープの開始および停止の自動設定を、ガイ ダンス中でも行うときは「しない」を、ガイダンス 終了後に行うときは「する」を設定します。	・しない ・する	しない
9	ボイスワープ 無応答時転送先	ボイスワープ転送で、本装置が停電などで着信に応 答しなかったときに転送する番号を設定します。	最大 18 桁まで	なし
10	フッキング 転送	構内交換機(PBX)などのフッキングを利用した転 送を「使用する/使用しない」を設定します。	・使用しない ・使用する	使用しない
11	時刻修正	本装置の内部時計を、外部の親時計などで時刻修正 するときの方式を設定します。	· ± 30 秒 · ± 10 秒	土 30 秒

## ■ 設定のしかた



① 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 されると反転表示になります。

②設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. マニュアル動作モード















大3ヵ所の設定ができます。

8. ボイスワープ無音検出



9. ボイスワープ無応答時転送先



- ・停電などのために本装置が自動応答できなかったと きに転送する電話番号を入力します。 転送先名は変更できません。
- ・[削除] ボタンをクリックすると、削除の確認画面 を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、ボイスワープ無 応答時転送先を削除します。

- 10. フッキング転送
  - ・2.の接続種別で、「PB ダイヤルイン」または「モ デムダイヤルイン」を選択したときは設定できません。
  - ·7.のボイスワープ転送で、「使用する」を選択した ときは設定できません。

<ol> <li>フッキング転送「使用 する/使用しない」を 選択してクリックし</li> </ol>	- フッキング 転送
6 Y o	() 12用する
※ 設定項目一覧の設定内容	容に表示されます。

11. 時刻修正



- 「±30秒」に設定した場合は、本装置の内部時計が、
   "0~29秒"のときは0秒に、"30~59秒"のときは1分進めて0秒にします。
- 「±10秒」に設定した場合は、本装置の内部時計が、
   "0~10秒"のときは0秒に、"50~59秒"のときは1分進めて0秒にします。
- ③説明欄
  - 設定内容が表示されます。
- ④印刷
- 設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 ⑤ 戻る
  - 【編集メニュー】画面に戻ります。



## 1-2 個別回線設定

## ■ 個別回線設定画面の呼び出し

【本体初期設定】画面の [個別回線設定] タブをクリックします。

クリックします。

-

個別回線設定画面

本体初	期設定							
本体	設定 個別回線設定 集計設定							
• LI	NEボード A C LINEボード B C L	INEボード C	○ LINEボード I	D				1如121星が小し1,127
No.	設定項目	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5	回線6	○ 一般回線
1	接続種別(L1,L2)	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	C ナンバーディスプレイ(ND)回線
2	回線種別	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	
3	ダイヤルトーン検出	する	する	する	する	する	する	
4	ベル検出 極性判定	する	する	する	する	する	する	
5	終話検出 極性判定	する	する	する	する	する	する	
6	相手応答検出	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	
7	受話器下ろし確定時間	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	
8	選択番号 桁間時間	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	
9	フッキング時間	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms	
10	追っかけ間隔時間	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒	
11	PBX内線呼戻しベル検出	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	
12	回線閉塞時間	30分	30分	30分	30分	30分	30分	
		グループ1	グルーブ1	グループ1	グループ1	グルーブ1	グループ1	
13	集計グループ							
一使用	同線							
10		73 🔽 4	<b>F</b> 5	<b>v</b> 6				本技帯の112に接続する回線のサービス
			= 11					種別を設定します。
		9 1 10						
	NEボード C L 13 □ 14 □	15 [16	L 17	1 18			1	
LIP	NEボード D 🗖 19 🗖 20 🛛	21 🗆 22	23	24	出荷時影	定に戻す	全回線コピー	
								<i>A</i>
								印刷 戻る

### ■ 個別回線設定の内容

●回線(1~24回線)ごとに、次の項目を設定します。

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	  接続種別(L1.L2)	本装置のL1,L2(LINE)側に接続する回線のサー	・一般回線	一般回線
		ヒス種別を設定します。	・ナンバーディスフレイ回線	
2	回線種別	本装置のL1,L2(LINE)側に接続する回線のタイ	· 20PPS	20PPS
		ヤル種別を設定します。   土壮要が起送社たちならしたのがくトルトーン 拾川	· PB	
		本装直が転送動作を行うとざのタイヤルトーン検出	・しない	+7
3	タイヤルトーン検出	を する/しない」を設定します。 しない」にする	・する	95
		と回線を閉塞して約3秒後にタイヤルを開始します。		
4	ベル検出極性判定	ハル有信を使出するとさ、回線の極性判定も余件に	・ しない + マ	する
		∮る/しない」を設定しよ∮。   大特異が広葉点にも安様が電話を切ったストを検出	・りる	
		本衣里が応谷中にね谷体が电話を切りたここを快山 オストキー同館の探検別向キタ供に「オスノーカい」		
5	終話検出 極性判定	9 るとさ、凹線の樫性判定も余件に   9 る/ しない]	+ 7	する
		を設定しまり。  しない」にりると話甲音で判定し   ナナ	· 9 @	
		より。	동산 등 후	
6	相手応答検出	「山元の相子が心合したここを候山りる未什を設た	- 空言栓山	極性反転
		しまり。   T1 T2 (TEL) 側が感託器を下る  たと判定する時		
7	受話器下ろし確定時間	「I,IZ(ILL)例が支配品を下ろしたと判定する時 問を設定します	·0~4.0秒(0.5秒間隔)	2.0 秒
		同で設定しより。 お友様の入力する選択番号(PR 信号)の桁間時間		
8	   深択悉号   桁間時間	の最大値を設定します。この時間を過ぎると入力級	・10~40秒 (05秒間隔)	15利>
		の取べ他を設定します。この時間を過ぎるこへの終		1.0 12
		本装置がフッキングを行うときの、フッキング時間	· 400ms / 600ms / 800ms	
9	フッキング時間	を設定します。	/ 1000ms	600ms
		呼出先(ダイヤルイン)が不応答または話中のときに、		
10	追っかけ間隔時間	次の呼出先を呼び出すまでの間隔時間を設定します。	·1秒/2秒/3秒/4秒	2秒
		本装置を構内交換機(PBX)の内線に接続したとき		
		の呼戻しベルによる本装置の応答をキャンセルする		
		ことができます。	・検出しない	
		本装置が回線を開放してから設定秒数後に呼戻しべ	・0秒後から	
11	PBX 内線呼戻しベル検出	ルの検出を開始します。検出は3秒間行い、この間	<ul> <li>1秒後から</li> </ul>	検出しない
		で呼戻しベルを検出すると回線を閉塞してすぐに開	<ul> <li>2秒後から</li> </ul>	
		故します.	<ul> <li>・3秒後から</li> </ul>	
		) 設定秒数前の呼戻しベルは検出しません。		
		本装置が、応答後に回線を閉塞できる最大時間を設		
12	回線閉塞時間	定します。	・1 ~ 99 分、無制限	30分
		応答・転送件数などのデータをグループ分けして集	・グループ1・グループ2	
13	集計クルーフ	計する場合に、集計グループを設定します。	・グループ3・グループ4	クルーフ1

#### ■ 設定のしかた



- ① LINE ボードの選択
  - 設定を行う6回線ラインボード(A ~ D)を選んでクリックします。
  - LINE ボードA:回線1~回線6
  - LINE ボード B:回線 7 ~回線 12
  - LINE ボード C:回線 13 ~回線 18
  - LINE ボード D:回線 19~回線 24
- 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 された項目が回線ごとに設定できます。

③設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 接続種別(L1,L2)



2. 回線種別

① 接続する回線種別を選択	- 回線種別
してクリックします。 🔨	© 20PPS
※ 設定項目一覧の設定内容に	O PB
表示されます。	<u> </u>

- ・20PPS:ダイヤル回線/PB:プッシュ回線
- 3. ダイヤルトーン検出

* 設定項目一覧の設定内容に     0 する       表示されます。     0 する
--

#### 4. ベル検出 極性判定





#### 6. 相手応答検出

① 相手応答検出の条件を選 択してクリックします。 〜	相手応答検出
※ 設定項目一覧の設定内容に	○ 音声検出
表示されます。	○ 音声検出

#### 7. 受話器下ろし確定時間



8. 選択番号 桁間時間

① クリックすると時間	選択番号 桁間時間
(秒)を衣示しより。	1.5秒 🔽
時間を選択し、ク	1.0秒
リックします。	2.0秒 2.5秒 9.544
※設定項目一覧の設定	3.019 3.5秒 4.0秒
内容に表示されます。	4.012
⑤ 出荷時設定に戻す

すべての回線の設定内容を、一括で工場出荷時の設定に 戻すことができます。

・[出荷時設定に戻す] ボタンをクリックすると、確 認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、すべての回線の 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

#### ⑥全回線コピー

特定の1回線のすべての設定内容を、一括で全回線にコ ピーすることができます。

 「全回線コピー」ボタンをクリックすると、確認画 面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、すべての回線に 一括で設定できます。

- ⑦ 説明欄
- 設定内容が表示されます。
- ⑧ 印刷
  - 設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。
- ⑨ 戻る
  - 【編集メニュー】画面に戻ります。



●本装置をPBXの内線接続(回線リバースなし)でご 利用の場合は、③設定入力のNo.4~6を下記の設 定にしてください。

No.4 ベル検出 極性反転:しない No.5 終話検出 極性反転:しない

No.6 相手応答検出 :音声検出

また、内線ダイヤルトーンが、外線と異なる場合は、

No.3 ダイヤルトーン検出を「しない」に設定してく ださい。

- ●③設定入力の12項で、「回線閉塞時間」を無制限に 設定した場合、回線の切断タイミングなどにより、本 装置の回線持ちきりが発生する可能性がありますので 注意してください。
- ④ 使用回線の設定で、チェックの無い回線は、発信・ 着信とも使用できませんので注意してください。





#### 12. 回線閉塞時間

9. フッキング時間



- ・無制限チェックボックスをクリックしてチェックを
   付けると、お客様が切るまで回線を閉塞します。
- 13. 集計グループ



- ・グループ名は全角 10 文字、半角 20 文字まで入力 できます。
- ④ 使用回線の設定
  - 本装置で使用する回線にチェックを付けます。

① 使用する回線番号をクリックしてチェックを付けます。							
	使用回線						
	LINEボード A	<b>⊽</b> 1	<b>⊠</b> 2	<b>⊠</b> 3	<b>▼</b> 4	<b>⊠</b> 5	<b>⊠</b> 6
	LINEボード B	<b>[</b> 7	<b>[</b> 8	<b>9</b>	<u> </u>	🗖 11	<b>1</b> 2
	LINEボード C	/ 13	□ 14	🗖 15	<u> </u>	🗖 17	<u> </u>
	LINEボード D	<u>□</u> 19	20	21	22	23	24
└───/ ※ 使用しない回線は、チェックをはずしておきます。							

# 1-3 集計設定

## ■ 集計設定画面の呼び出し

【本体初期設定】画面の[集計設定]タブをクリックします。

No.	項目名	設定項目	設定内容	● 集計しない
1 集計	動作	時集計	集計しない	
2		日集計	集計する	〇 集計する
3		週集計	集計する	
4		月集計	集計する	
5		データの上書き	上書きする	
6 集計	単位時間	即時応答	10秒	
7		即時放棄	10秒	
8		本体応答後応答	10秒	
9		本体応谷後放業	10秒	
10		トラフィック集計動作時応答	10秒	
11	- +- \\/ / \	トラフィック集計動作時放業	10秒	
12 応召	* 転送(IVR) L主二		9 0 + z	
	- <b>3</b> 20.710	ダイレカレ転送	9 T	
15		毎冬性転送	する	
16		印時広签	したい	
17 お待	たせ 集計表示	応答	する(詳細なし)	
18		放棄	する(詳細なし)	
19 応答	専用 集計表示	応答専用	する	ant 99 100 10 mm = 1 hot 64
00 Z (T	他 集計表示	通任,全同線任中	する	1時間単位でテータをしま

# ■ 集計設定の内容

● 着信応答・転送などのデータ集計に関しての設定です。次の項目を設定します。

No.	D. 設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1		時集計	1 時間単位でデータを「集計する/集計しない」を設定しま す。	・集計しない ・集計する	集計しない
2		日集計	1 日単位でデータを「集計する/集計しない」を設定します。	・集計しない ・集計する	集計する
3	  集計動作	週集計	1 週間単位でデータを「集計する/集計しない」を設定しま す。月曜日から日曜日の間で集計します。	・集計しない ・集計する	集計する
4		月集計	1 ケ月単位でデータを「集計する/集計しない」を設定しま す。	・集計しない ・集計する	集計する
5		データの上書き	本体装置内のデータファイルが満杯になったときに、古い データから順番に「上書きする/上書きしない」を設定しま す。(最大 360 ファイル)	・上書きしない ・上書きする	上書きする
6		即時応答	お待たせモードで、ベル着信から本装置が応答する前の状態 で呼出先が応答するまでの時間を集計するための単位時間を 設定します。集計は3区分に分けられます。	・1~100秒	10秒
7		即時放棄	お待たせモードで、ベル着信から本装置が応答する前の状態 でお客様が電話を切る(放棄する)までの時間を集計するた めの単位時間を設定します。集計は3区分に分けられます。	・1~100秒	10秒
8	集計単位	本体応答後応答	お待たせモードで、本装置が応答してから呼出先が応答する までの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は 4区分に分けられます。	・1~100秒	10秒
9	時間	本体応答後放棄	お待たせモードで、本装置が応答してからお客様が電話を切 る(放棄する)までの時間を集計するための単位時間を設定 します。集計は4区分に分けられます。	・1~100秒	10秒
10		トラフィック集計動作時応 答	お待たせモードのトラフィック集計動作で、ベル着信から呼 出先が応答するまでの時間を集計するための単位時間を設定 します。集計は7区分に分けられます。	·1~100秒	10秒
11		トラフィック集計動作時放 棄	お待たせモードのトラフィック集計動作で、ベル着信からお 客様が電話を切る(放棄する)までの時間を集計するための 単位時間を設定します。集計は7区分に分けられます。	·1~100秒	10秒

## 新しくデータを作成する(本体初期設定)

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
12		選択転送	集計データ (Excel) の表示で、選択転送モードでの集計デー タ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	する
13		ツリー転送	集計データ(Excel)の表示で、ツリー転送モードでの集 計データ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	する
14	心合・転达 (IVR)   年計表示	ダイレクト転送	集計データ(Excel)の表示で、ダイレクト転送モードで の集計データ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	しない
15	——————————————————————————————————————	無条件転送	集計データ(Excel)の表示で、無条件転送モードでの集 計データ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	する
16	即時応答		集計データ(Excel)の表示で、即時応答の集計データ表 示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	しない
17	お待たせ	応答	集計データ(Excel)の表示で、お待たせモードで応答の 集計データ表示を「する(詳細なし)/する(詳細あり) /しない」を設定します。「する(詳細あり)」に設定すると、 集計単位時間ごとに割り当てて集計した結果も表示します。	・しない ・する (詳細なし) ・する (詳細あり)	する (詳細なし)
18	集計表示	放棄	集計データ(Excel)の表示で、お待たせモードで放棄の 集計データ表示を「する(詳細なし)/する(詳細あり) /しない」を設定します。「する(詳細あり)」に設定すると、 集計単位時間ごとに割り当てて集計した結果も表示します。	・しない ・する (詳細なし) ・する (詳細あり)	する (詳細なし)
19	応答専用 集計表示	応答専用	集計データ (Excel) の表示で、応答専用モードでの集計デー タ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	する
20	その他 集計表示	通話・全回線話中	集計データ(Excel)の表示で、通話時間、全回線話中時 間の集計データ表示を「する/しない」を設定します。	・しない ・する	する

# ■ 設定のしかた



① 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 されると反転表示になります。 ②設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 集計動作 時集計

<ol> <li>1時間ごとのデータを 「集計する/集計しな</li> </ol>	時集計
い」を選択してクリッ^	─ ⓒ 集計しない
クします。	○ 集計する
※ 設定項目一覧の設定内	容に表示されます。

- 2~4.集計動作(日集計、週集計、月集計)
  - ・1.集計動作 時集計のタイトルと初期値が変わります。設定方法は同じです。
- 5. データの上書き



6. 集計単位時間 即時応答



- 7~11.集計単位時間(即時放棄、本体応答後応答、本 体応答後放棄、トラフィック集計動作時応答、トラ フィック集計動作時放棄)
  - ・6. 集計単位時間 即時応答のタイトルが変わります。設定方法は同じです。

12. 応答·転送(IVR)集計表示 選択転送



- 13~16. 応答・転送(IVR)集計表示(ツリー転送、 ダイレクト転送、無条件転送、即時応答)
  - ・12. 応答・転送(IVR)集計表示 選択転送のタイトルと初期値が変わります。設定方法は同じです。

17. お待たせ集計表示 応答

① 集計表示「する(詳 細なし)/する(詳細 あり)/しない」を選 択してクリックしま す。	<ul> <li>応答</li> <li>○ しない</li> <li>○ する(詳細なし)</li> <li>○ する(詳細あり)</li> </ul>
--	---

- ※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。
- 18. お待たせ集計表示 放棄
  - ・17. お待たせ集計表示 応答のタイトルが変わりま す。設定方法は同じです。

19. 応答専用集計表示 応答専用



20. その他集計表示 通話・全回線話中



- ③ 説明欄
  - 設定内容が表示されます。
- ④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 ⑤ 戻る

【編集メニュー】画面に戻ります。

# 2. 転送先登録

◎ 各動作モードで使用する、転送先を登録します。

登録した転送先は転送先一覧で確認でき、すべての動作モードでこの一覧から選択して設定します。 転送先は最大 100 件まで登録できます。

### ■ 転送先登録画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で[転送先登録]ボタンをクリックすると、【転送先登録】画面を表示します。



① 転送先一覧

登録した転送先を表示します。クリックして選択すると 反転表示になります。

- ・使用 :各動作モードで転送先として設定登録されているとき「〇」印が付きます。
- ・転送先名:転送先の名前を表示します。
- ・電話番号:転送先の電話番号を表示します。
- ・転送種別:転送の種別(方式)を表示します。
- ② システム用転送先

ボイスワープ着信での本装置無応答時、および本装置の 待機中のダイヤルイン転送先を登録します。本画面また は、「本体初期設定 - 本体設定」で設定・登録できます。 各動作モードの転送先としては設定できません。 ③一般/ND 呼出

「本体設定」の接続種別(T1,T2)の設定が「一般」または「ナンバーディスプレイ」の場合、呼出先として設定できます。ただし、フッキング転送を使用する場合は設定できません。

④ 転送先データ入力欄

データを入力し登録します。また、登録済みデータを修 正します。

「本体初期設定 - 本体設定」の「接続種別(T1,T2)」、「ボ イスワープ転送 使用する/しない」および、「フッキ ング転送 使用する/しない」の設定によって、登録で きる転送種別が制限されます。

### ■ 登録のしかた

●接続種別(T1,T2)の設定が「PB/モデムダイヤルイン」で、ボイスワープ転送を「使用する」の場合



・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録
 できません。



・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに[削
 除]ボタンをクリックします。

・【削除の確認】画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、選択されている転送先を削除します。



上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタン をクリックして、各動作モードの転送先設定で該当 の転送先を変更するなど、使用を停止してください。 その後、削除を行ってください。



- L1,L2(LINE)側の接続回線が、着信用電話・トリ オホン・ピンク電話のときは、ボイスワープ転送がで きません。
- ●次の番号は、ボイスワープ転送ができません。登録しないでください。 110番や104番の3桁の番号、フリーダイヤル、ナビダイヤル、ダイヤルQ<sup>2</sup>、伝言ダイヤル、#ダイヤル、国際電話の番号(0070・0077・0088などで始まる番号)など

● 接続種別(T1,T2)の設定が「一般/ナンバーディスプレイ」で、ボイスワープ転送を「使用する」の場合

転送先登	録					
N	使用	あたごそ ケーク	西洋亚旦	<u></u>	1	
INO.	反用	私区元石	电站省与		1	
-	1	小1スワーノ悪心谷时転达元	9876543210	ホイスワーフ		
-		は城時ダイヤルキン戦区元日		7.1Y/012		
_		は版時ダイヤルイン転送先々		ブリアルリン		
-		1771度町メイヤ7242天763 一般/NDIE中		7117//12		
1			1234567890	±°/70-7°		
-	$\vdash$	ヘムセンター	1111222233	±1/70-7		
2			1111222233	# 167 Z		
4					- 転送先登録	
5				_		
6				_	転送先名	
7					電話番号	
8	1					+*/20. 28 bi/dan (n
9					車広7志7重万川	<u>ホイスワープ メイドルイン フッモンソ</u>
10						
11						25 4 B
12						艺标 FIPE
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20				-		
						<b>日</b> 夏 日間

 ・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録 できません。



- ・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに [削除] ボタンをクリックします。
- ・【削除の確認】画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、選択されている転 送先を削除します。



上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタン をクリックして、各動作モードの転送先設定で該当 の転送先を変更するなど、使用を停止してください。 その後、削除を行ってください。



- ●L1,L2(LINE)側の接続回線が、着信用電話・トリ オホン・ピンク電話のときは、ボイスワープ転送がで きません。
- ●次の番号は、ボイスワープ転送ができません。登録しないでください。 110番や104番の3桁の番号、フリーダイヤル、ナビダイヤル、

ダイヤル Q<sup>2</sup>、伝言ダイヤル、# ダイヤル、国際電話の番号 (0070・ 0077・0088 などで始まる番号) など ● 接続種別(T1,T2)の設定が「一般/ナンバーディスプレイ」で、フッキング転送を「使用する」の場合

O.	使用	転送先名	電話番号	転送種別 ▲		
		ボイスワーブ無応答時転送先		ホイスワーフ。		
		待機時ダイヤルイン転送先1		ダイヤルイン		
		待機時ダイヤルイン転送先2		ダイヤルイン		
		待機時ダイヤルイン転送先3		ダイヤルイン		
		一般/ND呼出		一般/ND		
1	0	営業1課鈴木	1011	フッキング 🚽	-	
2	0	営業1課青木	1012	フッキング		
3	0	営業1課安藤	1013	フッキング		
4	0	営業2課田中	1 021	フッキング	転送先登録 —	
5	0	営業2課山本	1 0 2 2	フッキング	a=:洋什-27	
6	0	総務1課山田	2011	フッキング	東ム达元名	
7	0	総務1課伊藤	2012	フッキング	電話番号	L.
8	0	総務2課斉藤	2021	フッキング	<b>康元送新聞</b> 日	ホイスワープ。ダイヤルイン フッキング
9	0	総務2課清水	2022	フッキング	*4.2.12.01	
10	0	開発1課吉田	3011	フッキング		
11	0	開発1課横田	3012	フッキング	Г	登録 日田金
12	0	開発1課高木	3013	フッキング	-	32.94 U1931
13	0	開発2課平林	3021	フッキング		
14	0	開発2課加賀	3022	フッキング		
15	0	開発2課村上	3023	フッキング		
16	0	開発3課寺沢	3031	フッキング		
17	0	開発3課中島	3032	フッキング		
8						
19						
20				-		

 ・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録 できません。



- ・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに[削
   除]ボタンをクリックします。
- ・【削除の確認】画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、選択されている転 送先を削除します。

《転送先として使用している場合》				
※ 使用の欄に○印のある	IVR-2430データ入力ソフト 🔀			
転送先	この登録は転送先に指定されています。 それらの登録も全て削除しますか?			

上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタン をクリックして、各動作モードの転送先設定で該当 の転送先を変更するなど、使用を停止してください。 その後、削除を行ってください。 ● 接続種別 (T1,T2) の設定が「一般/ナンバーディスプレイ」で、ボイスワープ転送を「使用しない」 フッキング転送を「使用しない」の場合



転送先として、「一般/ND」以外は選択できません。

⑤印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑥ 戻る

【編集メニュー】画面に戻ります。

# 3. 動作モードの登録

◎ 応答・転送の各動作モードの設定・登録を行います。

●【応答・転送メニュー】画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で [応答・転送] ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。

[応答・転送] ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【応答・転送メニュー】画面を表示します。



## 3-1 選択転送モード

### ■ 選択転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の[選択転送]ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [選択転送]ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【選択転送フロー】画面を表示します。



# ■ 選択転送モードで使用できる転送方式

選択転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

動作工 ド		転送	方式		×:使用不可
動IFモート	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	(注)いりれかの方式を 本   休勿期設定  で選択
選択転送	0	○(注)	○(注)	0	します。

○:使用可

### ■ 動作設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の [動作設定] ボタンをクリックします。



### ■動作設定の内容

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1		ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ~ 20 回 (ボイスワープ使用時は、 1 ~ 5 回)	1回
2	着信設定	ベル中呼出	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2(TEL)側 の呼び出しを「する/しない」を設定します。	・しない ・する	しない
3		ベル中呼出先	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2(TEL)側 を呼び出しするときの呼出先を設定します。	<ul><li>・転送先名</li><li>・電話番号</li></ul>	
4		入力待ち時間	選択転送案内メッセージの終了後、お客様からの選択 番号を受け付ける時間を設定します。	·0~10秒	5秒
5	選択番号設定	受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミング を設定します。	・挨拶から ・選択転送案内から	挨拶から
6		桁数	選択番号の桁数を設定します。	・1 桁 ・2 桁	1 桁
7	応答動作回数		本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの 選択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行 うかを設定します。(未選択の場合を除きます。)	·1~9回	2回
8	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、 一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1~5回	2回
9		呼出時間	1 つの転送先(ボイスワープ以外)を呼び出す最大時 間を設定します。	・10 ~ 240 秒 ・無制限	30 秒
10		ボイスワープ呼出時間	1 つの転送先(ボイスワープ)を呼び出す最大時間を 設定します。	·10~100秒	30 秒
11		保留音(注)	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を 設定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバック トーン
12	転送中設定	転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する/しない」 または「転送種別切替時」を設定します。「転送種別切 替時」に設定すると、転送先がダイヤルイン→ボイス ワープに切り替わったときなどに転送中案内を送出し ます。 ※メッセージ設定で、転送中案内を「使用」に設定し てください。	<ul> <li>・しない</li> <li>・する</li> <li>・転送種別切替時</li> </ul>	しない
13		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を 設定します。	·0~240秒	10秒

(注)・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。

・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。ただし、転送中案内繰返を「転送種別切替時」に設定した場合は送出されます。

## ■ 設定のしかた



① 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 されると反転表示になります。

②設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定 ベル回数





### 3. 着信設定 ベル中呼出先



削除の確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、ベル中呼出先を 削除します。



替時」に設定した場合は、転送先がダイヤルイン→ボ イスワープに切り替わったときなどに送出されます。

### ■ 転送先設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の[転送先設定]ボタンをクリックします。



## ■ 設定のしかた



#### ①選択転送パターンの指定

選択転送の動作パターンは、20 種類作成できます。 作成するパターン番号をクリックします。



<sup>・</sup>指定したパターン番号の選択番号一覧(②)を表示 します。

② 選択番号一覧

設定した選択番号と転送先を表示します。

<ol> <li>① 選択番号と転送先を設定 反転表示になります。</li> </ol>	Èするとき、クリッ	クします。			
選択番号表示欄	転	送先名表示欄			
選択 第1転送先	第2転送先	第3転送先			
未選択切断					
<ul> <li>② 選択番号が入力されなかった(未選択)場合</li> <li>の転送先を設定するとき、クリックします。</li> </ul>					



次の手順で、転送先を設定します。



- 選択番号は1 桁または2 桁ぐ次の番号か登録できます。
  - ・1桁:1~9、\*、#
  - 2桁:00~99、0\*~9\*、\*0~\*9、0#~9#、
     #0~#9、\*\*、##、\*#、#\*
  - ※1桁の"O"は、選択転送案内メッセージの繰り返し 番号として使用します。

### ● 追っかけ転送を行う場合

第2転送先、第3転送先を設定して追っかけ転送を行 う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックして チェックを付け、一覧から転送先を選択して設定します。



### ● 転送先を変更(修正)する場合

転送先を変更するときは、該当の転送先の[一覧]ボタ ンをクリックして、転送先の設定をやり直します。 操作は、転送先設定と同じです。 [登録]ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を 表示します。[はい]ボタンをクリックして設定します。

● 未選択時の転送先設定

お客様からの選択番号入力がないとき、または選択番号 を確認できなかったときの転送先を設定します。 転送先を設定しないときは、「未確定終了案内メッセー ジ」を案内して電話を切ります。

④ パターン名

選択転送のパターン 1 ~ 20 に、任意のパターン名を付けることができます。

パターン名は半角 20 文字、全角 10 文字まで設定できます。

設定したパターン名は、本データ入力ソフトで表示され る選択転送モードでのパターン名として表示されます。

# — 🛃 ワンポイント

●追っかけ転送で設定した転送先を、転送中止するとき はチェックを外します。設定内容はそのままで表示が グレーになり、追っかけ転送は行いません。 ⑤ 呼出案内・着信案内の設定

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの 設定を行います。

 ・呼出案内:転送を開始するときにお客様に案内する メッセージです。

> 「呼出案内1~11」「使用しない」から選 択できます。



・着信案内:転送先が応答したときに案内するメッセージです。着信案内は転送中に保留音を送出する設定のときは送出できません。
 「着信案内1~11」「使用しない」から選択できます。



⑥[登録] ボタン

転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、選択転送パ ターンに設定するときにクリックします。 ⑦ [削除] ボタン

現在、選択表示しているパターンの設定内容を、選択番 号ごとに削除するときにクリックします。



選択したパターンの設定内容をすべて削除するときにク リックします。



⑨印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 ⑩ 戻る

【選択転送フロー】画面に戻ります。

### ■ メッセージ設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の[メッセージ設定]ボタンをクリックします。



### ■ メッセージの種類



①メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応 じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・・ 選択転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	0	0			0	0	0		
ダイレクト転送モード	0		0		0	0	0		
ツリー転送モード	0			0	0	0	0		
お待たせモード	$\bigtriangleup$							0	
応答専用モード	0								0

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッ セージ名」、「コメント」を表示します。 ③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。 コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。



● 選択転送メッセージ

選択転送モードで使用するメッセージです。

① [選択転送]タブをクリックします。						
使用のす	与無	チャンネル	番号 メッセージ名 コメント			
大通大	セーシ	7 道沢転送 ダイレクト転送	ツリー転送 転送案内 呼出案内 着信案内 お待たせ			
使用	ch⁄	/ メッセージ名 /	<u></u>			
0	6	選択転送案内1	選択転送案内1			
0	7	還択転送案内2	選択転送案内2			
P	8	選択転送案内3	選択転送案内3			
1	9	選択転送案内4	選択転送案内4			
	10	選択転送案内5	濯択転送案内5			
	11	選択転送案内6	選択転送案内6			
	12	選択転送案内7	選択転送案内7			
	13	選択転送案内8	選択転送案内8			
	14	還択転送案内9	濯択転送案内9			
	15	選択転送案内10	濯択蔽送案内10			
	16	選択転送案内11	選択転送案内11			
	17	選択転送案内12	還択転送案内12 ▼			
/ 参数 1	ι÷	で設定,登録され	たパターンのメッセージに			
		し政定・豆球でれ				
	'1寸	さより。				

選択転送パターン 1 ~ 20 に対応した 20 種類 (ch6 ~ 25) のメッセージがあります。

◆ メッセージの説明

各メッセージは、「選択転送案内1 (ch 6) =選択転 送パターン1」の様にパターン番号に対応しています。 使用する選択転送パターンのメッセージを録音してく ださい。

◆コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

#### ● 転送案内メッセージ

転送動作中に、お客様に案内するメッセージです。



用途に応じて、次の6種類があります。

- ◆ メッセージの説明
  - ・不応答案内(ch 209)
     転送先が電話に応答しないときに案内するメッセージです。追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が応答しなかったときに案内します。

・話中案内(ch 210)
 転送先が話し中のときに案内するメッセージです。
 追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が話し中のときに案内します。

・転送繰返案内(ch 211)

ー連の転送動作で転送先が応答しなかったときに、再 度、選択番号の入力をお願いする案内です。

- ・未確定終了案内(ch 212)
   誤入力などで、選択番号が確定できない状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
- ・不出終了案内(ch 213)
   一連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で 本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
   ・転送中案内(ch 214)

ダイヤルイン転送、または一般/ナンバーディスプ レイで転送中、お客様に待っていただく間に案内す るメッセージです。間隔を指定して繰り返すことが できます。

「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。

ただし、「動作設定 - 転送中設定 - 転送中案内繰返」で 転送種別切替時に設定した場合は使用できます。

◆コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

#### ● 呼出案内メッセージ

転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案 内するメッセージです。



◆ メッセージの説明

呼出案内メッセージは 11 種類(ch215 ~ 225)の メッセージがあり、転送先設定の操作で、選択番号ご とに任意に設定できます。 使用する呼出案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

### ● 着信案内メッセージ

転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッ セージです。

「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した 場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出する ことはできません。

①[着信	案内	5]彡	マブをクリックし	/ます。
使用の	有無	=	チャンネル番号	メッセージ名 コメント/
$\backslash$				
¥	・ 通メッ	セージ	選択転送   ダイレクト転送	シリー転送   転送案内   呼出案内   著信案内   お待た
		ch		
	0	226	着信案内1	
	0,	227	着信案内2	着信案内2
		228	着信案内3	着信案内3
	-	220		
		230	着信案内5	着信案内5
		231	着檔案内6	着信案内6
		232	着信案内7	
		233	着信案内8	着信案内8
		234	着信案内9	
		235	着信案内10	
		236	著信案内11	着信案内11
			* 転送	先設定の着信案内で設定され
			たチ	$+ \nu \lambda \mu 0 \times \nu + - \nu c [0]$
			ノビノ FII が	が付きます
			H177	11 C 6 7 0

◆ メッセージの説明 着信案内メッセージは 11 種類(ch226 ~ 236)の メッセージがあり、転送先設定の操作で、選択番号ご とに任意に設定できます。 使用する着信案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

#### ④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る

【選択転送フロー】画面に戻ります。



- ●各案内メッセージの画面は、選択転送フローのメッ セージ名のボタンをクリックして呼び出すこともでき ます。
- 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置 編 - メッセージの録音・再生」(38 ページ)を参照し てください。

## 3-2 ツリー転送モード

### ■ ツリー転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の [ツリー転送] ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [ツリー転送] ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【ツリー転送フロー】画面を表示します。



### ■ ツリー転送モードで使用できる転送方式

ツリー転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

リー転送モードでは	○:使用可					
動作王―ド						
新FC-N	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	(注)いりれかの方式を 本   休初期設定  で選択	
ツリー転送	0	○(注)	○(注)	0	します。	

### ■ 動作設定画面の呼び出し

【ツリー転送フロー】画面の [動作設定] ボタンをクリックします。



### ■動作設定の内容

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1		ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ~ 20 回 (ボイスワープ使用時は、 1 ~ 5 回)	1 回
2	着信設定	ベル中呼出	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2(TEL)側 の呼び出しを「する/しない」を設定します。	・しない ・する	しない
3		ベル中呼出先	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2(TEL)側 を呼び出しするときの呼出先を設定します。	·転送先名 ·電話番号	_
4	海中来口言中	入力待ち時間	ツリー案内メッセージの終了後、お客様からの選択番 号を受け付ける時間を設定します。	·0~10秒	5秒
5	进抓借方改止	受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミング を設定します。	・挨拶から ・ツリー案内 1 から	挨拶から
6	応答動作設定	応答動作回数	本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの 選択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行 うかを設定します。(未選択の場合を除きます。)	・1~9回	2回
7		案内 2, 3 送出回数	ツリー転送案内2または3で、お客様からの選択番号 が未選択のとき、案内を送出する回数を設定します。	·1~9回	2回
8	音声案内	回数	音声案内を使用するとき、案内を送出する回数を設定 します。	·1~9回	2回
9	送出設定	間隔	音声案内を使用するとき、案内を繰り返す間隔を設定 します。	· 0 ~ 10 秒	1 秒
10	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、 一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1~5回	2回
11		呼出時間	1 つの転送先(ボイスワープ以外)を呼び出す最大時 間を設定します。	・10 ~ 240 秒 ・無制限	30 秒
12		ボイスワープ呼出時間	1 つの転送先(ボイスワープ)を呼び出す最大時間を 設定します。	・10~100秒	30 秒
13		保留音(注)	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を 設定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバック トーン
14	転送中設定	転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する/しない」 または「転送種別切替時」を設定します。「転送種別切 替時」に設定すると、転送先がダイヤルイン→ボイス ワープに切り替わったときなどに転送中案内を送出し ます。 ※メッセージ設定で、転送中案内を「使用」に設定し てください。	<ul> <li>・しない</li> <li>・する</li> <li>・転送種別切替時</li> </ul>	しない
15		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を 設定します。	· 0 ~ 240 秒	10秒

(注)・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。

・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。ただし、転送中案内繰返を「転送種別切替時」に設定した場合は送出されます。

## ■ 設定のしかた



① 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 されると反転表示になります。

②設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定 ベル回数



○ する

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

#### 3. 着信設定 ベル中呼出先



- ・ベル中呼出先を削除する場合は、[削除] ボタンを クリックします。
  - 削除の確認画面を表示します。

IVR-24305	–ጷ入力ソフト 🛛 🔀
<u> </u>	ベル中呼出先の登録を削除しますか?
	(10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10)

[はい] ボタンをクリックすると、ベル中呼出先を 削除します。



93

イスワープに切り替わったときなどに送出されます。

15. 転送中設定 転送中案内間隔



- ③説明欄
  - 設定内容が表示されます。
- ④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

- ⑤ 戻る
  - 【ツリー転送フロー】画面に戻ります。

### ■ 転送先設定画面の呼び出し

【ツリー転送フロー】画面の [転送先設定] ボタンをクリックします。



## ■ 設定のしかた



① ツリー転送パターンの指定

ツリー転送の動作パターンは、2種類作成できます。 作成するパターン番号をクリックします。

① クリックして パターン番号 を選択します。 パターン2 [ソリノー]	転送パターン1 転送パターン2
※ ②のツリー分岐先ボタン一覧のパタ- 表示されます。	ーン名ボックスに

② ツリー分岐先ボタン一覧



- ・パターン名は、ツリー分岐先ボタン一覧のパターン名 表示ボックスで変更できます。パターン名は半角 20 文字、全角 10 文字まで設定できます。
- ・メッセージチャンネル番号は、ツリー案内1メッセージのチャンネルです。
- パターン1のツリー案内1メッセージ:27ch パターン2のツリー案内1メッセージ:118ch



(a) [2 階層・分岐先] ボタン

1 階層のツリー案内1 メッセージで案内する1~9の選 択番号で選ばれる、2 階層目のボタンと案内メッセージで す。

ツリー案内2メッセージとして、パターンごとに9種類 あります。

- ・パターン1のツリー案内2メッセージ:28~36ch
- ・パターン2のツリー案内2メッセージ:119~127ch
  (b) [3 階層・分岐先] ボタン

2階層のツリー案内2メッセージで案内する1~9の選 択番号で選ばれる、3階層目のボタンと案内メッセージで す。

ツリー案内3メッセージとして、2階層・分岐先ボタン ごとに9種類あります。合計81種類(9×9)

・パターン1のツリー案内3メッセージ:37~117ch
 ・パターン2のツリー案内3メッセージ:128~208ch

- (C) メッセージチャンネル番号 各階層の分岐先ボタンごとのチャンネル番号を表示しま
  - 谷階層の分岐尤小ダノことのナヤノイル番号を衣示しま す。





#### ③ 階層設定

ツリー転送の分岐の階層が設定できます。

① 分岐の階	層を選択して、	クリックしま	す。	
	● 3階層-	で使用 - 〇 2階層	で使用	
	◎ 転送先選択	○ 直接転送	○ 音声案内	

・2 階層を選択したときの表示例

案内2		2	3	4	5	6	7	8	9
	28ch	29ch	30ch	31ch	32ch	33ch	34ch	35ch	36ch
案内3	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9
	37ch	38ch	39ch	40ch	41ch	42ch	43ch	44ch	45ch

- 🛃 ワンポイント

#### ● ツリーの階層選択について

ツリー転送で転送を行う場合に、最終転送先までの選 択操作を、3階層で行うか2階層で行うかが選択でき ます。階層の設定は、[2階層・分岐先]ボタンごと に設定でき、2種類のツリー階層を同時に使用できま す。



ワンポイント

●追っかけ転送で設定した転送先を、転送中止するとき はチェックを外します。設定内容はそのままで表示が

グレーになり、追っかけ転送は行いません。

97



#### ⑥ 最終転送先の設定

#### ●3階層のツリー転送の場合

ツリー案内2で分岐選択する最終の転送先を、「転送先選択/直接転送/音声案内」のいずれかに設定できます。



転送先の登録方法は、前述の「⑤転送先設定」を参照してください。



### ●2階層のツリー転送の場合



◆ 最終転送先を「転送先選択」とした場合



転送先の登録方法は、前述の「⑤転送先設定」を参照してください。

◆ 最終転送先を「直接転送」とした場合





① 選択番号表示欄

ツリー案内1、2および3で設定した選択番号と最終転 送先種別を表示します。

·表示例



⑨ 呼出案内・着信案内の設定

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの 設定を行います。

・呼出案内:転送を開始するときにお客様に案内するメッ セージです。

> 「呼出案内1~11」「使用しない」から選 択できます。



・着信案内:転送先が応答したときに案内するメッセージです。着信案内は転送中に保留音を送出する設定のときは送出できません。
 「着信案内1~11」「使用しない」から選

| 有信条内 | ~ | 1] | 使用しない」から 択できます。



⑨[登録] ボタン

転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、指定したツ リー転送の分岐先ボタンに設定するときにクリックしま す。 (1) [削除] ボタン ※ 削除の確認画面を表示します。 現在、選択表示している最終転送先の設定内容を、選択 番号ごとに削除するときにクリックします。 ③ [はい]ボタンを ~ ①削除する選択番号・転送先の行をクリックします。 クリックします。 反転表示になります。 第1転送先 営業1課鈴木 第2転送先 営業1課春本 第3転送先 営業1課安藤 選択 3階層で使用
 2階層で使用 営業1課表大 営業1課安藤 C 直接転送 C 音声案内 ● 転送先選択 営業1課安藤 4 5 ※ 転送先選択の画面になります。 6 ①[選択1~9削除]ボタン 8 a 表示中の [ツリー分岐先ボタン] 設定の内容をすべて削 除するときにクリックします。 転送先設定 ① 削除する[ツリー分岐先ボタン]をクリックします。 第1転送先 (3-1の例) ② [削除]ボタンを 転送先名 営業1課安藤 一覧 クリックします。 電話番号 1013 案内1 ルー転送パターン1 転送種別 ダイヤルイン 3 4 5 6 7 8 30ch 31ch 32ch 33ch 34ch 35ch 案内2 ┌ 第2転送先 28ck 29ch жнз <mark>3-1</mark> 3-2 <mark>3-3</mark> 3-4 3-5 3-6 3-7 3-8 3-9 電話番号 🛛 転送種別 ② [選択1~9削除] ボタンをクリッ クします。 ※ 削除の確認画面 呼出案内 使用しな •| 着信案内 使用しない -を表示します。 IVR-2430データ入力ソフト 削除 登録 ③ [はい]ボタンを ↓ 現在表示中の選択1~9を全て削除しますか? クリックします。 ※削除の確認画面を表示します。 IVR-2430データ入力ソフト ※選択したツリー分岐先の、すべての設定が消えます。 ③ [はい]ボタンを 、 削除しますか? クリックします。 12 [パターン削除] ボタン 選択したツリー転送パターンの設定内容をすべて削除す ※選択した行の、選択番号・転送先の表示が消えます。 るときにクリックします。 《音声案内の設定を削除するとき》 ① 削除するツリー転送パターンをクリックします。 ① 音声案内に設定した[分岐先]ボタンをクリックします。 ツリー転送パターン1 27ch 案内1 「パターン1」 シリー転送バターン1 4 5 6 7 バターン2 シリー転送バターン2 1-4 1-5 1-6 1-7 1-8 1 案内3 1-1 37ch 1-② [パターン削除]ボタン をクリックします。 IVR-2430データ入力ソフト ※パターン削除の確認画面 3階層で使用
 2階層で使用 を表示します。 🛕 ツリーパターン1を削除しますか? ○ 直接転送 ○ 転送先選択 音声案内 (\$1.V()) (V()2(N) ③ [はい]ボタンを -クリックします。 ② [削除]ボタンを クリックします。 ※選択したツリー転送パターンの、すべての設定が消えます。 13 印刷 設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 (14) 戻る 【ツリー転送フロー】画面に戻ります。 音声案内設定 ▶ 削除

27ch

パターン削除

X

### ■ メッセージ設定画面の呼び出し

【ツリー転送フロー】画面の [メッセージ設定] ボタンをクリックします。



### ■ メッセージの種類



#### ① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応 じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・・ツリー転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	0	0			0	0	0		
ダイレクト転送モード	0		0		0	0	0		
ツリー転送モード	0			0	0	0	0		
お待たせモード	$\bigtriangleup$							0	
応答専用モード	0								0

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッ セージ名」、「コメント」を表示します。 ③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。 コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。



[はい] ボタンをクリックするとコメントは削除され ます。

コメント

r Jh

- ・ツリー1案内2-1~2-9(ch28~36):9種類
- ・ツリー 1案内 3-1~ 3-81(ch37~ 117): 81種類

- ・ツリー 2案内 2-1~ 2-9(ch119~ 127): 9種類
- ・ツリー 2案内 3-1~ 3-81 (ch128~ 208): 81種類 使用するツリー案内のメッセージを録音してください。
- 共通メッセージの操作と同じです。

転送動作中に、お客様に案内するメッセージです。



用途に応じて、次の6種類があります。

- ◆メッセージの説明
- ・不応答案内(ch 209) 転送先が電話に応答しないときに案内するメッセー ジです。追っかけ転送先が設定されている場合は、最 後の転送先が応答しなかったときに案内します。

- ・話中案内(ch 210) 転送先が話し中のときに案内するメッセージです。 追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転 送先が話し中のときに案内します。
- ・転送繰返案内(ch 211)
   一連の転送動作で転送先が応答しなかったときに、再度、選択番号の入力をお願いする案内です。
- ・未確定終了案内(ch 212)
   誤入力などで、選択番号が確定できない状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
- ・不出終了案内(ch 213)
   一連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で 本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
   ・転送中案内(ch 214)

ダイヤルイン転送、または一般/ナンバーディスプ レイで転送中、お客様に待っていただく間に案内す るメッセージです。間隔を指定して繰り返すことが できます。

「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。ただし、「動作設定 - 転送中設定 - 転送中案内繰返」で転送種別切替時に設定した場合は使用できます。

◆ コメントの登録・削除

共通メッセージの操作と同じです。

#### ● 呼出案内メッセージ

転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案 内するメッセージです。



◆ メッセージの説明

呼出案内メッセージは 11 種類(ch215~225)の メッセージがあり、転送先設定の操作で、最終選択番 号ごとに任意に設定できます。 使用する呼出案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。 ● 着信案内メッセージ

転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッ セージです。

「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した 場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出する ことはできません。

① [着信案内] ダ	タブをクリックし	,ます。
使用の有無	チャンネル番号	メッセージ名 コメント/
供通メッセージ	選択転送   ダイレクト転送	シリー転送   転送案内   好出案内   着信案内   お待た
O 226	着信案内1	着信案内1
0, 227	着信案内2	着信案内2
0 228	着信案内3	
229		
230	着信案内5	
231	着信案内6	着信案内6
232	着信案内7	
233	著信案内8	着信案内8
234	著信案内9	着信案内9
235	著信案内10	
236	著信案内11	
	* 転送	先設定の着信案内で設定され
	たチ	ャンネルのメッヤージに[〇]
	ノビノ FIIが	
	El 177	

◆ メッセージの説明 着信案内メッセージは 11 種類(ch226 ~ 236)の メッセージがあり、転送先設定の操作で、最終選択番 号ごとに任意に設定できます。 使用する着信案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

#### ④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 ⑤ 戻る

【ツリー転送フロー】画面に戻ります。



- 各案内メッセージの画面は、ツリー転送フローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。
- 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置 編 - メッセージの録音・再生」(38ページ)を参照し てください。

# 3-3 ダイレクト転送モード

◎ 本システムのダイレクト転送モードは、転送方式がダイヤルイン転送またはフッキング転送で動作します。ご利用いた だくためには、「本体初期設定 本体設定」の「接続種別(T1,T2)」設定を、PB /モデムダイヤルインに設定するか、 または「フッキング転送」を「する」に設定してください。設定の方法は、「データ編 - 新しくデータを作成する -1.本 体初期設定 -1-1 本体設定」(65 ページ)を参照してください。

### ■ ダイレクト転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の[ダイレクト転送]ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [ダイレクト転送]ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【ダイレクト転送フロー】画面を表示します。



### ■ ダイレクト転送モードで使用できる転送方式

ダイレクト転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

転送方式 ×:使用不可	
「「動」」「「「「」」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」	の方式を 本 完  で選捉
ダイレクト転送 × ○(注) ○(注) × □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	



**リンポイント** 

● ダイレクト転送モードでは、お客様が直接転送先の電話番号を入力しますが、電話番号の入力が終了してから転送動作を開始するまでに「本体初期設定 - 個別回線設定 - 選択番号 桁間時間」で設定した時間(1~4秒)がかかります。
 このとき、電話番号に続けて[#]ボタンを押すことにより、ただちに転送動作を開始することができます。
 案内メッセージで、ご案内するようにしてください。

○:使用可
## ■ 動作設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の [動作設定] ボタンをクリックします。



### ■動作設定の内容

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ~ 20 回 (ボイスワープ使用時は、 1 ~ 5 回)	1 回
2		入力待ち時間	ダイレクト転送案内メッセージの終了後、お客様からの 選択番号を受け付ける時間を設定します。	· 0 ~ 10 秒	5秒
3		受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミングを 設定します。	・挨拶から ・ダイレクト転送案内から	挨拶から
4	選択番号設定	桁数	お客様の入力する番号の桁数を設定します。 ※接続種別(T1,T2)が、モデムダイヤルインのみ設定	・1~8桁	1 桁
5		付加する電話番号 (*桁)	お客様が入力する番号の前に付加する電話番号を設定し ます。(*桁)は入力する桁数が自動計算されて表示さ れます。) ※接続種別(T1,T2)が、モデムダイヤルインのみ設定	・9 ~ 17 桁で設定	_
6	応答動作回数		本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの選 択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行うか を設定します。(未選択の場合を除きます。)	・1~9回	2回
7	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、 一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1~5回	2回
8		呼出時間	1 つの転送先を呼び出す最大時間を設定します。	·10~240秒 ·無制限	30 秒
9		保留音(注)	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を設 定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバック トーン
10	#A 応 中 衣 た 	転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する/しない」 を設定します。	・しない ・する	しない
11		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を設 定します。	·0~240秒	10秒

(注)・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。

・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。

## ■ 設定のしかた



1. 着信設定 ベル回数



※設定項目一覧の設定内容に表示されます。

0 初期値



4. 選択番号設定 桁数

「本体初期設定 - 本体設定 - 接続種別(T1,T2)」の設 定がモデムダイヤルインの場合の設定です。



5. 選択番号設定 付加する電話番号 「本体初期設定 - 本体設定 - 接続種別(T1,T2)」の設 定がモデムダイヤルインの場合の設定です。



・表示する(桁数)は、「本体初期設定 - 本体設定 - モ デムダイヤルイン桁数」で設定した桁数から「上記 4. 桁数 | で設定した選択番号の桁数を引いた桁数で す。市外局番、市内局番などを付加して、モデムダ イヤルインの桁数に合わせます。



設定内容が表示されます。

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。



●② 設定入力の5項の「付加する電話番号」について

モデムダイヤルインの桁数が10桁、お客様が入力す る選択番号の桁数(4項の設定)が4桁の場合、付加 番号を"012345"と設定すると、お客様が"6789" と入力すると本装置から "0123456789" という番号 情報を構内交換機(PBX)に送出して呼び出しをし

● ② 設定入力の9項で、「保留音」を選択した場合は、 転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはで きません。また、「リングバックトーン」を選択した 場合は、お客様に「転送中案内メッセージ」を送出す ることはできません。

## ■ 転送先設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の [転送先設定] ボタンをクリックします。



## ■ 設定のしかた



- ダイレクト転送先選択時の設定 ダイレクト転送では、お客様が直接転送先の電話番号を 入力しますので転送先の設定は必要ありません。 ここでは、電話番号入力後の転送中の「呼出案内」と「着 信案内」を設定します。
- 呼出案内・着信案内の設定

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設 定を行います。

・呼出案内:転送を開始するときにお客様に案内するメッ セージです。

「呼出案内1~11」「使用しない」から選択 できます。



・着信案内:転送先が応答したときに案内するメッセージ です。着信案内は転送中に保留音を送出する 設定のときは送出できません。 「着信案内1~11」「使用しない」から選



② 未選択時の転送先一覧

ダイレクト転送案内の送出後、お客様からの電話番号入 力がなかったとき(未選択時)の転送先を表示します。



#### ③転送先設定

①[―監]ボタンを	
クリックして、 第1転送	死
転送先一覧を呼	-覧
び出します。	
	*
新述先将 新述先将	
電話番号	÷ [
重动送撞日	IJ
	先
電話番号	
· 表示达毛拉 日本	ų –
呼出案问	Ŋ 使用Utitit
着信案	g 使用しない
	登録
転送先一覧	● [一覧]をクリック
18送先登録 No 使用 転送先名	
ポイスワープ無応答時転送先 待機時ダイヤルイン呼出先1	9876543210 ポイスワープ 9999 ダイヤルイン
待機時ダイヤルイン呼出先2 待機時ダイヤルイン呼出先3 一般・イルログロリ	ダイヤルイン ダイヤルイン 
1 〇 営業1課給木 2 〇 営業1課告本 /	
3 3 3 3 5 案1 課安藤 4 ○ 営業2課田中	1013 ダイヤルイン 1021 ダイヤルイン
5 〇 営業2課山本 6 〇 総務:課山田	1022 ダイヤルイン 2011 ダイヤルイン
7 ○ 総約 時伊藤     8 ○ 総約2課予藤     9 ○ 谷粉2課売ヵ	2012 デイヤルイン 2021 デイヤルイン 2022 デビヤルイン
10 〇 開発1課吉田	3011 ダイヤルイン 3012 ダイヤルイン
12 ○ 開発1課海木 13 ○ 開発2課子林	3013 ゲイヤルイン 3021 ゲイヤルイン
14 ○ 開始2時70度 15 ○ 開始2課村上 19 回時19月1日	3022 9749472 3023 9749472 2021 8749472
17 〇 開始の課中島 18 〇 〇 0センター	3031 アイヤルフ 1234567890 ホイスワープ
19 20	 
	選択して戻る 戻る 降
② 転送先を選択し	1
て、[選択して戻る]	
ボタンをクリック	$\mathbf{\bullet}$
します。	24
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	名 営業1課総本 一覧
※ 転送先および 🚽 🖼 🗰	号 [1011
転送種別を表 🌷 📖	別ダイヤルイン
示します。	<b>送先</b>
電話番	号
电云送相重	BU
	送先
意应送先	名
电,55.5 址 重云送:淮重	
	(使用)ない ・1
	内 (使用Lない
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
未選択呼出先	▼
第1転送先	第2転送先 第3転送先
営業1課鈴木	
	+ 6 + +

#### ● 追っかけ転送を行う場合

第2転送先、第3転送先を設定して追っかけ転送を行 う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックして チェックを付け、一覧から転送先を選択して設定します。



#### ● 転送先を変更(修正)する場合

転送先を変更するときは、変更する転送先の[一覧]ボ タンをクリックして設定をやり直します。

[登録] ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を 表示します。[はい] ボタンをクリックして設定します。

- ④ 呼出案内・着信案内の設定
   転送先電話番号が未入力時の転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設定を行います。
   設定方法は、ダイレクト転送先選択時と同じです。前ページを参照してください。
- ⑤[登録]ボタン 転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、未選択時の 転送先として設定するときにクリックします。
- ⑥ [削除] ボタン

未選択時転送先の設定内容を削除するときにクリックします。



⑦印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑧ 戻る

【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。



#### ■ メッセージ設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の[メッセージ設定]ボタンをクリックします。



## ■ メッセージの種類



①メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応 じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・ ダイレクト転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		メッセージ種類								
町TFモート	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用	
選択転送モード	0	0			0	0	0			
ダイレクト転送モード	0		0		0	0	0			
ツリー転送モード	0			0	0	0	0			
お待たせモード	$\bigtriangleup$							0		
応答専用モード	0								0	

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッ セージ名」、「コメント」を表示します。 ③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。 コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。



- ・未確定終了案内(ch 212)
   誤入力などで、電話番号が確定できない状態で本装 置が電話を切るときに案内するメッセージです。
- ・不出終了案内(ch 213)
   ー連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で
   本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。

- ・転送中案内(ch 214)
   ダイヤルイン転送で転送中、お客様に待っていただく間に案内するメッセージです。間隔を指定して繰り返すことができます。
   「動作設定 転送中設定 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。
- ◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

#### ● 呼出案内メッセージ

転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案 内するメッセージです。



◆メッセージの説明

呼出案内メッセージは 11 種類(ch215~225)の メッセージがあり、電話番号入力時と未選択時にそれ ぞれ設定できます。

使用する呼出案内メッセージを録音してください。

◆コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。 ● 着信案内メッセージ

転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッ セージです。

「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した 場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出する ことはできません。

使用の	)有無	ŧ	チャンネル番号	メッセージ名 コメント			
$\setminus$							
4	ŧ通メッ	セージ	◎   選択転送   ダイレクト転送	シリー転送   転送案内   呼出案内   著信案内   お待た			
	使用	ch	/ メッセージ名				
	0	226	着信案内1	著信案内1			
	0	227	着信案内2	著信案内2			
	0	228	著信案内3	著信案内3			
		228	著信案内4	著信案内4			
		230	着信案内5	著信案内5			
		231	著稿案内6	著信案内6			
		232	著信案内7	著信案内7			
		233	著信案内8	著信案内8			
		234	著信案内9	着信案内9			
		235	著信案内10	著信案内10			
		236	著信案内11	著信案内11			
			$\backslash$				
		3	※ 転送先設定の『	乎出案内で設定されたチャンネ			
			ルのメッヤーシ	ンに「○」印が付きます。			

 ◆ メッセージの説明 着信案内メッセージは 11 種類(ch226 ~ 236)の メッセージがあり、電話番号入力時と未選択時にそれ ぞれ設定できます。
 使用する着信案内メッセージを録音してください。
 ◆ コメントの登録・削除

共通メッセージの操作と同じです。

#### ④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る

【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。



● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置 編 - メッセージの録音・再生」(38 ページ)を参照し てください。

## 3-4 無条件転送モード

◎ NTT・ボイスワープサービスの無条件転送を使用して、電話の着信をあらかじめ設定した転送先に転送する動作モード です。本システムでは、転送先電話番号の設定と、「マニュアル動作」での無条件転送の設定またはプログラムタイマー での無条件転送の切替え設定を行います。

### ■ 無条件転送をクリックすると

【応答・転送メニュー】画面の[無条件転送]ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [無条件転送]ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると次のメッセージを表示します。



#### ■ 無条件転送モードで使用できる転送方式

無条件転送モードではボイスワープ転送方式のみが使用できます。

動佐工 ド	転送方式						
動TFモート	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	×:使用个可		
無条件転送	0	×	×	×			



#### ■ ボイスワープ使用の設定

「データ編 - 新しくデータを作成する -1.本体初期設定 -1-1 本体設定」(67ページ)の項目 7,8,9で、ボイスワー プの使用を設定します。

7. ボイスワープ転送



8. ボイスワープ無音検出



9. ボイスワープ無応答時転送先



・停電などのために本装置が自動応答できなかったと きに転送する電話番号を入力します。 転送先名は変更できません。

### ■ 転送先電話番号の設定

「データ編 - 新しくデータを作成する -2. 転送先登録」(75 ページ)の操作で、転送先の名前と電話番号を登録します。

※ 登録済みの転送先電話番号	※ ボイスワープ無応答 時の転送先電話番号 /			
(法法法) No. 使用 転送先名 ポイスワーブ無応答時転送先	電話番号 転送種別▲ 9876543210 ポイスワープ			
	ダイヤルイン ダイヤルイン ダイヤルイン ーーーー 第一人内 レン サイマループ			
2 AAt>9-	1239307890 #14277 1112223334 #1/20-7*			
<ol> <li>① 新たに登録する転送先番号な</li> <li>※ 反転表示になります。</li> </ol>	をクリックします。			
② 転送先名を入力 」 します。				
<ol> <li>転送先電話番号</li> <li>を入力します。</li> </ol>	<ul> <li>●話参号</li> <li>●9988776655</li> <li>●該送種別</li> <li>ホイスワープ*</li> <li>パイパレイン</li> <li>フッキング*</li> </ul>			
④ [登録]ボタンを クリックします。	<b>登録</b> 用形容			
※ 転送先登録一覧に表示されま	ます。			
1 00センター 2 △センター 3 ×センター 4	1234567890 ホイスワープ 1112223334 ホイスワープ 9988776655 ホイスワープ			

・転送先電話番号の修正・削除のしかたについても同様 に、「データ編 - 新しくデータを作成する -2. 転送先 登録」(75 ページ)を参照してください。

#### ■マニュアル動作の設定

「装置編 - 動作モードの確認/変更 -1.マニュアル動作の設 定」(42 ページ)を参照して、無条件転送モードと転送先 番号を設定してください。

### ■ 年間タイマーでの切り替え

「データ編 - 新しくデータを作成する -6. 年間タイマーの登録」(136 ページ)を参照して、無条件転送モードへの自動切換えを設定してください。

## 4. お待たせモードの登録

◎ お待たせモードの設定・登録を行います。

本システムのお待たせ動作には、「通常」と「選択呼出」の2種類の動作モードがあります。また、コールスクリーニン グ機能、トラフィック集計機能の設定ができます。

#### ● 通常お待たせ動作

お客様からの電話着信と同時に電話機のベルを鳴らし、すぐに応答できない場合「お待たせ第 1 メッセージ」「保留音」 などでお待たせしながら電話機を呼び出し続ける動作です。



お客様からの電話着信の最初から「お待たせ第1メッセージ」の送出が終わるまでの間、電話機のベルを鳴らさない様 に設定することができます。お客様に案内メッセージを流した後に電話応対する場合などに利用できます。

#### ● トラフィック集計機能

お客様からの電話着信に「案内メッセージ」で自動応答せず、電話機の呼び出しを行います。電話の着信件数などのデー タを測定する機能です。

ー 🛃 ワンポイント –

● お待たせ動作中に応対するときは、最古着信から応対 してください。

**リンポイント** 

● お待たせアラーム音は、LAN 接続された制御用パソ コンで本体装置をモニタ中にパソコンのスピーカから 送出されます。アラーム音を使用する場合はパソコン 側で音量などの設定を行ってください。

## ■ お待たせフロー画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で [お待たせ] ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [お待たせ] ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【お待たせフロー】画面を表示します。





## ■ お待たせモードで使用できる転送方式

お待たせモードでは下記の転送方式が使用できます。

	乱佐工い					
	動作モート	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	× · (1)   (1)
	お待たせ	$\bigtriangleup$	×	0	0	できません。

## ■ 動作設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の [動作設定] ボタンをクリックします。



## ■ 動作設定の内容

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	お待た井動佐	動作モード	お待たせの動作モード「通常/選択呼出」を設定します。	・通常 ・選択呼出	通常
2	1 401寸/こ ピ 男/川 F	コールスクリーニング	お待たせ第 1 の終了まで、T1,T2(TEL 側)にベルを送 出しない機能を「使用する/使用しない」を設定します。	・使用しない ・使用する	使用しない
3	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ~ 20 回 (ボイスワープ使用時は、 1 ~ 5 回)	4 回
4		動作中のベル回数	本装置でお待たせ応答している回線がある場合、他の回 線の着信に対して応答するまでのベル回数を設定します。	<ul> <li>・設定した回数</li> <li>・1回で応答</li> </ul>	設定した回数
5	選択呼出設定	呼出番号	選択呼出案内中に、T1,T2(TEL)側にベル信号を送出 して呼び出しを開始するために、お客様に入力していた だく選択番号を設定します。 ただし、「コールスクリーニング」を「使用する」に設定 した場合、および「呼出動作」を「最古着信のみ」に設 定した場合は、すぐに呼び出しを開始しない場合があり ます。	· 0 ~ 9	1
6		繰返番号	選択呼出案内を繰り返し聞くための番号を設定します。	$\cdot 0 \sim 9$	0
7	呼出設定	呼出動作	本装置がお待たせ中に、呼び出しする回線を設定します。 「呼出しない」に設定しても、動作モードが「通常」でコー ルスクリーニングが「しない」の設定の場合は、応答す るまで呼び出しを行います。 「呼出しない」の設定は、T1.T2 (TEL 側) に単独電話機 を接続した場合の設定です。構内交換機 (PBX) を接続 した場合は、お待たせ動作中の回線に応対できなくなり ますので設定しないでください。	・呼出しない ・お待たせ中の回線 ・最古着信のみ	お待たせ中の 回線
8		呼出時間	呼出先が2つ以上設定されている場合、1つの呼出先(ボ イスワープ以外)を呼び出す最大時間を設定します。呼 出先が1つの場合はこの設定にかかわらず呼び出し続け ます。	・10 ~ 240 秒 ・無制限	30 秒
9		ボイスワープ呼出時間	呼出先が 2 つ以上設定されている場合、1 つの呼出先(ボ イスワープ)を呼び出す最大時間を設定します。	·10~100秒	30 秒
10	お待たせ アラーム設定	送出タイミング	回線モニタでお知らせするお待たせアラームのタイミン グを設定します。	<ul> <li>・使用しない</li> <li>・お待たせ第1開始時</li> <li>・お待たせ第1終了時</li> <li>・お待たせ第2開始時</li> <li>・お待たせ第2線了時</li> </ul>	お待たせ 第 2 開始時

## 新しくデータを作成する(お待たせモード)

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
11	お待たせ	送出タイミング	お待たせ第1送出後、何秒後にお待たせ第2を送出する かを設定します。「転送種別切替時」に設定すると、呼出 先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときな どにお待たせ第2を送出します。	・0 ~ 999 秒 ・転送種別切替時	10秒
12	第2設定お待たせ第2後の動作		お待たせ第2送出後の動作を設定します。	<ul> <li>・回線切断</li> <li>・保留音送出</li> <li>・第1メッセージ後を繰返</li> </ul>	保留音送出
13	トラフィック集計機能		トラフィック集計機能を「使用する/使用しない」を設 定します。 「使用する」に設定すると、本装置はすべての応答動作を 行いません。	・使用しない ・使用する	使用しない

## ■ 設定のしかた

# (1)\_\_\_\_



① 設定項目の指定

設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択 されると反転表示になります。

- ②設定入力
  - 選択した項目に対応した内容が表示されます。
  - 1.お待たせ動作 動作モード





3. 着信設定 ベル回数



・ボイスワープを使用する場合は、テンキー(1~5)
 を表示します。



4. 着信設定 動作中のベル回数



5. 選択呼出設定 呼出番号



・6項の「選択呼出設定 繰返番号」と同じ番号は設 定できません。



## ■ 呼出先設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の [呼出先設定] ボタンをクリックします。



## ■ 設定のしかた



- ① 呼出先の一覧表示
- 設定された呼出先を表示します。
- ② 呼出設定

次の手順で、呼出先を設定します。





呼出設定 第1呼出先 転送先名 |総務部・総務1課 一覧 電話番号 1001 ※呼出先および 転送種別 ダイヤルイン 転送種別を表 □ 第2呼出先 示します。 電話番号 ③[登録]ボタンを、 クリックします。 第1呼出先 第2呼出先 第3呼出先 総務部・総務1課 ※呼出先一覧に表示されます。

#### ● 追っかけ呼び出しを行う場合

第2呼出先、第3呼出先を設定して追っかけ呼び出しを 行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックし てチェックを付け、一覧から呼出先を選択して設定しま す。



#### ● 呼出先を変更(修正)する場合

呼出先を変更するときは、該当の呼出先の[一覧]ボタンをクリックして、呼出先の設定をやり直します。 操作は、呼出先設定と同じです。 [登録]ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を 表示します。「はい]ボタンをクリックして設定します。



③[登録] ボタン

呼出先設定を確定するときにクリックします。

④ [削除] ボタン

呼出先の設定内容を削除するときにクリックします。



#### ⑤印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。 ⑥ 戻る

【お待たせフロー】画面に戻ります。

## ■ メッセージ設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の [メッセージ設定] ボタンをクリックします。



#### ■ メッセージの種類



#### ①メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応 じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・ お待たせで使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作工 レ	メッセージ種類								
動作モート	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	0	0			0	0	0		
ダイレクト転送モード	0		0		0	0	0		
ツリー転送モード	0			0	0	0	0		
お待たせモード	$\bigtriangleup$							0	
応答専用モード	0								0

△:保留音のみ使用します。

② チャンネル番号・メッセージ名一覧
 各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。 コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

### ■ メッセージの内容と設定のしかた

#### ● 共通メッセージ

お待たせ動作モードでは、保留音のみを使用します。 挨拶(1ch)、総合案内(2ch)、選択繰返(3ch)、終了 案内(4ch)は使用しません。

使用	ch	メッセージ名	אלאב
V		挨拶	挨拶
•	2	総合案内	総合案内
V	3	選択繰返	違択繰返
V	4	終了案内	終了案内
Ø	5	保留音	保留音

保留音に「○」印が付きます。

- ・保留音(ch 5) 電話の転送中など、お客様に待っていただく間に送 出する音楽などです。
- ▶コメントの登録・削除

コメント編集欄で入力したコメントは、[登録] ボタ ンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。 [削除] ボタンをクリックすると、【コメントの削除】 確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックするとコメントは削除され ます。

#### ● お待たせメッセージ

お待たせモードで使用するメッセージです。



・お待たせ第1メッセージ(ch237)
 お客様からの電話着信に、最初に応答してお待たせするメッセージです。

・お待たせ第2メッセージ(ch238)
 お待たせ時間が長いときなどに、途中で案内するメッセージです。

・選択呼出メッセージ(ch239)

お待たせ第1メッセージの前に案内するメッセージ です。このメッセージ中にお客様から「呼出番号」の 入力があると、T1,T2(TEL)側にベル信号を送出 して呼び出しを開始し、お待たせ動作になります。

◆ コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

④印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る

【お待たせフロー】画面に戻ります。



てください。

 ● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置 編 - メッセージの録音・再生|(38ページ)を参照し

## 5. 応答専用モードの登録

◎ 応答専用モードの設定・登録を行います。

本システムの応答専用動作には、お客様から電話着信した時の電話機呼び出し方法として「呼出なし/応答まで呼出/ 応答中も呼出」の3種類の呼出設定があります。

#### ●「呼出なし」動作

お客様からの電話着信時に、電話機のベルを鳴らさず(呼び出ししないで)、応答案内メッセージで応答する動作です。

#### ●「応答まで呼出」動作

お客様からの電話着信時に、応答案内メッセージで応答するまで電話機のベルを鳴らす(呼び出しする)動作です。 呼出先がダイヤルイン転送の場合、呼出先を設定して呼び出しできます。呼出先は1つのみ設定できます。 呼び出し中に電話を取って応対することができます。

#### ●「応答中も呼出」動作

お客様からの電話着信時に、応答案内メッセージで応答した後も電話機のベルを鳴らす(呼び出しする)動作です。 呼出先がダイヤルイン転送の場合、複数の呼出先を設定して追っかけ呼び出しすることもできます。 呼び出し中に電話を取って応対することができます。





ワンポイント
 応答案内メッセージは、最大 10 種類録音できます。
 マニュアル動作または年間タイマーで切り替えて使用することができます。

### ■ 応答専用フロー画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で[応答専用]ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。 [応答専用]ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【応答専用フロー】画面を表示します。







## ■ 応答専用モードで使用できる転送方式

応答専用モードでは下記の転送方式が使用できます。

あたエード	転送方式					
動TFモート	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ(一般)	×:使用不可	
応答専用	×	×	0	0		

## ■ 動作設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の [動作設定] ボタンをクリックします。



## ■ 動作設定の内容

No.		設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1		ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ~ 20 回 (ボイスワープ使用時は、 1 ~ 5 回)	1 回
2	着信設定	呼出設定	着信してから T1,T2(TEL 側)を呼び出す設定を行い ます。「応答まで呼出」に設定したときは、複数の呼出 先を設定することはできません。	・呼出なし ・応答まで呼出 ・応答中も呼出	呼出なし
3		ダイヤルイン呼出時間	呼出先が2つ以上設定されている場合、1つの呼出先 を呼び出す最大時間を設定します。呼出先が1つの場 合はこの設定にかかわらず呼び出し続けます。	·10~240秒	30 秒
4	古体到宁	応答専用案内送出回数	応答専用案内を繰り返し送出する回数を設定します。	・1~9回	1 回
5		応答専用案内間隔	応答案内を繰り返し送出する場合の間隔を設定します。	· 0 ~ 10 秒	1 秒

### ■ 設定のしかた



### ■ 呼出先設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の[呼出先設定]ボタンをクリックします。 呼出設定が「応答まで呼出」および「応答中も呼出」の場合に設定できます。



			Manager and Andrews	
第1呼出先	第2呼出先	第3呼出先	新活用の	
			RHOR	
			42/2/8/31	
			r marian	
			NEERE	-9
			12597	
			#EIGIBAA	
			T Marilly.	
			和意思名	-1
			TO BE STORE	
			#10 (fit)	
			20	R-Da

<sup>※「</sup>応答まで呼出」の画面表示例です。呼出先は1ヶ所のみ登録 できます。

■ 設定のしかた



呼出設定 第1呼出先 転送先名 |総務部・総務1課 一覧 電話番号 1001 ※呼出先および 転送種別 ダイヤルイン 転送種別を表 □ 第2呼出先 示します。 電話番号 ③[登録]ボタンを、 クリックします。 登録 削除 第1呼出先 第2呼出先 第3呼出先 総務部・総務1課 ※呼出先一覧に表示されます。

● 追っかけ呼び出しを行う場合(「応答中も呼出」の場合) 第2呼出先、第3呼出先を設定して追っかけ呼び出しを 行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックし てチェックを付け、一覧から呼出先を選択して設定しま す。



#### ● 呼出先を変更(修正)する場合

呼出先を変更するときは、該当の呼出先の[一覧]ボタンをクリックして、呼出先の設定をやり直します。 操作は、呼出先設定と同じです。 [登録]ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を 表示します。「はい]ボタンをクリックして設定します。



③[登録] ボタン

呼出先設定を確定するときにクリックします。

④ [削除] ボタン

呼出先の設定内容を削除するときにクリックします。



#### ⑤印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

## ⑥ 戻る

【応答専用フロー】画面に戻ります。

## ■ メッセージ設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の [メッセージ設定] ボタンをクリックします。



#### ■ メッセージの種類



#### ①メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応 じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・・応答専用で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作工 い				メッ	セージ種類				応答専用
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	0	0			0	0	0		
ダイレクト転送モード	0		0		0	0	0		
ツリー転送モード	0			0	0	0	0		
お待たせモード	(保留音)							0	
応答専用モード	0								0

② チャンネル番号・メッセージ名一覧
 各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。 コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。



● 応答案内メッセージ

応答専用モードで使用するメッセージです。

使	用の	有新	無 チャンネル	番号 メッセージ名 コメン	/ /
÷	共通メッ	セージ	*  遅枳転送 ダイレクト転送	ツリー転送  転送案内  呼出案内  着信案内  お待た	せ「応答専用」
	使用	[ ch	メッセージ名		コメント
	0	240	応答専用案内1	応答専用案内1	応答専用
	0	241	応答専用案内2	応答専用案内2	童
	0	242	応答専用案内3	応答専用案内3	
	0	243	応答専用案内4	応答専用案内4	
	0	244	応答専用案内5	応答専用案内5	
	0	245	応答専用案内6	応答専用案内6	
	0	246	応答専用案内7	応答専用案内7	
	0	247	応答専用案内8	応答専用案内8	
	0	248	応答専用案内9	応答専用案内9	
	0	249	応答専用案内10	応答専用案内10	
	1	-			

 ◆ メッセージの説明 応答案内メッセージは 10 種類(ch240 ~ 249)の メッセージがあり、マニュアル操作または年間タイ マーで切り替えて使用できます。 使用する応答案内メッセージを録音してください。

◆コメントの登録・削除 共通メッセージの操作と同じです。

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

【お待たせフロー】画面に戻ります。



- ●各案内メッセージの画面は、応答専用フローのメッ セージ名のボタンをクリックして呼び出すこともでき ます。
- 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置 編 - メッセージの録音・再生」(38 ページ)を参照し てください。

## 6. 年間タイマーの登録

◎年間タイマーで、日付・時間帯などを指定して各動作モードを自動的に切り替えて運用するためのスケジュールを作成します。スケジュールには、「曜日」、「祝日」、「特定日」の3種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日」が最も高く、以下「祝日」、「曜日」の順です。 また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した年を含め最大5年です。

(例1) 2014/1/1 に登録した場合  $\Rightarrow$  有効期限: 2018/12/31 (有効期間: 5年) (例2) 2014/10/1 に登録した場合  $\Rightarrow$  有効期限: 2018/12/31 (有効期間: 4年と92日) そのため、有効期間内に年間タイマーを再登録してください。

#### ● 曜日スケジュール

日曜日から土曜日まで、曜日ごとのスケジュールを作成して登録します。年間タイマー運用の基本動作となります。

#### ● 祝日スケジュール

国民の祝日に専用のスケジュールで運用するときは、「祝日スケジュール」を作成します。すべての祝日に共通のスケジュールで1種類です。「祝日スケジュール」を使用しないときは、「曜日スケジュール」がそのまま適用されます。

#### ● 特定日スケジュール

事業所独自の休日などを専用のスケジュールで運用するときは、「特定日スケジュール」を作成します。「特定日スケジュール」は「A ~ V」まで 22 種類のスケジュールが作成でき、指定日ごとに任意のスケジュールが指定できます。

## 6-1 曜日スケジュールの登録

#### ■ 曜日スケジュール画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で[年間タイマー]ボタンをクリックすると【曜日スケジュールの編集】画面を表示します。





## ■ 曜日スケジュールの登録

① [曜日選択] ボタン

スケジュールを登録する曜日を選択します。クリックす ると、その曜日の編集画面を表示します。



・選択する動作モードにより、選択内容は次のように変わります。









- ② 動作モードの選択、③ 切り替え時刻の登録を繰り返して、次のステップを登録します。
- 1 つの曜日が終わったら、① 曜日選択に戻り別の曜日を 登録します。
- 「曜日スケジュール」の登録が終わったら、次のいずれ かを選びます。
  - ・[次へ] ボタンをクリックすると、「祝日スケジュール」
     を作成する画面が開きます。
  - ・ステータスバーで、次の作業を選択します。

次の作業を選択します。

○ 曜日スケジュール ○ 祝日スケジュール ○ 特定日スケジュール

「編集メニューへ」ボタンをクリックすると、【編集メニュー】 画面に戻ります。



### ■ 曜日スケジュールの編集



#### ● 時刻の変更

画面は「月曜日スケジュール」の例ですが、他の曜日で も、また「祝日スケジュール」や「特定日スケジュール」 でも操作は同じです。

(例)登録2の開始時刻を8時30分から8時00分に 変更します。

- ・① 変更したい登録番号(ここでは2)をクリックします。

   登録番号の行が反転します。
  - ・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。
  - ・右側の登録エリアの「開始時刻・終了時刻」に時刻を 表示します。



② マウスを左側のグラフエリアへ移動します。該当のス テップ(斜線で識別した部分)の上端へマウスを移動す ると、ポインターが時刻修正型に変わります。



・時刻が8時00分になるよう、ドラッグしドロップします。



③時刻の変更は、右側の登録エリアの「開始時刻・終了時刻」の欄にキーボードから直接数値を入れても変更できます。



⑤[登録]ボタンをクリックします。詳細表示の「開始時刻」 が8時00分に変わります。

登録	開始時刻 0:00	終了時刻	動作モード
-/-	0:00	0.00	
		0:00	f 応答専用 1 🔰
2	► 800	12:00	a 選択転送 1
3	12:00	13:00	f 応答専用 2
4	13:00	18:00	a 選択転送 1
5	18:00	22:00	a 選択転送 2
6	22:00	24:00	f 応答専用 3
	5	5 18:00 6 22:00	5         18:00         22:00           6         22:00         24:00

◆「終了時刻」の変更も同様に行います。

 
 — ● マウスのドラッグでの時刻入力は 10 分刻みで登録で きます。

 ・ ボードからの時刻はませれ 0 カリンズ登録できます。

● キーボードからの時刻入力は 1 分刻みで登録できま すので、細かい時刻の修正を行うことができます。  動作モードの変更
 画面は「月曜日スケジュール」の例ですが、他の曜日でも、また「祝日スケジュール」や「特定日スケジュール」でも操作は同じです。
 (例)登録5の選択転送2を応答専用4に変更します。

 (例)登録5の選択転送2を応答専用4に変更します。
 (1)変更したい登録番号(ここでは5)をクリックします。 登録番号の行が反転します。
 ・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。
 ・右側の登録エリアに「動作モード」と「動作内容」を表示します。
 ① クロックします 原転表示になります



④「動作モード」の▼をクリックして、変更する動作モードを選択しクリックします。



⑤ [登録] ボタンをクリックします。
 詳細表示の「動作モード」、グラフエリアの表示が変わります。



## 新しくデータを作成する(年間タイマーの登録)

### ● 特定のステップを削除(停止)にするには

登録された動作をステップ単位で削除(停止)するには、 該当のステップを「停止」にします。 (例)登録3の応答専用2を削除します。

- 変更したい登録番号(ここでは3)をクリックします。
   登録番号の行が反転します。
  - ・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。
  - ・右側の登録エリアに「動作モード」と「動作内容」を 表示します。



④「動作モード」の▼をクリックして、「停止」を選択しク リックします。

-----



⑤[登録]ボタンをクリックします。

詳細表示の「動作モード」、グラフエリアの表示が変わ ります。



### ■ 曜日スケジュールの削除

登録された動作を「曜日スケジュール」単位で削除するこ とができます。[曜日選択]ボタンで削除したい曜日を選び、 【曜日スケジュールの編集】画面右上の[削除]ボタンをク リックします。



・削除の確認画面が表示されます。



・火曜日の登録がすべて削除されます。


# ■ 一覧表示とコピー貼り付け

#### ● 一覧表示

登録された「曜日スケジュール」の動作内容を一覧表で確認できます。 【曜日スケジュールの編集】画面で、右上の[一覧表示]ボタンをクリックします。



・[戻る] ボタンをクリックすると、【曜日スケジュールの編集】画面に戻ります。

## ● 内容のコピー

曜日間でスケジュールの登録内容をコピーすることができます。



# 6-2 祝日スケジュールの登録

# ■ 祝日スケジュール画面の呼び出し

【曜日スケジュールの編集】画面で、[次へ] ボタンまたはステータスバーの「祝日スケジュール」をクリックします。



# ■ 祝日スケジュールと振替休日使用の有無

祝日に専用のスケジュールを使用「する/しない」と、振 替休日の動作を設定します。



> 、 設定できません。

## ■ 祝日スケジュールの登録

「祝日スケジュール」は1種類登録できます。 登録のしかたは、「曜日スケジュール」の登録と同じです。 ただし、[曜日] ボタンの選択はありません。 「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの登録」 (137 ページ) を参照してください。

# ■ 祝日スケジュールの編集

編集のしかたは、「曜日スケジュール」の編集と同じです。 ただし、[曜日] ボタンの選択はありません。 「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの編集」 (140 ページ) を参照してください。

なります。

#### ■ 祝日スケジュールの削除

登録された「祝日スケジュール」を削除することができます。 【祝日スケジュールの編集】画面右上の [削除] ボタンをク リックします。



#### ■ 一覧表示とコピー貼り付け

【祝日スケジュールの編集】画面右上の[一覧表示]ボタン をクリックすると、スケジュールの一覧が表示され確認が できます。

ラフエリアの表示も変わります。

「曜日スケジュール」(例えば日曜日スケジュール)を祝日 にコピーすることもできます。コピーのしかたは、「曜日ス ケジュール」のコピーと同じです。143ページを参照して ください。

 ●「祝日スケジュール」の登録が終わったら、次のいずれ かを選びます。

- 「次へ」ボタンをクリックすると、「特定日スケジュール」を作成する画面が開きます。
- 「戻る」ボタンをクリックすると、「曜日スケジュール」
   を作成する画面が開きます。
- ・ステータスバーで、次の作業を選択します。

次の作業を選択します。

○ 曜日スケジュール ○ 祝日スケジュール ◎ 特定日スケジュール

### ■ 祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変更になったときなどに祝日を編集します。



- 【祝日スケジュールの編集】画面で、右上の[祝日の編集] ボタンをクリックします。
- ② 祝日の選択

編集したい祝日をクリックします。新たに追加するとき は、空白行をクリックします。反転表示になります。

- ③ 祝日名の入力 祝日の名前を入力します。祝日名は半角 20 文字、全角 10 文字まで入力できます。
- ④ 月の指定
   祝日の月を入力します。▼をクリックして選択するか、
   キーボードから入力します。
- ⑤ 固定日の指定 祝日が固定日のとき、クリックして「●」を付け日付を 入力します。
- ⑥ 変動日の指定

祝日が第3月曜日などのように変動日のとき、クリック して「●」を付け、第1から第5と曜日を選択します。

- ⑦ 祝日の登録
  - 編集、追加した祝日を登録するときにクリックします。
  - ・[登録] ボタンをクリックすると、上書きの確認画面 を表示する場合があります。



⑧ 祝日の削除

選択した祝日を削除するときにクリックします。

 ・[削除] ボタンをクリックすると、削除の確認画面を 表示します。



·[はい] ボタンをクリックすると、祝日が削除されます。 ⑨ 規定値を読み込む

・[規定値を読み込む] ボタンをクリックすると、現在 編集中の内容をパソコンに保存されている規定値に 置き換えます。



# 6-3 特定日スケジュールの登録

「特定日スケジュール」は、最初にスケジュールの内容を作成します。 「A」から「V」の 22 種類作ることができます。次に、作成したスケジュールをカレンダーの希望の日に割り付けます。

# ■ 特定日スケジュール画面の呼び出し

【祝日スケジュールの編集】画面で、[次へ] ボタンまたはステータスバーの「特定日スケジュール」をクリックします。



<sup>147</sup> 

#### ■ 特定日スケジュールの編集画面の呼び出し

①【特定日スケジュールの登録】画面で、[編集] ボタンをクリックします。



[ 印刷 ] ボタン 設定内容を印刷します。

② 特定日種類の選択

作成する種類(A ~ V)を選択してクリックします。 編集するときは、作成済みのスケジュールをクリックし ます。



③ コメントの入力

スケジュールの名前を入力します。コメントは半角 20 文字、全角 10 文字まで入力できます。

## ■ 特定日スケジュールの登録

「特定日スケジュール」は22種類登録できます。 登録のしかたは、「曜日スケジュール」の登録と同じです。[曜 日]ボタンの変わりに、[種類(A ~ V)]ボタンを選択します。 「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの登録」 (137ページ)を参照してください。

## ■ 特定日スケジュールの編集

編集のしかたは、「曜日スケジュール」の編集と同じです。 [曜日] ボタンの変わりに、 [種類(A ~ V)] ボタンを選択します。 「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの編集」 (140ページ)を参照してください。

## ■ 特定日スケジュールの削除

登録された「特定日スケジュール」を削除することができ ます。【特定日スケジュールの編集】画面右上の [削除] ボ タンをクリックします。



# ■ 一覧表示とコピー貼り付け

【特定日スケジュールの編集】画面右上の[一覧] ボタンを クリックすると、スケジュールの一覧が表示され確認がで きます。「特定日スケジュール」も「曜日スケジュール」「祝 日スケジュール」と同様にコピー貼付けをすることができ ます。



・【特定日スケジュールの編集】および【特定日スケジュールの登録】画面には、スケジュールのコメント欄に、「特定日スケジュールAのコピー」と表示されます。



●使用予定のすべての「特定日スケジュール」を作り終わったら、[戻る]ボタンをクリックします。【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。

# ■ 特定日のカレンダーへの割り付け

【特定日スケジュールの編集】画面で作成したスケジュールを、カレンダーの希望の日に割り付けます。



カレンダースクロールバー スクロールして5年分のカレンダーが表示できます。

 【特定日スケジュールの登録】画面、モード切替の[登録] ボタンをクリックします。



②「特定日スケジュール一覧」で、登録するスケジュール
 を「A」から「V」または「停止」の中から選び、クリックします。



マウスポインターをカレンダー部分に移動すると、ポイ ンターが鉛筆形に変わります。 目的の日(登録する日)をクリックします。



- ・例では、4月20日が「特定日スケジュール C」の 「社員研修」のスケジュールになりました。
- ②、③を繰り返して、他の日も登録します。



#### ● 定期的な日付を一括で特定日に登録する方法

毎月(または毎年)決まった日に同じ「特定日スケジュー ル」で運用したい場合など、複数の日を一括で「特定日 スケジュール」に登録することができます。

鉛筆形ポインターで日付をクリックするときに、右ク リックをします。



・メニューから希望する項目をクリックすると、その内
 容に従って特定日が登録できます。

例えば、「12月30日」で右クリックして、メニュー から「毎年12月30日」をクリックすると、現在の 登録内容を表示し、登録をして良いかどうかの確認 画面が開きます。



 ・[はい] ボタンをクリックすると、今選択している 「特定日スケジュール」(例:「D」年末年始)が、今 年から5年間のすべての12月30日に登録されます。
 ・【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。



#### ■ 特定日のカレンダーからの削除

④【特定日スケジュールの登録】画面、モード切替の[削除] ボタンをクリックします。



- ・マウスポインターをカレンダー部分に移動すると、ポ インターが消しゴム形に変わります。削除したい特 定日をクリックします。
- 「特定日スケジュール」は削除され、その日は通常の
   「曜日スケジュール」または「祝日スケジュール」で
   動作します。



#### ● 定期的な日付の特定日を一括で削除する方法

毎月(または毎年)決まった日に登録されている「特定 日スケジュール」や、すべての「特定日スケジュール」 を一括で削除することができます。

消しゴム形ポインターで特定日をクリックするときに、 右クリックをします。



 ・メニューから希望する項目をクリックすると、その内 容に従って特定日が削除できます。

例えば、「12月30日」で右クリックして、メニュー から「毎年12月30日」をクリックすると、削除す る内容を表示し、削除をして良いかどうかの確認画 面が開きます。

# 新しくデータを作成する(年間タイマーの登録)



- ・[はい] ボタンをクリックすると、現在登録されてい る「特定日スケジュール」(例:「D」年末年始)がす べて削除され、通常の「曜日スケジュール」または「祝 日スケジュール」で動作します。
- ·【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。
- ●「特定日スケジュール」の登録が終わったら、次のいず れかを選びます。
  - 「戻る」ボタンをクリックすると、「祝日スケジュール」
     を作成する画面が開きます。
  - ・ステータスバーで、次の作業を選択します。

・[編集メニューへ] ボタンをクリックすると、年間タ イマーの登録を終了し、【編集メニュー】画面が開き ます。



# ■ 特定日の一覧表示

登録されている「特定日スケジュール」をすべて一覧で確 認することができます。

⑤【特定日スケジュールの登録】画面右上の[特定日一覧] ボタンをクリックします。



・[すべて削除] ボタンをクリックすると、次の【削除 の確認】画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、登録されている すべての「特定日スケジュール」が削除され、通常 の「曜日スケジュール」または「祝日スケジュール」 で動作します。

## ■ 特定日の割り付け確認

複数の特定日を一括で登録するときに、登録しようとしている日が現在どのような内容になっているのかを表示できます。 鉛筆形ポインターで日付を右クリックすると「特定日設定メニュー」が表示され、希望する項目をクリックするとその内容 が表示されます。



## ■ 特定日の削除確認

複数の特定日を一括で削除しようとしたときに、鉛筆形ポインターで日付を右クリックすると「特定日削除設定メニュー」 が表示され、希望する項目をクリックすると削除の対象となる特定日が表示されます。



# 登録内容を書き込み/保存する

◎ 作成した応答転送・年間タイマーなどのデータを、メモリーカードや本体装置に書き込みます。また、制御用パソコン のハードディスクなどに保存します。書き込み/保存は、【編集メニュー】画面の[登録カード書込][装置書込][ファ イル保存]ボタンで行います。

●【編集メニュー】画面の呼び出し

データの設定・登録を終了して【編集メニュー】画面に戻るときは、各画面の[戻る]ボタンを繰り返し押して一画面 ずつ戻る方法と、次のように画面左上の[編集メニューへ]をクリックして戻る方法があります。



[登録カード読込]・[装置読込] または [ファイル読込] ボタンで作成済みの登録データを読み込みして開きま す。詳しくは 「データ編 - 登録内容を編集する」(158 ページ)を参照してください。

# 1. メモリーカードに書き込む

◎ 作成したデータを、登録・集計用メモリーカードに書き込みます。

- ① 添付品の登録・集計用メモリーカード(KFC-60M)を、 カードライトアダプタ(CWA-100)にセットします。
- ②【編集メニュー】画面の[登録カード書込]ボタンをクリッ クします。



・セットされている登録・集計用メモリーカードのカー ド情報を取得したあと、【登録データ管理】画面が表 示されます。



# 登録内容を書き込み/保存する

- ③ 装置表示名を入力します。 装置表示名は、半角で10文字まで入力できます。 ここで入力した装置表示名は、本体装置のディスプレイ に表示されます。
- ④ [登録カード書込] ボタンをクリックします。
   ・データの書き込みが始まります。

・書き込みが終了すると、完了の案内を表示します。

 [OK] ボタンをクリックします。 【編集メニュー】画面に戻ります。



エラー表示について ―

登録データの書き込みをするときに、作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。 エラー表示には次の2種類があります。

- 警告:この表示があるときは、エラーが解決するまでデータの書き込みができません。
   [戻る] ボタンで【編集メニュー】画面に戻り、データを確認して不合理を修正してください。
- 注意:運用上に問題がないか確認してください。問題がなければ「次へ」ボタンをクリックすると、データの書き込みを継続します。

登録の種類	「エラー情報	種類
あ待たせ	呼出先が登録されていません。	·····································
2008年月	呼出先か登録されていません。	警告 2011年
▲年間タイマー	日曜日スケジュールの登録か停止のみです。	注意
11年間タイマー	月曜日スリンユールの登録か得正のみです。	注意
(年間なイマー	へ唯ロスケンユニルの豆球が11字にのみです。 水理日フケジュニルの登録が広山の五です	(注思)
(年間なイマー	小曜ロスケジュールの登録が停止のみです。 士曜日フケジュールの登録が信止のみです	は音
年間タイマー	全曜日スケジュールの登録が停止のみです。	(注意)
年間タイマー	土曜日スケジュールの登録が停止のみです。	注意
年間タイマー	祝日スケジュールの登録が停止のみです。	注意
年間タイマー	特定日が1つも登録されていません。	注意
		EA MAA





## 登録内容を書き込み/保存する

# 2.本体装置に書き込む(LAN)

◎ 作成したデータを、LAN 上に接続された IVR-2430 本体装置に直接書き込みます。あらかじめ、IVR-2430 本体装置と 制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」(34 ページ)、および「デー タ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」(61 ページ)を参照してください。



# 3. パソコンに保存する

◎ 作成したデータを、制御用パソコンまたは外部メモリーなどに保存します。

- ①【編集メニュー】画面の [ファイル保存] ボタンをクリッ
  - クします。



・【ファイル名入力】の画面が表示されます。

最初に登録データを「ファイル保存」するときは、IVR-2340 データ入力ソフトをインストールしたフォルダに 保存するようになっています。

② ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
 ・【編集メニュー】 画面に戻ります。



144957r1A88.0	LC FAD	14	×
🕥 🕞 🔒 - Popan	File (x80) + Takacom + TVR-3430 PCU/2E +	* 60 MR-2438 PC	71088
			12 · 0
金 お気に入り	A 68 -	更新日時	18210
※ 学ウンロード	a divers	2014/06/05 1841	7+11 7+15-
#25b97	📕 Work	2014/06/25 11:29	7+11 7+15-
T MODELLOCAME	📕 xillarmat	2014/06/05 1840	7+12 7+25-
Di 5(79)	🏭 音声サンブル	2014/05/05 1440	7+16 7+65-
205+ 205+ 2574 31-979	Alt 7r16	2014/06/19 16 16	7+12 7+29-
# I.K1-9-			
C 05 (0.)	-14		
7+18-849 300 7+18-849 300	19287-3 (****	(##/S))	• • •
- mas-camp			

データ入力ソフトがインストールされたフォルダ

# 保存先を変更する場合 ①保存する場所を選択してクリックします。 (例) C:¥DATA



- ②「新しいフォルダの作成」で、登録データを保存するフォ ルダを作成します。(例:IVR-2430\_DATA)
- ③ 作成したフォルダを [開く] ボタンをクリックして開き ます。
- ④ ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
   ・【編集メニュー】画面に戻ります。

次回からは、[ファイル保存] ボタンをクリックすると、 このフォルダ(例:IVR-2430\_DATA)を表示します。



# 登録内容を編集する

◎ メモリーカードや本体装置、または制御用パソコンのハードディスクなどに保存した応答転送・年間タイマーなどのデー タを読み込んで編集します。データの読み込みは、【トップ画面】の[登録カード読込][装置読込][ファイル読込]ボ タンで行います。

# 1. メモリーカードから読み込んで編集する

- ◎ 登録・集計用メモリーカードに書き込まれたデータを、読み込んで編集します。
- ① 登録データが書き込まれた、登録・集計用メモリーカード(KFC-60M)を、カードライトアダプタ(CWA-100)にセットします。
- ②【トップ画面】の[登録カード読込] ボタンをクリック します。
  - ・セットした登録・集計用メモリーカードのカード情報
     を取得したあと、【登録データ管理】 画面が表示されます。
- ③ [登録カード読込] ボタンをクリックします。
  - ・データを読み込んで、【編集メニュー】画面を表示し ます。
- ④【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。
   変更のしかたは、「新しくデータを作成する」と同じです。
   各項目を参照してください。





# 2. 本体装置から読み込んで編集する(LAN)

- ◎ LAN 上に接続された IVR-2430 本体装置のデータを直接読み込んで編集します。あらかじめ、IVR-2430 本体装置と制 御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」(34 ページ)、および「デー タ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」(61 ページ)を参照してください。
- ①【トップ画面】の[装置読込]ボタンをクリックします。
  - ・【接続先の選択】画面が表示されます。
- ② [▼] をクリックして、表示される一覧から接続先を選 択します。(複数の IVR-2430 本体装置が LAN 上にあ る場合)
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
  - ・本体装置との通信を開始し、接続が完了すると、【登録データ管理】画面が表示されます。
- ④ [装置読込] ボタンをクリックします。
  - ・データの読み込みが始まります。

処理中	
登録データを受信しています	
	50%

- ・読み込みが終了すると、【編集メニュー】画面を表示 します。
- ⑤【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。 変更のしかたは、「新しくデータを作成する」と同じです。 各項目を参照してください。





## 登録内容を編集する

# 3.ファイルから読み込んで編集する

◎ 制御用パソコンまたは外部メモリーなどに保存したデータファイルを、読み込んで編集します。

- 【トップ画面】の[ファイル読込] ボタンをクリックします。
  - ・【読込ファイル選択】の画面が表示されます。
- ②「登録内容を書き込み/保存する」でファイル保存した フォルダを開きます。

- ③ 保存されているファイルを選択してクリックするか、 ファイル名を入力して、[開く] ボタンをクリックします。
  - ・選択したファイルを読み込んで【編集メニュー】画面 を表示します。
- ④【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。
   変更のしかたは、「新しくデータを作成する」と同じです。
   各項目を参照してください。





登録内容を編集する

# メモ

# 登録内容を印刷する

◎ 各登録画面の[印刷] ボタンをクリックすると、登録内容を印刷することができます。

# 1. 印刷画面の設定

# ■ 印刷画面の呼び出し

各登録画面の[印刷]ボタンをクリックして【印刷】画面を表示し、プリンタの設定などを行います。



# ■ 印刷範囲・印刷対象について

年間タイマーの登録で、【曜日スケジュールの編集】、【特定日スケジュールの登録】、【特定日スケジュールの編集】の各画 面で[印刷]ボタンをクリックすると、[印刷範囲]または[印刷対象]の指定欄が有効になります。内容に従って印刷項 目を選択して印刷してください。





# ●「特定日スケジュールの登録」の【印刷画面】



# ●「特定日スケジュールの編集」の【印刷画面】



# 2.印刷の例

# ●本体初期設定(1/2)

									印刷日時 2007/01/26
本体部	受定								
No	設定項目	設定内容	-						
1 7-	ニュアル動作モード	応答専用1	-						
2 接続	続種別(T1,T2)	PBダイヤルイン	-						
3 PB	ダイヤルイン桁数	4桁	-						
4 E5	デムダイヤルイン桁数	10桁	-						
5 待核	機時ダイヤルイン 呼出先1	9999	-						
待核	機時ダイヤルイン 呼出先2		-						
待相	機時ダイヤルイン 呼出先3		•						
6 待核	機時ダイヤルイン 呼出時間	30秒	-						
7 ボー	イスワーブ 転送	使用する	-						
8 #-	イスワーブ 無音検出	しない	-						
9 ボー	イスワープ 無応答時転送先	9876543210	-						
10 7%	ッキング 転送	使用しない	-						
10 フッ 11 時刻	ッキング 転送 刻修正	使用しない ±30秒	• - •						
10 75 11 時刻 個別回 LIN	ッキング 転送 刻修正 回線設定 ルボード A 協会 面目	使用しない ±30秒		間線3	同純4	面線5	网络6	-	
10 7ッ 11 時刻 個別回 LIN No 1 時刻	ッキング 転送 刻修正 NEボード A 設定項目 練類((112)	使用しない ±30秒 回線1 一般回線	回線2 一和回線	回線3 一和回線	回線4 一和回線	回線5 一和回線	回線6 一	1	
10 フッ 11 時刻 旧別回 LIN No 1 接種 2 同様	ッキング 転送 刻修正 回線設定 uEボード A 設定項目 続種別(L(1,1,2) 神経知	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 200PS	回線2 一般回線 2005S	回線3 一般回線 20PPS	回線4 一般回線 200PS	回線5 一般回線 200PS	回線6 一般回線 200PS	]	
10 フッ 11 時 個別回 LIN No 1 接種 2 回練 3 ダイ	<ul> <li>シキング 転送</li> <li>刻修正</li> <li>回線設定</li> <li>NEボード A</li> <li>設定項目</li> <li>練種別(L1,2)</li> <li>線種別</li> <li>スケロルーン検出</li> </ul>	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 する	回線2 一般回線 20PPS する	回線3 一般回線 20PPS する	回線4 一般回線 20PPS する	回線5 一般回線 20PPS する	回線6 一般回線 20PPS する		
10 7ッ 11 時 個別回 LIN No 1 接線 3 ダ1 4 ベノ	ウキング 転送 刻修正 UEボード A 設定項目 被預列(1,1,2) 線理列 イヤルトーン検出 ル体出 福性利室	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 20PPS する する	回線2 一般回線 20PPS する	回線3 一般回線 20PPS する する	回線4 一般回線 20PPS する する	回線5 一般回線 20PPS する する	回線6 一般回線 20PPS する する		
10 フッ 11 時 個別回 LIN No 1 接種 2 回練 3 ダイ イ 5 終日	シキング 転送 刻参正 記様した A 設定項目 接種別(11,12) 線種別 イヤルトーン検出 小検出 機性判定 防絶出 穏性判定	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 20PPS する する する	回線2 一般回線 20PPS する する する	回線3 一般回線 20PPS する する する	回線4 一般回線 20PPS する する する	回線5 一般回線 20PPS する する する	回線6 一般回線 20PPS する する する		
10 7 11 時 個別回 LIN No 1 接線 3 ダ・ 4 ペリ 5 終語 6 相	シテング 転送 封修正 副線設定 延ポード A 一 線理別 (1,12) 線種別 イヤルトーン検出 一 水検出 周 (1,12) 総 成 二 の (1,12) 総 和 一 、 (1,12) 総 (1,12) 総 (1,12) 総 (1,12) (1	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 20PPS する する する する を を を しない 1 1 一般回線 1 一 5 一 5 - - - - - - - - - - - - -	回線2 一般回線 20PPS する する する する を反転	回線3 一般回線 20PPS する する する する 種性反転	回線4 一般回線 する する する する を した 転	回線5 一般回線 20PPS ずる する する する 種性反転	回線6 一般回線 20PPS する する する する 後性反転		
10 フッ 11 時3 個別回 LIN No 1 接線 2 回線 4 ペリ 5 終語 6 相平 7 受	ウキング 転送 封修正 UEボード A 設定項目 接通別(11,12) 総通別 イヤルトーン焼出 ル(供出 提性利定 形検出 提性利定 手応答検出 調等つらし確定時間	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 20PPS する する 軽性反転 2.0秒	回線2 一般回線 20PPS する する する 考る を を しの や	回線3 一般回線 20PPS する する する する そ を しの秒	回線4 一般回線 20PPS する する する する をる 見気転 2.0秒	回線5 一般回線 20PPS する する する する を を しの秒	回線6 一般回線 20PPS する する する そ を し 20秒		
10 70 11 時3 個別回 LIN No 1 接接 3 ダイ 3 ダイ 5 相目 7 受割 8 選邦	レキング 転送 新停正 回信ボード A 転花一ド A 転用(1)(1,2) 線分別 (1)(1,2) 線分別 (1)(2) 線分別 (1)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2) (2)(2)(2)(2) (2)(2)(2)(2) (2)(2)(2)(2) (2)(2)(2)(2)(2) (2)(2)(2)(2)(2)(2) (2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(	使用しない ±30秒 1 一般回線 200PS する する する 様性反転 2.0秒 1.5秒	回線2 一般回線 20PPS する する 種性反転 2.0秒 1.5秒	回線3 一般回線 200PS する する 種性反転 2.0秒 1.5秒	回線4 一般回線 200PS する する 種性反転 2.0秒 1.5秒	回線5 一般回線 20PPS する する 種性反転 2.0秒 1.5秒	回線6 一般回線 200PPS する する 考る 植性反転 2.0秒 1.5秒		
10         フッ時           111         時           個別回         山N           1         2           2         3           3         ダベノ           5         終結           6         相平           9         フッ	バキング 転送 新修正 副線設定 はポード A 設定項目 観定項目(1,1,2) 線理列 取合計 単位判定 手応着検出 該部子の4度空時間 完計参り(1,1,2) 部本の40 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次 第二次	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 200PS する する 種性反転 20秒 1.5秒 600ms	回線2 一般回線 20PPS する する 補性反転 2.0秒 1.5秒 600ms	回線3 一般回線 20PPS する する 補性反転 2.0秒 1.5秒 600ms	回線4 一般回線 20PPS する する 補性反転 2.0秒 1.5秒 600ms	回線5 一般回線 20PPS する する 補性反転 2.0秒 1.5秒 600ms	回線6 一般回線 20PPS する する 補性反転 2.0秒 1.5秒 600ms		
10         フッ時           111         時           個川回         山N           1         2           2         3           4         4           5         64           7         3           9         2           10         道	レキング 転送 新修正 部成二十 A 最短定 単成一十 A 量数 量数 量数 量数 量数 一 数 量数 量数 量数 量数 量数 量数 量数 量数 量数	使用しない ±30秒 □0線1 一般回線 20PPS する する する 様性反転 20秒 1.5秒 600ms 2秒	回線2 一般回線 20PPS する する 様性反転 1.5秒 600ms 2秒	回続3 一般回線 20PPS ずる する 補性反転 1.5秒 600ms 2秒	回線4 一般回線 20PPS する する する 様性反転 1.5秒 600ms 20秒	回線5 一般回線 20PPS する する する 様性反転 1.5秒 600ms 2秒	回線6 一般回線 20PPS する する する 様性反転 2.0秒 1.5秒 600ms 2.秒		
10 79時3 個別回 LIN No 1 接線 1 2 回線 3 ダイ 4 5 終 相型 3 7 型 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週 7 週	バキング 報送 新修正 副線設定 はポード A 設定項目 数定項目(1,1,2) 線理列 取合計 相任判定 罪必若保出 認知子 40任判定 罪必若保出 認着子3.4度保持回 字ン2分積一 のたけ前時時間 2.かけ前時時間	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 20PPS する する する 様性反転 20秒 15秒 600ms 2秒 検出しない	回線2 一般回線 20PPS する する する 移性反転 2.0時 1.5秒 600ms 2秒 楽山しない	回線3 一般回線 20PPS する する する 考 を 20秒 2.0秒 600ms 2 秒 線出しない	回線4 一般回線 20PPS する する 考る 客 支 の称 2.0秒 5.0 600ms 2.0 秒 後 出しない	回線5 一般回線 200PPS する する 考る 考 を 20秒 1.5秒 600ms 2秒 検出しない	回線6 一般回線 200PPS する する する 移住反転 2.0秒 1.5秒 6.00ms 2.8秒 検出しない		
III         Point           III         時初           III         時初           III         時初           III         日本           III         日本           IIII         日本           IIII         日本           IIII         日本           IIII         日本           IIII         日本           IIII         日本	バキング 紙送 新修正 前修工 前修工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工 人工	使用しない ±30秒 回線1 一般回線 200PS する する する する 15秒 600ms 20秒 15秒 600ms 20秒	回線2 一般回線 20PPS する する する 来る する 様性反転 1.5秒 600ms 2秒 20秒	回線3 一般回線 20PPS する する する 様性反転 1.5秒 000ms 2.0秒 2.0秒 2.0秒 2.0秒 2.0秒 2.0秒 2.0秒	回続4 一般回続 20PPS する する 来る する 様性反転 1.5秒 600ms 20秒 20秒 20秒 20分	回総5 一般回線 20PPS する する 来る する 種性反転 1.5秒 600ms 20秒 20秒 20秒 30分	回線6 一般回線 20PPS する する 様性反転 15秒 600ms 20秒 20秒		

# ●本体初期設定(2/2)

本体	\$初期設定							ファイル名:選択転送12.27 印刷日時 2007/01/26 08:59
	LINEボード D							
No	設定項目	回線19	回線20	回線21	回線22	回線23	回線24	
1	接続種別(L1,L2)							
2	回線種別							
3	ダイヤルトーン検出							
4	ベル検出 極性判定							
5	終話検出 極性判定							
6	相手応答検出							
7	受話器下ろし確定時間							
8	選択番号 桁間時間							
9	フッキング時間							
10	追っかけ間隔時間							
11	PBX内線呼戻しペル検出							
12	回線閉塞時間							
13	集計グループ							
No	集計設定 項目名	設定項目	設定内容					
1	集計動作	持集計	集計する					
2		日集計	集計する					
3		週集計	集計する					
4		月集計	集計する					
5		データの上書き	上書きする					
6	集計単位時間	即時応答	10秒					
7		即時放棄	10秒					
8		本体応答後応答	10秒					
9		本体応答後放棄	10秒					
10		トラフィック集計 動作時応答	10秒					
11		トラフィック集計 動作時放棄	10秒					
12	応答·転送(IVR)集計表示	選択転送	ずる					
13		ツリー転送	ずる					
14		タイレクト転送	する					
15		<b>携染忤転送</b>	する					
16		即時心音	する					
17	の特にて来訂表示	10 B	9 の(計職あり)					
18	广放审用 使科索马	以来 亡效审用	9 の(肝臓あり)					
19	心谷寺川 朱訂衣示 えのぬ 生社主品	心曾等用 语話,会回線話中	9 Q					
20	てい18 無計改不	2010.平时8892中	> ৩					

# ● 転送先登録

-				eta:
Vo.	使用	転送先名	電話番号	転送種別
-		ポイスワープ無応答時転送先	9876543210	ホイスワーフ
-		待機時ダイヤルイン呼出先1	9999	ダイヤルイン
- 2		待機時ダイヤルイン呼出先2	1	タイヤルイン
	1	待機時ダイヤルイン呼出先3	-	ダイヤルイン
		一般/ND呼出		一般/ND
1	0	総務部・総務1課	1001	タイヤルイン
2	Õ	総務部・総務2課	1002	タイヤルイン
3	Ó	営業部·営業1課	2001	ダイヤルイン
4	0	営業部·営業2課	2002	ダイヤルイン
5	0	営業部·営業3課	2003	タイヤルイン
6	0	技術部・設計課	3001	ダイヤルイン
7	0	技術部・技術課	3002	タイヤルイン
8	0	資材部·購買課	4001	ダイヤルイン
9	0	資材部・資材課	4002	ダイヤルイン
10	100	間合せセンター	0123456789	ホイスワーフ
11				
12	1	2		
13		2		
14				
15				_
16		-	0	
17		-	0	-
18	-			_
19			5 	-
21				-
22				
23				-
24				
25				
26			0	
27				
28		A		
29			2	-
30				
31				
32				

# 登録内容を印刷する

Г

# ● メッセージ設定(1/2)

種類	ch	使用	メッセージ名	コメント
メッセージ	1	0	挨拶	挨拶
	2	0	総合案内	総合案内
	3	0	選択繰返	選択繰返
	4		終了案内	終了案内
8 +D ±= '¥	5		保留首 2011年1半安1011	(米留首)
出版版达	7		送伏転达条内 深识転送案由9	選択転送条内I 選切転送客由2
	8		選択転送来内2 選択転送案内3	湿炉新送来内2 湿炉新送客内3
	9	- <u> </u>	選択転送案内4	谓把転送室内4
	10		選択転送案内5	選択転送案内5
	11		選択転送案内6	選択転送案内6
	12		選択転送案内7	選択転送案内7
	13		選択転送案内8	選択転送案内8
	14		選択転送案内9	選択転送案内9
	15		選択転送案内10	選択転送案内10
	16	-	送扒転送案内11	送扒転送來内11
	17	-	送伏転送楽内12  翌44年:米安(h10)	送択転达来内12 2010 2010 2010 2010 2010 2010 2010 2
	18	-	送伏轄达条内13  湿切転送案由14	因扒瓶还未円13 湿切転送室由14
	20	-	2010年10月19 2011年2月15	(四)(14)(元水内14) 22(日前洋本内15)
	20	-	選択転送案内16	(四)(44)公束(7)(5) 選択転送率内16
	22	-	選択転送案内17	深祝新送家内17
	23	<u> </u>	選択転送案内18	選択転送案内18
	24		選択転送案内19	選択転送案内19
	25		選択転送案内20	選択転送案内20
クト転送	26		ダイレクト転送案内	ダイレクト転送案内
転送	27	0	ツリー1 案内1	ツリー1 案内1
	28	0	ツリー1 案内2 1	ツリー1 案内2 1
	29	0	ツリー1 案内2 2	ツリー1 案内2 2
	30	0	ツリー1 案内2 3	ツリー1 案内2 3
	31	<u> </u>	ツリー1 案内2 4	ツリー1 案内2 4
	32		ツリー1 案内2 5	(ツリー1 来内2 5
	33	<u> </u>	「ツリー1 茶内2 6	ツリー1 来内2 6
	34	<u> </u>	ツリー1 茶内2 7	- ジリー1 案内2 7
	35		ツリー 1 楽内2 8 シリレ 1 家内2 8	<u> ッリー1 条内2 8</u> シリレ 1 家内2 8
	27		フリー1 末内2 9	ツリー1 案内2 3 ツリー1 案内2 1-1
	38	1 ×	ツリー1 案内3 1-2	ツリー1 案内3 1-2
	39	1 ŏ	ツリー1 室内3 1-3	<u>ツリー1 案内3 1-3</u>
	40	ŏ	ツリー1 案内3 1-4	ツリー1 案内3 1-4
	41	Ť	ツリー1 案内3 1-5	ツリー1 案内3 1-5
	42		ツリー1 案内3 1-6	ツリー1 案内3 1-6
	43		ツリー1 案内3 1-7	ツリー1 案内3 1-7
	44		ツリー1 案内3 1-8	ツリー1 案内3 1-8
	45		ツリー1 案内3 1-9	ツリー1 案内3 1-9
	46	0	ツリー1 案内3 2-1	ツリー1 案内3 2-1
	47	0	ツリー1 案内3 2-2	ツリー1 案内3 2-2
	48	<u> </u>	ツリー1 案内3 2-3	ツリー1 来内3 2-3
	49	<u> </u>	ツリー1 茶内3 2-4	フリー1 乗内3 2-4
	50	-	フリー  茶内3 2-5	277-1 xtM3 2-5
	51	-	フリー  茶内3 2-6	シリー1 米内3 2-6 シリレー1 客内2 2-7
	52	-	127 1 宋内3 2-7	
	54		127 1 末H3 2-0 ツリー1 室内3 2-9	<u> ッリー1 家内3 2-9</u>
	55	0	ツリー1 室内3 3-1	<u>ツリー1 案内3 3-1</u>
	56	ŏ	ツリー1 案内3 3-2	ツリー1 案内3 3-2
	57	۲Ť	ツリー1 案内3 3-3	ツリー1 案内3 3-3
	58		ツリー1 案内3 3-4	ツリー1 案内3 3-4
	59		ツリー1 案内3 3-5	ツリー1 案内3 3-5
	60		ツリー1 案内3 3-6	ツリー1 案内3 3-6
	61		ツリー1 案内3 3-7	ツリー1 案内3 3-7
	62		ツリー1 案内3 3-8	ツリー1 案内3 3-8
	63		2011-1 友由2 2-0	ツリー1 本内3 3-9

# <page-header>

#### ● 選択転送(転送先設定)

選択転送 <sup>転送先設</sup>	定 選択転送バター	ン1	営業日昼間		V: ポイスワ D: ダイヤル H: フッキン	ファ 中別 イン ブ	イル名 : 選択転送12.27 日時 2007/01/26 09:11
選択番号	第1転送先		第2転送先		第3転送先	呼出案内	着信案内
1	総務部·総務1課	[D]	総務部·総務2課	[D]		使用しない	使用しない
2	営業部·営業1課	[D]	営業部·営業2課	[D]	営業部·営業3課 [D]	使用しない	使用しない
3	技術部·設計課	[D]	技術部·技術課	[D]		使用しない	使用しない
4	資材部·購買課	[D]	資材部·資材課	[D]		使用しない	使用しない
						使用しない	使用しない
						使用しない	使用しない
						使用しない	使用しない
						使用しない	使用しない
						使用しない	使用しない
未選択	総務部·総務1課	[D]				使用しない	使用しない

選択転送パターン2 営業日夜間

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
1	総務部・総務1課 [D]			使用しない	使用しない
2	営業部·営業1課 [D]			使用しない	使用しない
4	資材部·購買課 [D]			使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
未選択	営業部·営業1課 [D]			使用しない	使用しない

選択転送パターン3 休日

選択番号	第1転送先		第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
3	総務部·総務1課	[D]			使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
					使用しない	使用しない
未選択	切断				使用しない	使用しない

## ● ツリー転送(転送先設定)

●メッセージ設定(2/2)

ソリー転送 転送先習	また 設定 ツリー転送パターン1 [楽	内1]:ツリー転送パターン1	V:ボイスワ D:ダイヤル H:フッキン 未選択	ファイ ープ 印刷 イン ゲ	・ツリー転送12.26 日時 2007/01/26 09:15
選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
ats 192 HD	切断			使用しない	使用しない

#### ツリー転送パターン1 [案内1]:ツリー転送パターン1 [案内2]:1 [案内3]:1 - 1 3階層転送

選択番号	第1転送先		第2転送先		第3転送先	呼出案内	着信案内
1	営業1課鈴木	[D]	営業1課青木	[D]	営業1課安藤 [D	〕使用しない	使用しない
2	営業1課青木	[D]	営業1課安藤	[D]		使用しない	使用しない
3	営業1課安藤	[D]				使用しない	使用しない
4						使用しない	使用しない
5						使用しない	使用しない
6						使用しない	使用しない
7						使用しない	使用しない
8						使用しない	使用しない
9						使用しない	使用しない

	ツリー転送パターン1	[案]	カ1]:ツリー転送パターン1	[案内2]:1 [案内3]:1 -	2 3階層直接転送	
選択番号	第1転送先		第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
	00センター	[V]			使用しない	使用しない

## 登録内容を印刷する







● 年間タイマー(特定日一覧)



# メッセージカードを編集する

◎ 本体装置で録音した各種の案内メッセージを制御用パソコンに保存したり、制御用パソコンの音声ファイルをメッセージ用メモリーカード(JFC-60M)に書き込むなどの操作ができます。 メッセージ用メモリーカードをカードライトアダプタ(CWA-100)にセットしておいてください。

# ■ メッセージカード編集画面の呼び出し

【トップ画面】の [メッセージカード編集] ボタンをクリックします。



メッセージ用メモリーカードをセットして、[OK] ボ

タンをクリックしてください。

# 1. メッセージを読み込む

◎ メッセージ用メモリーカードに保存されているメッセージを読み込み、制御用パソコンのハードディスクや外部のメモ リーに書き込みます。

メッセージをバックアップ保存したり、別のメッセージ用メモリーカードにバックアップしたメッセージを書き込んで、 メッセージ用メモリーカードをコピー作成するときなどに行います。



- ① カード名を確認します。
  - 読み込みするカードの名前を表示します。カード名は[編 集] ボタンで編集することができます。



② カード情報のメッセージー覧で、メッセージ用メモリー カード内のメッセージのチャンネル、録音の有無、録音 時間を確認します。



- ・チャンネル番号 :メッセージのチャンネル番号です。
- ・メッセージ名 :各メッセージに付けられたメッセージ名(固定)です。
- ・録音時間
   :メッセージの録音時間です。0秒
   と表示されたメッセージは、録音
   されていません。
- ・スクロールバー :ドラッグしてメッセージの表示を
   上下します。
- メッセージの再生と消去
   メッセージー覧でメッセージを選択して、再生確認と不要なメッセージの消去ができます。

● 再生するとき



# メッセージカードを編集する

#### ● 消去するとき



・メッセージ用メモリーカード内の該当メッセージが消去され、録音時間が0秒になります。

#### ● カード内のメッセージをすべて消去するとき



・メッセージ用メモリーカード内のすべてのメッセージ
 が消去され、録音時間が0秒になります。

④ メッセージを読み込むフォルダを作成します。
 メッセージの保存場所は、[参照] ボタンをクリックして自由に選べます。「○○用メッセージ」などのフォル



⑤「個別/一括」タブで「一括」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。 メッセージ用メモリーカードからのメッセージ読み込みは、一括で行います。個別(メッセージごと)ではできません。



- ・メッセージ用メモリーカード内の録音されているメッセージが、自動的にファイル名を付けて保存されます。
- ・ファイル名は、各メッセージのチャンネル番号が割り
   当てられ「ch \*\*\* .wav」となり、録音時間と共にメッセージー覧に表示されます。



# 2. メッセージを書き込む

- ◎ 制御用パソコンのハードディスクや外部のメモリーに保存されているメッセージを、メッセージ用メモリーカードに書 き込みます。外部で録音したメッセージを使用して応答転送動作などを運用したいときや、メッセージ用メモリーカー ドをコピー作成するときなどに行います。
- メッセージを一括で書き込む



① フォルダの参照

書き込みするメッセージが保存されているフォルダを開 きます。



②「個別/一括」タブで「一括」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。



・PC 情報のメッセージ一覧で、フォルダ内のファイル 名、録音時間を確認します。



- ・録音時間 : メッセージの録音時間です。
- ・スクロールバー :ドラッグしてメッセージの表示を 上下します。

③ メッセージの再生

メッセージー覧でメッセージを選択して、再生確認がで きます。

するメッセージチャンネルに書き込まれます。



(メッセージ用メモリーカード:JFC-60M)

■ メッセージを個別に書き込む



① フォルダの参照

書き込みするメッセージが保存されているフォルダを開 きます。



②「個別/一括」タブで「個別」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。



 PC 情報のメッセージー覧で、書き込みするファイル を選択して、クリックします。



- ファイル名 :各メッセージに付けられたファイル名です。
- ・録音時間 :メッセージの録音時間です。

③ メッセージの再生

選択したメッセージの再生確認ができます。



⑤ [カード← PC] ボタンをクリックします。 ① [カード← PC] ボタンをクリックします。 個別一括 メッセージー覧 個別 錄音時間 5 秒 挨拶.wav 4 接接war
 呼出来内1.wav
 除了案内wav
 遂行案内awav
 還抗案内2.wav
 還抗案内3.wav
 還抗案内3.wav
 還抗案内3.wav
 還抗案内3.wav
 還抗案内4.wav
 還抗素内4.wav
 還抗基本内3.wav
 電抗基本内3.wav
 電流素力
 電流素力
 電流素力
 電流素力
 電流素力
 電流素力
 電流素力
 電流素力 カード ← PC 一括 33 원 18 원 10 원 6 원 **444** 010 81秒 31秒 5秒 7秒 ※書き込みするチャンネ ルに録音があるときは、 1ch '挨拶'に'挨拶 wav' を書き込みますか? 上書き確認の画面を表 示します。 (100 COURCE) ②[はい] ボタンを / クリックします。 処理中 カードに書き込み中です 書き込みを開始します。 ータが壊れる恐れがありますので、 44% ※書き込み終了の表示です。 一一 カード情報 編集 メッセージー覧 徐音時間 ▲
 5 秒
 ○ 
 ch
 :

 1
 挨拶

 2
 総合案内

 3
 選択編返

 4
 終了案内

 5
 保留知道
 2分20秒 
 5
 保留音

 6
 違択転送案内1

 7
 違択転送案内2

 8
 違択転送案内3

 9
 違択転送案内4

 10
 違択転送案内5

 11
 認知#2素素
 6秒 4秒 33秒 7秒 7秒 6秒 0秒 0秒 
 11
 選択転送案内6

 12
 選択転送案内7

 13
 選択転送案内8

 14
 選択転送案内9

 15
 選択転送案内10
 010 0秒 0秒 ▶ □ 消去 錄音残り時間 24分43秒

STOP お願い ● メッセージ用メモリーカードに書き込みできる音声 ファイルは、次の形式の wav ファイルのみです。 ・形式:µ-law ・属性:8kHz、8ビット、モノラル 外部でメッセージを録音して、本システムで利用する 場合は、この規格で wav ファイルを作成してください。 。 ワンポイント ● メッセージは、合計で最大60分まで書き込みできます。

1 チャンネルあたりの書き込み時間は最大8分まで自由に書き込みできます。
 (メッセージ用メモリーカード: JFC-60M)

# 本体装置をモニターする(LAN)

 ◎ IVR-2430本体装置と制御用パソコンがLAN 接続されているときは、制御用パソコンのディスプレイで本体装置の着信 状況などをモニターすることができます。あらかじめ、本体装置と制御用パソコンにLAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」(34 ページ)、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登 録について」(61 ページ)を参照してください。

# ■ モニター画面の呼び出し

【トップ画面】の[モニター] ボタンをクリックします。



[戻る]小ダン 【トップ画面】に戻ります。

# 1.動作モニター画面

本体装置の各回線の着信状態や、通話状態などがモニターできます。



- ①【モニター】画面の [動作モニター] タブをクリックします。
  - ※【トップ画面】から最初に開いたときは【動作モニター】 画面になっています。
- ②[アイコンの説明]ボタンをクリックすると、【回線状態 表示一覧】画面を表示します。



・待機中:

回線は発着信なしで待機中の状態です。

・着信中(点滅):

電話が着信中の状態です。アイコンが黄色で点滅し ます。

・装置応答中:

本体装置がメッセージなどで応答中の状態です。ア イコンが黄色で点灯します。

・通話中:

通話中の状態です。アイコンが青色で点灯します。

・お待たせアラーム(点滅):

お待たせモードで、アラーム鳴動状態です。アイコ ンが黄色と赤で交互に点滅します。 お待たせ中のアラーム音はパソコンのスピーカから

間こえます。

・最古着信(点滅):

お待たせモードで、お待たせ中の回線のうち最も古 い着信回線が赤色で点滅します。

- ・回線未接続:
   本体初期設定の個別回線設定で、使用回線として
   チェックされているのに、回線が接続されていない
   か断線しているなどの状態です。回線の接続または
   設定データを確認してください。
- ③モニター中の本体装置の情報を表示します。装置番号、 装置名と現在の動作モード、および応答状態、タイマー 状態を表示します。 応答セット中およびタイマーセット中は、赤色の文字に

心台ビット中のよびメイマービット中は、赤色の文子になります。

# 本体装置をモニターする(LAN)

④ 「動作モード変更〕 ボタンをクリックして、制御用パソ コンから本体装置のマニュアル動作モードの変更、応答 セット/解除、タイマーセット/解除の操作ができます。



(a) 応答のセットと解除を行います。



タイマーセット/解除 《タイマーセットする場合》 タイマー解除中 ① タイマー解除中に [セッ ト] ボタンをクリックしま セット す。 ※ タイマーセットの確認 画面を表示します。 タイマーセットしますか? ②[はい] ボタンを、 クリックします。 - 13L10 [[[[]] タイマーセット タイマーセットになります。 解 除 タイマーセット/解除 《タイマー解除する場合》 ① タイマーセット中に [解 除] ボタンをクリックし 、解 除 ます。 ※タイマー解除の確認画面 を表示します。 ②[はい] ボタンを、 タイマー解除しますか?

(b) タイマーのセットと解除を行います。

# 本体装置をモニターする(LAN)



# 2. 件数モニター画面

本体装置の着信件数や、応答件数などがモニターできます。また、件数カウントのクリア条件などを設定します。

(1)	か- 動作モニター 件数モニター		
	モニター期間 2007年01月07日 00:00 /	~ 2007年01月11日 14:35	
2	着信件数	256 件	
	応答件数	215 件	
3	応答率	84 %	
	即時応答率	72 %	
	放棄件数	41 件	
	最大待ち時間	1分45秒	
	平均待ち時間	38 秒	
4	応答専用件数	78 件	(5)
	モニター設定	全件数クリア	
		長る	[戻る]ボタン
_			【トップ画面】に戻ります。

/ [印刷]ボタン 件数モニターをプリンタに出力 するときにクリックします。

①【モニター】画面の[件数モニター]タブをクリックします。

・【件数モニター】画面を表示します。

② モニター期間

前回、件数クリアを行った年月日時刻から、現在までの 期間を表示します。現在時刻は本体装置の時刻に合わせ て進みます。

モニター期間	2007年01月07日 00:00	$\sim$	2007年01月11日 14:35
	/ 前回、件数クリア をした年月日時刻		/ 現在の年月日時刻

③着信件数などをリアルタイムで表示します。

各件数は、使用しているすべての回線の合計件数です。

着信件数	256 件
応答件数	215 件
応答率	84 %
即時応答率	72 %
放棄件数	41 件
最大待ち時間	1分45秒
平均待ち時間	38 秒
応答専用件数	78 件

・着信件数:

178

選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせ の各動作モードで、電話着信した総件数です。 ・応答件数: 選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせ

の各動作モードで、呼出先が応答した件数です。

- ・応答率:
- 着信件数に対する、応答件数の割合です。
- 「応答件数」÷「着信件数」×100(%)
- ・即時応答率:

応答件数に対する、即時応答件数の割合です。

- 「即時応答件数」÷「応答件数」×100(%)
- ※ 即時応答件数は、電話着信時に本体装置が自動応 答する前に応答した件数です。(ベル中呼出設定が 「する」の場合)
- ・放棄件数:

選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせの各動作モードで、転送完了しなかった件数です。
 ※転送中にお客様が電話を切った場合、不応答や話中で通話にならずに回線を開放した場合です。

🚽 ワンポイント ● 着信件数は、応答件数と放棄件数の合計になります。 ● モニターの件数表示は、着信件数が最大7桁でその ほかは最大6 桁まで表示します。 ● モニターの時間表示は、「時間/分/秒」で表示し、 時間の最大表示は15時間0分0秒までです。 ● モニター表示データは1時間ごとに本装置内にバック

アップ保存されます。停電があると、前回のバックアッ

プから停電発生までのデータは消去されます。
- ・最大待ち時間: お客様が、転送中やお待たせで待っていた最大の時 間です。
- ・平均待ち時間:
   待ち時間の平均値です。
   「待ち時間の合計」÷「待ち時間が発生した件数」
   ・応答専用件数:

応答専用モードで、本体装置が自動応答してメッセー ジを送出した件数です。

④ [モニター設定] ボタンをクリックすると、【モニター設定】 画面を表示します。

【件数モニター】画面に表示される表示名の変更や、お 知らせ条件の設定および自動件数クリアの設定ができま す。





- (a) 【モニター設定】画面の [表示名/お知らせ条件] タ ブをクリックします。
  - ※[モニター設定]ボタンを押したときは【表示名/ お知らせ条件】画面を表示します。
- (b)表示名の変更、数値と条件の設定を行います。



- ・表示名は、半角全角共に最大6文字まで入力できます。
- ・条件は、「設定数値以上でお知らせする」、「設定数値 以下でお知らせする」および「お知らせ表示しない」 から選択します。

#### - お知らせ表示について ―

お知らせ表示を設定すると、該当の項目で数値が設定条 件になると、【件数モニター】画面の項目欄が赤色で点 滅してお知らせします。

・応答率の設定数値が90%で、条件が「以下」の場合に、 次のように点滅表示します。

着信件数	256 件
応答件数	215 件
応答率	84 %
即時応答率	72 %
放棄件数	41 件
最大待ち時間	1分45秒
平均待ち時間	38 秒
応答専用件数	78 件

(c) [表示名をすべて初期値にする] ボタンをクリックす ると、変更した表示名を最初の名前に戻すことがで きます。

<ul> <li>● 待ち時間のカウント条件について 待ち時間は、動作モードによって次のようにカウント します。</li> <li>◆ 選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送 お客様が転送先を選択してから、通話または放棄に</li> </ul>
なるまでの時間をカウントします。 ◆ お待たせ ・通常 / コールスクリーニング
電話着信から、通話または放棄になるまでの時間 をカウントします。 ・選択呼出
お客様が選択呼出信号を入力してから、通話また は放棄になるまでの時間をカウントします。

● 自動件数クリアの設定



- (a) 【モニター設定】画面の [自動件数クリア] タブをク リックします。
  - ・【自動件数クリア】画面を表示します。
- (b) 件数のクリアを自動で行わない場合は、「クリアしな い」をクリックします。



(c)件数のクリアを自動で行う場合は、「クリアする」を クリックします。



⑤[全件数クリア]ボタンをクリックすることにより、手動での件数クリアができます。



# ● 件数モニターの印刷例

着信件数         10.000 CML           花信件数         256 件         なし           応答率         84 %         90%以下           即時応答率         72 %         80%以下           放棄件数         41 件         なし           最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           応答専用件数         78 件         なし	装置名: タカコム1	住物	お知らせ条件
応答件数         215件         なし           応答率         84 %         90%以下           即時応答率         72 %         80%以下           放棄件数         41件         なし           最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           応答専用件数         78 件         なし	着信件数	256 件	なし
応答率         84 %         90%以下           即時応答率         72 %         80%以下           放棄件数         41 件         なし           最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           応答専用件数         78 件         なし	応答件数	215 件	なし
即時応答率         72 %         80%以下           放棄件数         41 件         なし           最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           応答専用件数         78 件         なし	応答率	84 %	90%以下
放棄件数         41 件         なし           最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           広答専用件数         78 件         なし           *         :5知6世条件を満たしている項目です。	即時応答率	72 %	80%以下
最大待ち時間         1分45 秒         5分 0秒以上           平均待ち時間         38 秒         2分 0秒以上           応答専用件数         78 件         なし   *	放棄件数	41 件	なし
平均待ち時間     38 秒     2分 0秒以上       応答専用件数     78 件     なし		1公45 秒	
<u>応答専用件数 78件 なし</u> ※ : 5知らせ条件を満たしている項目です。	最大待ち時間	1月45 夜夕	5分 0秒以上
※ お知らせ条件を満たしている項目です。	最大待ち時間 平均待ち時間	38 秒	5分 0秒以上 2分 0秒以上
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※ あ知らせ条件を	38秒 38秒 78件 満たしている項目です。	5770秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※	17,13 か 38 秒 78 件 満たしている項目です。	5770秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※ : お知らせ条件を	17,43 校 38 秒 78 件 満たしている項目です。	<u>37</u> 0秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※ 2010 :お知らせ条件を	17,1-3 か 38 秒 78 件 満たしている項目です。	<u>37</u> 0秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※	17,13 か 38 秒 78 件 満たしている項目です。	<u>57</u> 0秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※ まわらせ条件を	17,13 か 38 秒 78 件 満たしている項目です。	<u>57</u> 0秒以上 2分0秒以上 なし
	最大待ち時間 平均待ち時間 応答専用件数 ※ wwww.tkm6t&ff8	17,143 存 38 秒 78 件 満たしている項目です。	<u>57</u> 0秒以上 2分0秒以上 なし

# 着信応答データの集計/確認

- ◎ 本体装置でカウントした着信件数・応答転送件数などのデータが、Excel ファイルに変換されて確認できます。 着信応答データは、登録・集計用メモリーカードから、または本体装置から LAN 経由で制御用パソコンに読み込んで集 計し保存します。
- ◎ 本体装置でのデータ集計は、「本体初期設定 集計設定」の時集計・日集計・週集計・月集計の設定(集計する/しない)で、 集計するとした項目について行われます。ここで作成されたデータファイルを制御用パソコンに読み込んで集計します。

# ■ 集計画面の呼び出し

【トップ画面】の[集計] ボタンをクリックします。



集計ファイルの保存先

- 集計データのファイルを保存する場所を設定します。
- ※ 最初は自動的に、本ソフトのインストール先に「集計ファイル」 のフォルダを作成します。



― 🚽 ワンポイント

- カードからデータの集計を行うと、カード内のデータ は消去されます。
- LAN 経由でデータの集計を行うと、本体装置内のデー タは消去されます。

\_\_\_\_\_

ー 🛃 ワンポイント

● 1台の本体装置の着信応答データ集計は、1台の制御 用パソコンで行ってください。複数の制御用パソコン で集計すると、データが分割されて正確な集計ができ ません。

# 1. 集計ファイルの保存先

◎ 制御用パソコンに読み込まれた集計データを保存する場所を設定します。 最初は本ソフトのインストール先に「集計ファイル」のフォルダを作成します。

### ● インストール後の保存先の例

※最初に作成された、「集計ファイル」フォルダ



### ●「集計ファイル」フォルダの構成

集計を行うと、この「集計ファイル」フォルダの下に、 自動的に「装置名(未登録の場合は装置番号)」の名前 でフォルダが作成されます。

さらに、「装置名」フォルダの下に、「時集計」「日集計」「週 集計」「月集計」「臨時集計」のフォルダが作成され、そ の中に Excel ファイルが作成されます。



ルが作成されます。

- ・「時集計」「日集計」「週集計」「月集計」のフォルダは、「本 体初期設定 - 集計設定 - 集計動作」で「する」と設定し た項目が作成されます。
- ・「臨時集計」のフォルダは、臨時集計を行ったときに作 成されます。



### ● 保存先を変更する場合

集計ファイルの保存先を変更する場合は、【集計】画面 の[保存先の変更]ボタンをクリックして、保存先のド ライブとフォルダを指定します。

① [保存先の変更] ボタンをクリッ クレキオ
2063.
集計 集計ファイルの/採得先 [CVPFoream FilestTal.acomWUVF-2430 POソフトV集計ファイル カードから集計
千部実計     カード集計     てたま
※【フォルダの参照】 ↓ ■面を表示します。
② フォルダを作成 NAME AND A CONTRACT OF CONTRACT.
選択して、L新し いフォルダの作
成]ボタンをク
リックします。
MUDIARENES avita
《保存先がデスクトップの例》
※新しいフォルダ ##17/160#####UT750
かできます。 ************************************
BLCOMASEMBLY OK AV-200
↓
③ フォルダの名前を 変えて、[OK]ボタ ンをクリックしま す。
表計ファイルの保存先 ChiDocuments and Satting Masses TOYTEデフクトープが集計ファイル (2014年の2013年)
- カードから来計
カード集計         + 10/米&T
自動業計
戻る

# 2. メモリーカードから集計する

◎ 登録・集計用メモリーカードに書き込まれたデータを集計します。あらかじめ本体装置で、集計データの出力を行って ください。「装置編 - 集計データについて -2. 集計データの出力」(48 ページ)を参照してください。

- ①集計データを書き込んだ登録・集計用メモリーカードを、
- カードライトアダプタ(CWA-100)にセットします。
- ②【集計】画面の [カード集計] ボタンをクリックします。



# 3.本体装置から集計する (LAN)

◎ LAN 接続された IVR-2430 本体装置の着信応答データを直接集計します。集計方法には、任意の日時に集計する手動集計と、設定した日時に自動的に集計する自動集計の2種類があります。あらかじめ、IVR-2430本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」(34 ページ)、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」(61 ページ)を参照してください。

# ■ 手動集計

①【集計】画面の[手動集計]ボタンをクリックします。



②【手動集計】画面で、集計するファイルの種類をクリックしてチェックし、[集計開始] ボタンをクリックします。



- (a) 集計のため LAN 接続した本体装置の装置番号と装置名を表示します。
- (b) 集計するファイルの種類(定時集計/臨時集計)を クリックして選択します。定時集計は、時集計・日 集計・週集計・月集計の各集計ごとに集計するファ イル数を表示します。



- (c)本体装置の状態が、「集計できます」となっているこ とを確認します。
- (d) [集計開始] ボタンをクリックします。



・集計データを確認するときは、フォルダを選択して、フォルダ内の Excel ファイルを開いてください。
 詳細は、「データ編 - 着信応答データの集計/確認-4.集計データを確認する」(189ページ)を参照してください。



③再度データを集計してください。

#### ■ 自動集計

- 自動集計をセットするとき
- ①【集計】画面の[自動集計]ボタンをクリックします。



・【自動集計】画面を表示します。

②【自動集計】画面で、集計対象とする本体装置や集計日時を設定します。



- (a) 現在の自動集計動作の状態を表示します。例は「解 除中」で自動集計は行いません。
- (b) 自動集計を行う本体装置の「対象」欄をクリックしてチェックを付けます。最大 100 台までの装置が 自動集計の対象として選択できます。

装置番号	装置名	対象 📤	集計対象とする
001	タカコム1		装置をクリック
002	タカコム2		 
003	タカコム3		
			最大100台まで
		•	の装置が選択で
			きます。

・自動集計では、LAN 上に複数の本体装置が接続されている場合、選択した任意の装置を「装置情報登録」で登録した順に集計することができます。集計ファイルは、各装置ごとに装置名を付けたフォルダに作成されます。

(C)集計時間を、毎時/毎日/毎週から選択して指定し ます。



- ・時刻は、キーボードからの入力または [▼/▲] をク リックして設定します。「毎時」は分、「毎日」は時・ 分、「毎週」は曜日と時・分を設定します。
- (d) [自動集計セット] ボタンをクリックします。



# 🚽 ワンポイント

- 制御用パソコンで集計した時集計・日集計・週集計・ 月集計のデータは、集計のたびに各ファイルに追記さ れます。
- 自動集計セット中は、カード集計および手動集計はで きません。
- 自動集計セット中は、装置情報登録および集計ファイ ル保存先の変更はできません。

## ● 自動集計機能が動作中は ・・・・

① 自動集計がセットされると、【トップ画面】に「自動集計セット中」と表示されます。また、タスクトレイに自動集計のアイコンが表示されます。



② 自動集計を開始すると、[自動集計アイコン]に「IVR-2430 自動集計ソフト 集計開始」の案内が表示されます。 また、【トップ画面】に「自動集計中」と表示されます。





ダを信頼できる場所として指定してください。

 ② 再度自動集計をセットしてください。

# 着信応答データの集計/確認

③ 自動集計が正常に終了すると、[自動集計アイコン] に 「IVR-2430 自動集計ソフト 集計終了」の案内が表示さ れます。また、【トッブ画面】の表示は「自動集計セット中」 に戻ります。



④「自動集計セット中」に、タスクトレイの〔自動集計アイ コン〕をクリックすると、【IVR-2430 自動集計】画面を 表示し、直前の自動集計の結果などが装置ごとに確認でき ます。また「自動集計中」にクリックした場合は、画面内 のステータスに集計動作の経過を順次表示します。



- (a) データ集計を行った本体装置の装置番号です。
- (b) データ集計を行った本体装置の装置名です。
- (c) データ集計の結果などを表示します。「自動集計中」 の場合は、集計動作の経過などを表示します。
- (d) データ集計の開始時刻を表示します。
- (e) データ集計の終了時刻を表示します。
- (f)次のデータ集計日時を表示します。
- (g) データ集計結果のログを表示します。
  - 【IVR-2430 自動集計】画面を終了するには、画面右 上の[最小化] ボタンをクリックします。

#### ● 自動集計を終了するとき

自動集計を終了するときは、【自動集計】画面で[自動 集計解除]ボタンをクリックします。



タフンポイント -

- 自動集計をセットしたときは、制御用パソコンを再起 動しても再セットの必要はありません。
- 制御用パソコンの電源が入っていないときは集計を行 いません。
- データ入力ソフトで、本体装置のモニターや登録デー タの書き込みを行っているとき、および本体装置を操 作しているときは自動集計を行いません。その回はキャ ンセルされて次回の自動集計時間に行います。

- STOP お願い

● 自動集計セット中は制御用パソコンのログインユー ザーを変更しないでください。自動集計をセットした ユーザーとは別のユーザーに切り替えた場合は、自動 集計を行いません。

# 4. 集計データを確認する

◎ 制御用パソコンに保存した集計データファイルを開いて確認します。

## ■ 集計ファイルフォルダの呼び出し

制御用パソコンで、データの集計時に作成した集計ファイル用フォルダを呼び出して開きます。

## ● 呼び出しの例:本ソフトから呼び出す場合



## ■ 集計の種類

着信応答データの集計には、下表の種類があります。

[	集	計方法						
ſ	ŧł.	時集計						
	時	日集計	同約別	同絶グループ団	<b>転</b> 洋生 11	强切标送生时	11 転送生即	   \/   \/ +
	集	週集計	山水川	国際ワルノ加 作品	44区九別 作計	医扒知区儿別	ノリ和区ル別 佐乱	
	計	月集計	朱司	朱司	朱司	朱司	朱司	
	臨	時集計						

# **クレポイント**

● Excel ファイルに表示される内容について

Excel ファイルに表示される内容は、「本体初期設定 - 集計設定 - 集計表示」の設定「する/しない」によって変わります。 以降の説明では、すべての項目を集計表示「する」に設定した場合で説明しています。

実際に使用される場合には、運用する動作モードで必要な項目のみを集計表示「する」に設定すると、不要な項目が 非表示となり、集計表が見やすくなります。また、表示しないとした項目についても Excel で再表示の操作を行えば 表示されます。

● 各項目の件数は、約21 億件までカウントします。

# 着信応答データの集計/確認



# 4-1 定時集計データ

時集計・日集計・週集計・月集計の定時集計データを、制御用パソコンのディスプレイに表示して確認します。

## ■ 時集計

## ● 回線別集計

【回線ごとのデータ集計表の例】



《集詞	、集計県日:心谷・転达七一ト》												
	応答・転送モード												
	公美信	選	選択		ツリー		ダイレクト		本体応答中	即時			
	総宿信	転送	転送未	転送	転送未	転送	転送未	転送	放棄	応答	放棄		
	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	(10)	(1)		

① 総着信 …………各動作モードで、回線ごとまたは全回線の着信の総数。

② 選択・転送・・・・・・・・・・選択転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第1転送先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第2、第3の転送先で応答した場合も含みます。
 ③ 選択・転送未・・・・・・・・選択転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄などで応答しなかった件数。

④ ツリー・転送・・・・・・・ツリー転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第1転送 先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第2、第3の転送先で応答した場合も含みます。

⑤ ツリー・転送未 ・・・・・・ツリー転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄など で応答しなかった件数。

⑥ダイレクト・転送・・・・・ダイレクト転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第1 転送先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第2、第3の転送先で応答した場合も含 みます。

⑦ ダイレクト・転送未・・・・ダイレクト転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄 などで応答しなかった件数。

⑧ 無条件転送 …………無条件転送モードで、転送した件数。

⑨ 本体応答中放棄 ・・・・・・各動作モードで、本装置が応答後、転送先を選択しないでお客様が放棄した件数。

(転送先が誤入力されたため、本装置が回線を切断した件数も含まれます。)

 ⑩ 即時・応答・・・・・・・・・・・・各動作モードで、本装置が応答する前に転送先が応答した件数。(「着信設定 - ベル中呼出」 設定が「する」の場合にカウントされます。)

# 着信応答データの集計/確認

(集計項目:お待た	:せモード》				]		
	-1- 44	お待たせモード		÷			
総着信	応答 即時 % 本	5 :体応答中 %	放 	棄 本体応答中 %			
1 (2	2)	3	(4)	5			
① 総着信 ··		・・・・回線ごと	または全回	線の着信の総数			
<ol> <li>② 応答・即</li> </ol>	時	····本装置か	「応答する前	「に呼出先が応答	、 答した件数	<b>汝。呼出先が複数</b>	登録されている場合、第1
O /OIL II	5	出先が不	応答や話中	などで、追っフ	かけ転送と	こなり第2、第3	の呼出先で応答した場合も
		みます。	(%:総着伯	言件数に対する	割合)		
③ 応答・本	:体応答中・・	・・・・本装置カ	「応答したあ	るとに呼出先が	芯答した修	牛数。呼出先が褚	夏数登録されている場合、第
		呼出先カ	『不応答や詞	i中などで、追 <sup>-</sup>	っかけ転送	送となり第2、第	3の呼出先で応答した場合
		含みます	-。(%:総着	<b>音信件数に対す</b>	る割合)		
④ 放棄・即	時 · · · · · ·	・・・・本装置が	「応答する前	にお客様が放棄	<b>€した件数</b>	。(%:総着信件	数に対する割合)
⑤ 放棄・本	:体応答中・・	・・・・本装置が	「応答したあ	とにお客様が放	x棄した件	数。(%:総着信	件数に対する割合)
	・セモード 時	間明細》 1/2					
						お待たせ時間明細	
10秒 9	即時応答 6 20秒	: % 20秒以上 %	5 10秒 0	応 20秋 %	答 30秒 0	26 30秒以上 96	●集計単位時間は、「本体
(A)	(7)			(10)	(11)	(12)	初期設定 -1-3 集計設定
	U	0	9				
【集計項目:お待た	もせモード 時	間明細》 2/2					(12ヘーシ)で設定し
お待たせ時間明	月細			++	जंह		た時间です。
10秒 %	即時放棄 6 20秒		5 10秒 9	版 % 20秒 %	業 30秒 9	% 30秒以上 %	● 左の例は、谷頃日の当 計単位は開た 10 秒
(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	計単位時间を10秒0
		(%:即	時応答件数は	こ対する割合)			
0 11 9/01	<u> </u>	(%:即	時応答件数は	こ対する割合)			
⑧ 即時応答	第2区分以	降・・本装置か	「応答する前	に呼出先が応答	らした件数	で、(集計単位時	間×2)秒以降の件数。
		(%:即)	時応谷件数() 、亡なし <i>もも</i>	こ対する割合)			
⑨ 応答第 1	区分 · · · · ·	···· 本装直の	心谷したあ	とに呼出先かん	*浴した件	一致で、(集計単位	時間×1) 秒以内の件数。
① 古文第 0	区公	(%・41	本応合甲応る でなしたお	5件数に灯9 る; とに哑中生がは	刮台) □攵   たみ	***ズ (作計単位	時間>2)秒回内の供物
⋓心合弟∠	ДЛ	(%·太)	小台しため 休広な山広な	を作りたかれて なた なんしん なんしょう しんしょう しんしょ しんしょ	るし/ごH 割合)	一致 (、 (未前 半位	.时间个乙/沙以内07叶级。
① 広答第 3	区分	(70・平)	本心合て心ら が広答したあ	とに呼出先が応	「白」	数で (隼計単位	時間×3)秒以内の件数。
	<u> </u>	(%:本(	体応答中応経	今件数に対する     日本の     二	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	xx (	
12 応答第3	区分以降・・	・・・・本装置か	応答したあ	とに呼出先が応	答した件	数で、(集計単位	時間×3)秒以降の件数。
		(%:本1	体応答中応智	答件数に対する	割合)		
⑬ 即時放棄	第1区分・・	・・・・本装置が	応答する前	にお客様が放棄	€した件数	で、(集計単位時	間×1)秒以内の件数。
		(%:即日	時放棄件数に	こ対する割合)			
⑭ 即時放棄	第2区分…	・・・・本装置が	応答する前	にお客様が放棄	<b>した件数</b>	で、(集計単位時	間×2)秒以内の件数。
		(%:即日	時放棄件数に	こ対する割合)			
⑮ 即時放棄	第2区分以	降・・本装置が	応答する前	にお客様が放棄	<b>€した件数</b>	で、(集計単位時	間×2)秒以降の件数。
		(%:即日	時放棄件数に	こ対する割合)			
⑩ 放棄第1	区分 · · · · ·	・・・・本装置が	「応答したあ	とにお客様が放	x棄した件	数で、(集計単位	時間×1)秒以内の件数。
		(%:本1	体応答中放到	律件数に対する	割合)		
⑰ 放棄第2	区分	・・・・本装置が	応答したあ	とにお客様が放	<b>x棄した件</b>	数で、(集計単位	時間×2)秒以内の件数。
<u> </u>		(%:本1	体応答中放到		割合)		
18 放棄第3	区分・・・・・	・・・・本装置か	応答したあ	とにお客様が放	マ棄した件	数で、(集計単位	時間×3)秒以内の件数。
		(%:本1	本応答中放到	●件数に対する	割合)	¥L /# 1 \// !!	
⑲ 放棄第3	区分以降…	····本表置が	い心谷したあ	とにお各様が放	∢乗した件		時间×3)秒以降の件数。
		(%:本1	4 心合中放到	#IF:釵に对する	刮谷)		



① 総着信 …………回線ごとまたは全回線の着信の総数。
 ② ベル着信中放棄 ……本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。
 ③ 本体応答 ………本装置が応答してメッセージを案内した件数。

《集計	†項目:その他》				
		<del>7</del> 0			
	通話時間 通話回数		通話時間 通話回数 全回線話中時間		
	1	2	3	4	
(1	)通話時間・・		応答モード中	に、発信およ	
2	)通話回数 · ·		応答モード中	に、発信およ	び着信で通話した累計回数。
3	)全回線話中間	寺間・・・・・・	応答モード中	に、全回線が	「同時に使用中の累計時間。
			(回線設定で	「使用する」。	とした全回線を対象とする。)
(4	)全回線話中回	回数 • • • • • • •	応答モード中	に、全回線同	時使用が発生した回数。
			(回線設定で	「使用する」。	とした全回線を対象とする。)

「お待たせトラフィック集計機能」の集計項目について お待たせモードで「トラフィック集計機能:使用する」に設定されている場合は、集計データは次のような集計項目で 集計されます。 ① 総着信 …………回線ごとまたは全回線の着信の総数。 《集計項目:お待たせトラフィック集計機能時》 ② 応答 …………電話着信に応答した件数。 お待たせモード 放棄 (%:総着信件数に対する割合) 応答 総着信 件数 件数 % ③ 放棄 …………電話に応答する前にお客様が電話を切った (2)(3) (1)件数。(%:総着信件数に対する割合) 《集計項目:お待たせトラフィック集計機能時 時間明細》 1/2 お待たせ 応答 10秒 % 20秒 % 30秒 % 40秒 % 50秒 % 60秒 % 60秒以上 % (5) (6) (10) (4) (7)(8) (9) 《集計項目:お待たせトラフィック集計機能時 時間明細》 2/2 時間明細 放棄 10秒 % 20秒 % 30秒 % 40秒 % 50秒 % 60秒 % 60秒以上 (12) (13) (14) (17) (11)(15) (16) ④ 応答第1区分 ·····・・ 電話着信に応答した件数で、(集計単位時間×1) 秒以内の件数。 (%:応答件数に対する割合) ⑨応答第6区分・・・・・・・電話着信に応答した件数で、(集計単位時間×6)秒以内の件数。 10 応答第6区分以降・・・・・電話着信に応答した件数で、(集計単位時間×6)秒以降の件数。 ① 放棄第1区分 ······· 電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、(集計単位時間×1) 秒以内の件数。 (%:放棄件数に対する割合) ⑩ 放棄第6区分・・・・・・・・電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、(集計単位時間×6)秒以内の件数。 ⑦ 放棄第6区分以降・・・・・電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、(集計単位時間×6)秒以降の件数。

193

# ● 回線グループ別集計

【回線グループ別のデータ集計表の例】



·「回線グループ別集計」の集計項目の内容は、応答·転送モードの集計がない以外は「回線別集計」と同じです。

#### ● 転送先別集計

各集計項目のカウントは、転送の結果として最終判定した転送先にカウントされます。追っかけ転送で第2または第3 の転送先に転送され、そこで最終結果を判定した場合は、その転送先にカウントされます。 【転送先ごとのデータ集計表の例】



《集計	《集計項目·心答·転达七一下》											
	応答・転送モード											
	転	送		転送未	<b>.</b>	まま						
	計業	土港中	呼出中	切	断	古安	古体 世森		品中 回数			
	#412	不透扒	放棄	不在後	話中後	<i>и</i> о-е-	瓜未	12	12			
	1	2	3	4	(5)	6	$\overline{)}$	8	9			

① 転送・転送 ………各動作モードで、転送先が応答した件数。

② 転送・未選択・・・・・・・・・・・各動作モードで、お客様の転送先選択がなく、未選択時の転送先で応答した件数。

③ 転送未・呼出中放棄・・・・各動作モードで、転送先を呼び出し中にお客様が放棄した件数。

※ 転送先が「不在」や「話中」で、転送動作回数の設定により再度転送先を選択していた だく案内を送出中にお客様が放棄した場合も、直前の転送先に「転送未・呼出中放棄」 としてカウントされます。

④ 転送未・切断・不在後・・各動作モードで、転送先不在で回線を切断した件数。(追っかけ転送の次の転送先登録がなしで、転送動作回数も終了している場合)

⑤ 転送未・切断・話中後・・各動作モードで、転送先話中で回線を切断した件数。(追っかけ転送の次の転送先登録がなしで、転送動作回数も終了している場合)

- ⑥即時・応答・・・・・・・・・・・各動作モードで、本装置が応答する前に転送先が応答した件数。(「着信設定 ベル中呼出」 設定が「する」の場合にカウントされます。)
- ⑦ 即時・放棄・・・・・・・・・・・各動作モードで、本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。(「着信設定 ベル中呼出」 設定が「する」の場合にカウントされます。)
- ⑧ 不在回数 …………各動作モードで、転送先が不在となった回数。
- ⑨ 話中回数 ………各動作モードで、転送先が話中となった回数。

# 着信応答データの集計/確認

# 【カウントされる転送先と集計項目の例】

#### ◆ 設定・登録例

*=`¥ /+ 2¥ /3

転送先登録		転送先設定				
転送先登録	А	選択	第1転送先	第2転送先	第3転送先	転送動作回数
	В	1	А	В	С	2回
	С	未選択	D			
	D					

## ◆お客様が選択番号1を押した(Aを選択した)場合

#### 応答例1

	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
安山	A	В	С	  転送生 A に「① 転送・転送」がカウント 1 されます
采内	応答			私広元 A に「① 転送・転送」がガウント「されます。 

#### 応答例2

第1転送先     第2転送先     第3転送先     カウントされる転送先と集計項目       A     → B     → C     転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント1されます。       案内     不在     応答     転送先 B に「⑨ 不在回数」がカウント1されます。					
A     →     B     →     C       案内     話中     不在     応答     転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント1されます。       転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント1されます。		第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
転送先Cに「① 転送・転送」がカウント1されます。	案内	A —— 話中	→ B — 不在	-▶ C 応答	転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント1されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント1されます。 転送先 C に「① 転送・転送」がカウント1されます。

#### 応答例3

	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
	Α —	► в —	► C	
案内	話中	不在	呼出中 ▲ 記客様放棄	転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント 1 されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント 1 されます。 転送先 C に「③ 転送未・呼出中放棄」がカウント 1 されます。

#### 応答例4

· O· 🗖 // J				
	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
案内	A — 話中	▶ B — 不在	► C 不在	転送先Aに「⑨話中回数」がカウント1されます。 転送先Bに「⑨不在回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑧不在回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑧ 転送未・呼出中放棄」がカウント1されます。 ※不在で、再度転送先を選択してもらう案内を送出中にお客様が放 棄した場合は、その直前の転送先に「転送未・呼出中放棄」とし てカウントされます。

#### 応答例5

10 H I V J	-			
	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
	Α —	► В —	→ C	
	話中	不在	不在	転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント2されます。
				転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント 1 されます。
				転送先 B に「① 転送・転送」がカウント 1 されます。
案内-	━▶話中 ──	▶ 応答		転送先Cに「⑧ 不在回数」がカウント1されます。

## 応答例6

	第1転送先	第2転送先	第3転送先		カウントされる転送先と集計項目
	Α —	► в —	→ C		
	話中	不在	不在	]	転送先Aに「⑨ 話中回数」がカウント2されます。
					転送先Bに「⑧不在回数」がカウント2されます。
					転送先Cに「⑧不在回数」がカウント2されます。
案内一	┣━┣ 話中 ──	┣ 不在 —	<b>→</b> 不在 <b>→</b>	▶案内	転送先Cに「④転送未・切断・不在後」がカウント1されます。
					※ 転送先 C は、転送動作回数が終了しているため、最終転送先と
			お客	様放棄	なり「切断・不在後」にカウントします。
			/回	線切断	

応答例7

10010	1							
	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目 転送先Aに「⑨話中回数」がカウント2されます。 転送先Bに「⑧不在回数」がカウント2されます。 転送先Cに「⑧不在回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑨話中回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑨話中回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑤転送未・切断・話中後」がカウント1され。 ※転送先Cは、転送動作回数が終了しているため、最終転) の線切断				
	Α —	▶ В —	→ C		たど生 ヘ に「◎ 託中回粉」がカウント 0 されたす			
<b>▲</b> 案内-	話中 ▶ 話中	不在 → 不在	不在 → 話中	客内 梯放棄 線切断	転送先Aに「⑨話中回数」がカウント2されます。 転送先Bに「⑧不在回数」がカウント2されます。 転送先Cに「⑧不在回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑨話中回数」がカウント1されます。 転送先Cに「⑥転送未・切断・話中後」がカウント1されます。 ※転送先Cは、転送動作回数が終了しているため、最終転送先と なり「切断・話中後」にカウントします。			

### ◆お客様が選択番号を入力しなかった場合

応答例8

	第1転送先	第2転送先	第3転送先	カウントされる転送先と集計項目
	D			
	応答			転送先日に (2) 転送・木選択」がカワント1 されます。 

#### ◆「着信設定-ベル中呼出:する」場合で、呼出先として A が登録されているとき

応答例9

ベル中	A で応答		転送先Aに「⑥ 即時・応答」がカウント1されます。
	お客様放棄		転送先Aに「⑦ 即時・放棄」がカウント1されます。

《集計項目:お待たせモード》

				お待た	と せモード			
	応答		放棄		呼出	不力	₩t	
呼出	即時	本体応答後	即時	本体応答後	累積	平均	回数	<sup>品中</sup> 回数
1	2	3	4	5	6	7	8	

② 応答・即時 ・・・・・・本装置が応答する前に、呼出先が応答した件数。

③ 応答・本体応答後 ……本装置が応答したあとに、呼出先が応答した件数。

④ 放棄・即時 ・・・・・・本装置が応答する前に、お客様が放棄した件数。

⑤ 放棄・本体応答後 ……本装置が応答したあとに、お客様が放棄した件数。

⑥ 呼出時間・累積 ………呼出先を呼び出した時間の累積。(分:秒)

⑦ 呼出時間・平均・・・・・・・ 1 呼び出し当たりの、呼び出し平均時間。(分:秒)

⑧ 不在回数 ・・・・・・・・・・呼出先が不在となった回数。

⑨話中回数 …………呼出先が話中となった回数。

## ● 選択転送先別集計

選択転送モードで、お客様が最後に選択した番号の回数データ集計表を表示します。 【選択番号ごとのデータ集計表の例】



							選択転送先		
$\bigcirc$	── 選択番号	1	2	3	4	5	6		
(2)	第1転送先名	総務部·総務1課	営業部·営業1課	技術部·設計課	資材部·購買課	転送先A	転送先B		



① 選択番号 ······お客様が選択する最大9種類の選択番号。(登録されている選択番号を表示します。)
 1桁の場合:1~9、\*、#

2桁の場合:00~99、0\*~9\*、0#~9#、\*0~\*9、#0~#9、\*\*、##、 \*#、#\*

② 第1転送先名 ………各選択番号に登録されている、第1転送先の名前。

③未選択・・・・・・・・・お客様が選択番号を入力しなかった(未選択)場合の転送先の名前。

### ● ツリー転送先別集計

ツリー転送モードで、お客様が最後に選択した第1転送先の回数データ集計表を表示します。 【転送先ごとのデータ集計表の例】



- ③ 未選択 ・・・・・お客様が転送先を選択しなかった(未選択)の場合の転送先。

## ● ツリー案内メッセージ送出回数集計

ツリー転送モードで、案内メッセージごとに、送出された回数のデータ集計表を表示します。 【案内メッセージごとのデータ集計表の例】



《集計項目:ツリー案内メッセージ別》 1/2										
	加力心名	<u> </u>	ツリー案内2							
	メクセーク 石	シリー条内ト	1	2	3					
	メッセーシ <sup>°</sup> ch	27ch	28ch	29ch	30ch					
		1								

<	《集計項目:ツリー案内メッセージ別》 2/2							
	ツリー案内3							
	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2
	37ch	38ch	39ch	40ch	46ch	47ch	55ch	56ch

- ① ツリー案内1 ・・・・・・・・・ ツリー転送で、最初に案内されるメッセージで、パターンごとに1種類。
- ② ツリー案内2 ………ツリー案内1で選択したメッセージで、パターンごとに1~9の9種類。

(登録されているメッセージが表示されます。)

- ③ ツリー案内3(1-\*)・・・・・ツリー案内2-1 で選択したメッセージで、パターンごとに、1-1~1-9の9種類。 (登録されているメッセージが表示されます。)
- ④ ツリー案内3(2-\*)・・・・・ツリー案内2-2 で選択したメッセージで、パターンごとに、2-1~2-9の9種類。 (登録されているメッセージが表示されます。)
- ⑤ ツリー案内3(3-\*)・・・・・ツリー案内2-3 で選択したメッセージで、パターンごとに、3-1~3-9の9種類。 (登録されているメッセージが表示されます。)

ツリー案内3(9-\*)······ツリー案内2-9 で選択したメッセージで、パターンごとに、9-1~9-9の9種類。 (登録されているメッセージが表示されます。)

# ■ 日集計、週集計、月集計

「日集計」、「週集計」、「月集計」の各データ集計表は、集計日時のタイトル部分を除いて「時集計」の集計表と内容は同じです。 各集計表のタイトル部分は次のようになります。





※図は「回線別集計」の例ですが、「回線グループ別」「転送先別」「選択転送先別」「ツリー転送先別」「ツリー案内メッセージ別」についても、それぞれ「時集計」と同じです。

# 4-2 臨時集計データ

臨時集計データを、制御用パソコンのディスプレイに表示して確認します。「回線別」「回線グループ別」「転送先別」「選択 転送先別」「ツリー転送先別」「ツリー案内メッセージ別」の各データが確認できます。

【回線ごとのデータ集計表の例】



※集計表の内容は、集計日時のタイトル部分を除いて「回線別集計」「回線グループ別」「転送先別」「選択転送先別」「ツリー 転送先別」「ツリー案内メッセージ別」とも、それぞれ定時集計と同じです。

# メモ

◎ 故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

装置

現象	点検項目	対 策	関連ページ
[応答]ボタンを押すと 「カード ガ アリマセン」と表示され、 応答セットができない	メッセージ用メモリーカードがセットされて いません。	メッセージ用メモリーカードを挿入してください。	45
「カード ガ チガイマス」と表示され、 応答セットができない	登録・集計用とメッセージ用のメモリーカー ドが間違ってセットされています。	正しくセットしなおしてください。	32
「トウロク データ ナシ」と表示される	本装置内に登録データがありません。	登録データをメモリーカードから読み込むか、 または制御用パソコンから書き込んでください。	36 156
「ジコク セット シテクダサイ」と表示される	長期間の停電などで、時刻が消えていま す。	初期設定で、現在日時を登録してください。	33
「タイマー キカンガイ デス」と表示される	年間タイマーの年月日の有効期間(登録か ら5年)が過ぎています。	新しい年間タイマーのデータを読み込ませて ください。	36 156
[録音] ボタンを押すと 「カード ガ アリマセン」と表示され、 録音ができない	メッセージ用メモリーカードがセットされて いません。	メッセージ用メモリーカードを挿入してください。	38
録音で [セット] ボタンを押すと 「マイク / テープガ アリマセン」と表示され、 録音ができない	マイク、テープレコーダが接続されていま せん。	接続してください。	40
応答動作しない	個別回線設定で「使用回線」のチェック はありますか? 回線側のL1, L2の極性が逆になっていま せんか?	設定や極性を確認してください。	71 5,6,52
ボイスワープ転送ができない	ボイスワープ転送は「使用する」になって いますか? NTT とボイスワープ契約していますか? 代表回線の場合、個別設定を選択してい ますか?	設定やボイスワープ契約を確認してください。	67 5,6
T1,T2に接続した電話装置を呼び 出さない	T1, T2 (TEL 側) の極性が逆になってい ませんか? 接続種別 (T1,T2) の設定は、接続され た構内交換機 (PBX) と合っていますか? ダイヤルイン番号の登録桁数は正しいです か?	設定や極性を確認してください。	5,6,52 67
制御用パソコンから、データ読み 書きや動作モニタができない	LAN の設定は正しくされていますか?	本体および制御パソコンの IP アドレスなどの 設定を確認してください。	34 61

# データ入力ソフト

現象	点検項目	対策	関連ページ
パソコンが動作しない	パソコンの動作環境は合っていますか?	OS やメモリー容量などを確認してください。	56
メモリーカードにデータの書き込み や、メモリーカードからデータの読	メモリーカードは正規の添付品ですか?	登録・集計用メモリーカード(KFC-60M)、 メッセージ用メモリーカード(JFC-60M)を 使用してください。	32
み込みができない	カードライトアダプタ CWA-100 は正しく 接続されていますか?	パソコンとの接続やドライバのインストールを 確認してください。	57
本体装置とのデータ読み書きや 動作モニタができない	LAN の設定は正しくされていますか?	本体および制御パソコンの IP アドレスなどの 設定を確認してください。	34,61
集計ファイルが作成できない	ご利用の Excel は Excel 2010 ですか?	集計ファイル用フォルダを信頼できる場所とし て指定してください。	184,186 187,190

# 主な仕様

項目			仕様	備考
		収容回線数	初期実装6回線(最大24回線)	6回線ラインボード3枚追加
電話回線		回線グループ数	最大 4 グループ	
		回線種別(L1, L2 側)	アナログ一般公衆回線、構内交換機アナログ内線	ナンバーディスプレイ対応
		回線種別(T1, T2 側)	一般アナログ回線、アナログダイヤルイン回線	ナンバーディスプレイ対応
		直流抵抗値	約 272 Ω	
		接続方式	スクリューレス端子接続	
ディスプレイ		サイズ	16 文字(半角)×1 行	バックライト付きLCD
		表示文字	カナ、数字、記号、アルファベット	
		録音媒体	フラッシュメモリーカード(JFC-60M)	当社オリジナル
		録音方式	μ -law	
録音	再生	サンプリング	8Bit、8kHz	
		メッセージ数	249ch	
		録音時間	60 分	
		マイク入力端子	600 Ω不平衡、-55dBm、3.5mm ジャック	
音声入力		テープ入力端子	50k Ω不平衡、0dBm、3.5mm ジャック	
Hell/mail		アラーム端子	無電圧メーク/ブレーク出力 (接点容量:DC30V,500mA 以下)	
前御旨	占刀	時刻修正端子(OUT)	無電圧メーク/ブレーク出力 (接点容量:DC30V,500mA 以下)	
<b>开</b> 山次回:	1 -	外部制御端子	無電圧メーク接点(接点容量:DC10V,10mA 以上)	信号時間:0.2 秒以上
「町仰ノ		時刻修正端子(IN)	無電圧メーク接点(接点容量:DC10V,10mA 以上)	信号時間:0.2 秒以上
	拉体地フ	通信プロトコル	TCP/IP	
LAN 接続端子		インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX	
/	与作品	パソコン	IVR-2430 データ入力ソフト(添付品)	* 1
データ作成		記憶媒体	フラッシュメモリーカード(KFC-60M)	当社オリジナル
		選択転送	転送パターン:20、選択番号:1/2桁	
		ツリー転送	転送パターン:2、ツリー階層:2/3 階層	
	  動作干―ド	ダイレクト転送	入力桁数:1~8桁	
		無条件転送	NTT ボイスワープ使用、転送先指定:最大 100	
転送		お待たせ	通常 / 選択呼出、コールスクリーニング、トラフィック集計機能	
		応答専用	応答専用案内:10 種類	
	転送先	登録数	最大 100、システム用:4、一般 /ND	
		種別	ダイヤルイン、フッキング、ボイスワープ	
	転送方式		ダイヤルイン転送、フッキング転送、ボイスワープ転送、 ベルのみ(一般)	
		有効年数	5年間	
年間/	タイマー	曜日スケジュール	日~土曜日:各1種類(登録ステップ数:30/ 曜日)	
千回,		祝日スケジュール	1 種類(国民の祝日 16 日、予備 9 日)	ハッピーマンデー対応
		特定日スケジュール	A~V:22種類(登録年より5年間)	
環境条件		動作時	温度条件:5 ~ 40℃ 湿度条件:20 ~ 85%	結露のないこと
		保管時	温度条件:-10℃~50℃ 湿度条件:20~85%	結露のないこと
VCCI			クラス A	
RoHS 指令			対応	
電源 時計精度		電源	AC100V $\pm$ 10V, 50/60Hz	
		消費電力	約 140W(最大: 24 回線収容時)	
		停電保障	年月日・時刻は、約 10 日間	
		本体装置	月差±5秒	(25℃ 通電時)
外観		寸法 (mm)	430(幅)× 286(奥行き)× 177(高さ)	足を含まず
		質量	約 11kg	

※1 : Windows 8.1/7(SP1)/Vista(SP2) 対応

# 保証とアフターサービス

- ●本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または 当社修理センターお問い合わせください。
- ●本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

(	型名 / 保証期間		音声応答転送装置 IVR-2430 / お買い上げから1年間			
	お買い上げ日		年 月 日			
	お - 客 様 -	お名前				
保		ご住所	<b>T</b>			
証		電話番号				
書	 販 店	名前				
		住所	Ŧ			
		電話番号				
保証条件		<ul> <li>电面面与</li> <li>1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無 償修理いたします。</li> <li>2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、 修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。</li> <li>3 保証書の提示がない場合</li> <li>② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合</li> <li>③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合</li> <li>④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合</li> <li>⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合</li> <li>⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合</li> <li>⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合</li> <li>⑨ 消耗品を交換した場合</li> <li>④ 消耗品を交換した場合</li> <li>4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.</li> <li>5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。</li> <li>6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。</li> </ul>				



株式会社タカコム

本社·工場/〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709